沖縄県からの避難住民受入れに係る初期的な計画

留意点

1　住民避難に係る要領や受入れの要領等を具体化するための前提であり、**特定の有事を想定したものではありません。**

2　要避難地域（どこの地域の方が避難の必要があるのか）や避難先地域（どこの地域が安全性が高いのか）、安全な避難経路と手段が確保できているのかなど、政府（事態対策本部）の避難措置の指示は、その時の情勢や関係諸外国の意図などを勘案して総合的に判断されるもの。**訓練上の想定はあくまで仮定のものであり、決まったものではありません。**

令和7年（２０２５年）３月
熊本県

～目次～

1. 総論

(1)沖縄県からの避難住民受入れに係る初期的な計画の位置付け等　・　P 4
(2)沖縄県からの避難住民受入れの全体像　・・・・・・・・・・・・・・・・　P 9
(3)受入れに係る熊本県の国民保護体制　・・・・・・・・・・・・・・・・　P13
(4)県内における受入市町　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P18

2. 初期的な計画

(1)避難住民受入れの実施に必要な事項　・・・・・・・・・・・・・・・・　P22
①輸送手段の確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P24
②収容施設（ホテル等）の供与　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P33
③食品・飲料水の調達・提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P35
④生活必需品の調達・提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P38
⑤避難者の健康管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P41
⑥通信設備の提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P45
(2)受入市町ごとの計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P47
①熊本市　・・・・・・・・　P50　④阿蘇市　・・・・・・・・　P96
②八代市　・・・・・・・・　P72　⑤大津町　・・・・・・・・　P109
③山鹿市　・・・・・・・・　P85
(3)受入市町への応援体制の確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P122

1．　総論

(1) 沖縄県からの避難住民受入れに係る初期的な計画の位置付け等

沖縄県からの避難住民受入れに係る初期的な計画の位置付け等①

1　避難住民受入れに関する取組概要

○　国は、武力攻撃を想定した都道府県域を越える広域避難の訓練を全国で順次進めているところであり、沖縄県の国民保護訓練についても、県域を越える広域避難を想定し、令和６年度からは、訓練上の一つの想定として避難先地域に設定した九州・山口各県とも連携し、避難住民の受入れに係る検討に取り組んでいる。なお、避難住民の受入れは、国民保護法※により都道府県の義務とされている。

※国民保護法…武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(平成16年法律第112号)

2　受入れ検討の位置付け

○　受入れ検討は、沖縄県において住民避難手順の検討が先行して行われていることを踏まえ、沖縄県との広域的な連携体制の基盤を有する九州・山口各県をフィールドとして先行的に行うもの。

○　その上で受入れの検討は、要領や手続を確認し具体化するために、一定の想定を置いて行うものであり、特定の有事を想定したものではない。

○　国民保護制度上、実際の事態発生時に要避難地域や避難先地域をどのように設定するかは、国においてその時の実際の情勢などに応じて総合的に判断されることとなる。

○　受入れの検討は、他県からの住民を受け入れることとなった場合に必要な各種の調整や手順を確認するもので、各県が受け入れる避難住民の割当て人数、受入れ市町村などは、受入れ要領や手続を具体化する過程において課題を抽出・解決してその実効性を高めるための仮想であるとの位置づけであり、実際の受入れを決定するものではない。

○　受入れの検討は、令和６年度から令和８年度の３か年をかけて行うこととされ、そのうち令和６年度は、避難当初の約１か月間の計画（初期的な計画）を作成する。

3　避難住民の受入れに関する検討の国の基本的な方針

○　国の避難措置の指示及び救援の指示に基づき、九州・山口各県は、沖縄県の避難住民の避難先地域での衣食住等を確保する。

○　沖縄県は、避難住民の輸送力を最大限確保した上で、避難に要すると想定する６日間に、要避難地域となる先島諸島５市町村の住民約11万人を、安全が確保されている九州・山口各県に避難させる。

R6.4.23国民保護担当課長会議（内閣官房主催）資料、R6.6.3九州地方知事会議内閣官房資料、R6.11.15国民保護地域ブロック検討会（内閣官房主催）資料を基に作成

沖縄県からの避難住民受入れに係る初期的な計画の位置付け等②

4　検討の前提事項

○　国は、武力攻撃予測事態に認定したが、九州・山口各県は安全が確保された状態であり、交通インフラは維持され、平時の社会経済活動が行われている環境にある。

○　本検討では、仮定的に、国による武力攻撃予測事態が認定された翌日の早朝から避難を開始する想定とする。

○　国は、武力攻撃予測事態の認定を行い、住民の避難が必要であると判断し、関係都道府県に避難措置の指示を行い、以下のとおり、「要避難地域」と「避難先地域」を定める。
　また、国は、避難先地域に救援の指示を行った。

【要避難地域】
　ア　島外避難　沖縄県宮古島市、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町（先島諸島５市町村）
　イ　屋内避難　沖縄県の先島諸島５市町村以外の市町村

【避難先地域】
　山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

○　拠点空港（福岡空港、鹿児島空港）から九州・山口各県までの輸送力確保について、九州・山口各県内の輸送手段を沖縄県が確保することは、実質的に困難であることから、国民保護法に基づき、沖縄県から九州・山口各県に事務を委託されるものと想定し、本検討においては、九州・山口各県が輸送力の確保を行うものとする。

○　国から沖縄県、九州・山口各県に入域自粛の要請を行う想定とし、検討の対象とする収容施設（ホテル・旅館）については、全ての部屋が空いており、空室率100%と仮定する。また、輸送手段となる貸切りバスについても100%活用可能と仮定する。

検討想定（検討において仮定する状況）

〇政府から関係地方公共団体へ事前の連携体制の構築等を依頼
〇避難先地域への入域自粛について、国から関係者にアナウンス
〇政府は現下の情勢を総合的に判断して武力攻撃予測事態に認定し、国民保護措置として沖縄県先島諸島全域を島外避難、沖縄本島等を屋内避難とする避難措置の指示等を実施

※本検討想定は国民保護措置（法定受託事務）の手続きを検討するための仮定の想定であり、特定の事態を想定したものではない。

以下は、今回の検討の前提として、すべての関係者にとって十分に時間が取れる状況を仮定したものであるが、実際の状況の推移はこれよりも厳しいものとなり得る。

事態認定等		平素の態勢	武力攻撃予測事態
政　府		★武力攻撃予測事態の認定に至るかどうか不明だが、先島諸島の住民を県外へ避難させる可能性もあると判断し、引き続き武力紛争を回避すべく外交努力を継続。該当県に事前の連携体制の構築等を依頼	★避難措置の指示 ★救援の指示 ★合同対策協議会
沖縄県	全　般	★沖縄県危機管理対策本部設置	★現地対策本部設置 ★県国民保護対策本部会議
	先島住民等の避難状況	自主避難 ……→	島外避難
九州・山口各県（受入れ）		★県危機管理対策本部設置等 各種受入れ準備(施設、物資、増員調整・受入れ等) ……→	★県国民保護対策本部会議 ※避難開始まで十分な調整時間 先島住民等の受入れ対応

※国において、避難先地域への入域自粛要請・武力攻撃予測事態認定を実施

（国資料を基に作成）

【参考】受入れに係る３年間の検討内容の整理表

年度	主な検討内容		
	対象期間	前提事項	検討事項
R6	**初期的な計画** 避難当初の約1か月間	○九州・山口各県は平時の社会経済活動が行われている想定 ○国が武力攻撃予測事態と認定した翌日早朝から避難開始と想定	○避難先地域の拠点空港から収容施設（ホテル等）までの輸送手段の確保 ○収容施設（ホテル等）の供与 ○食品・飲料水の調達・提供 ○生活必需品の調達・提供 ○避難住民の健康管理 ○通信設備の提供
R7	避難当初の約1か月間		○入院患者、施設入所者等の要配慮者の受入れ調整 ○就学の支援 ○R6検討事項の更なる具体化・実効性の向上
	半年以上の避難を見据えた１か月以降の期間		○収容施設（仮設住宅等）の供与 ○就労の支援
R8	R7と同様		○上記項目の更なる具体化・実効性の向上

※R7年度以降の検討事項は、現時点の想定であり、今後国の方針等を踏まえ変更の可能性がある。

R6.4.23国民保護担当課長会議（内閣官房主催）資料を基に作成

(2)　沖縄県からの避難住民受入れの全体像

国における避難措置の指示（案）の概要

○　沖縄県全域を要避難地域として、特に、先島諸島５市町村の住民等約11万人を、九州・山口各県で受け入れることを基本として避難を検討。また、避難の交通手段は公共交通機関を主体として、努めて早期に住民の避難が完了するよう検討。

避難措置の指示（案）

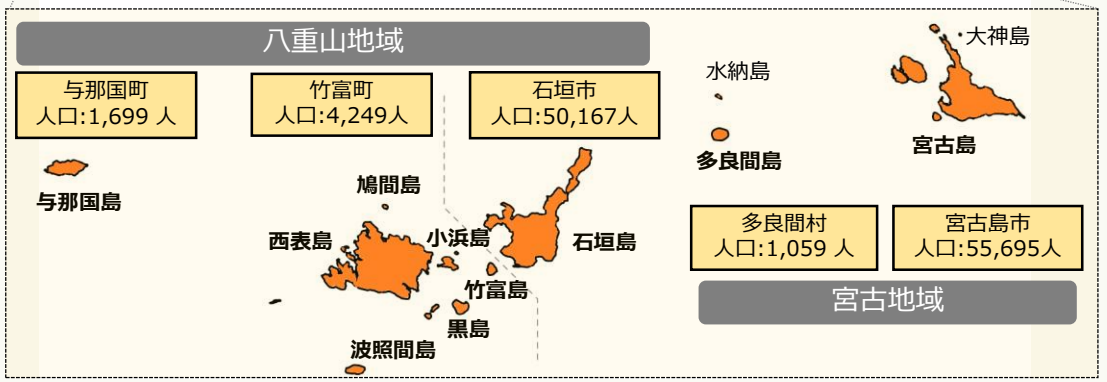
①沖縄県全域を要避難地域とする。
②先島諸島５市町村は島外（県外）避難、その他県内市町村は屋内避難
③避難先地域は、九州・山口各県

要避難地域

先島諸島の市町村の人口

郡	市町村名	人口(人)
宮古・八重山	宮古島市	55,695
	石垣市	50,167
	竹富町	4,249
	与那国町	1,699
	多良間村	1,059
計		**112,869**

（出典）
竹富町、与那国町…令和６年１月１日現在住民基本台帳人口
宮古島市、石垣市、多良間村…沖縄県提供情報



避難先地域

武力攻撃のおそれのない安全が確保されると想定される地域
九州・山口各県

※九州・山口９県は武力攻撃災害等時の相互応援協定あり

※※現時点においては、**要避難地域を含む全ての地域で安全が確保**されている。
本指示（案）の概要は、今後沖縄県内の住民避難に係る要領等を具体化するための前提であり、**特定の事態を想定したものではない。**

沖縄県先島諸島からの島外避難の概要

＜本検討における前提＞
○　沖縄県先島諸島からの住民避難については、福岡空港と鹿児島空港の2つの空港を経由空港とする。
○　また、経由空港から九州・山口各県までの輸送力確保については、九州・山口各県が行う。
○　なお、熊本県が受け入れる避難住民については、鹿児島空港を経由する。

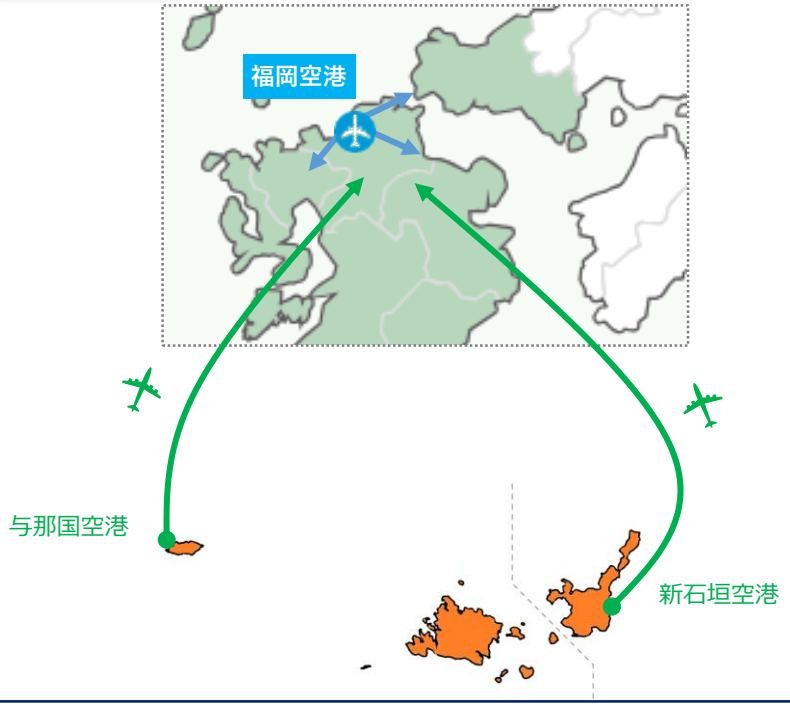
【八重山地域】

1　要避難地域（島外避難）
石垣市、竹富町、与那国町　（全住民対象）

2　避難先地域
山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

3　島外避難の主な経路・交通手段
与那国空港～福岡空港
新石垣空港～福岡空港～避難先自治体

イメージ



【宮古地域】

1　要避難地域（島外避難）
宮古島市、多良間村　（全住民対象）

2　避難先地域
福岡県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

3　島外避難の主な経路・交通手段
多良間空港～宮古空港
宮古空港・下地島空港～鹿児島空港～避難先自治体

イメージ

九州・山口各県における避難住民受入れの割当て

○　国において、各県におけるホテル等のキャパシティなどのバックデータをもとに、各県と先島諸島5市町村とのマッチングを実施。
○　国のマッチングをもとに、避難元市町村の避難先が複数県にまたがる場合は、沖縄県において、市町村内の地区ごとに割り振りを実施。
○　なお、熊本県においては、宮古島市の一部区域の住民及び多良間村の全住民（計約1万3千人）を受け入れる。

【国の提示】

避難先県	避難元市町村	人口
佐賀県	与那国町	1,699人
長崎県	竹富町	4,249人
大分県	石垣町	50,167人
山口県		
福岡県	宮古島市	55,695人
宮崎県		
鹿児島県		
熊本県		
	多良間村	1,059人

合計　112,869人

【沖縄県の調整】

地区	人数
下地小学校区・旧来間小学校区・上野小学校区・旧伊良部小学校区・旧佐良浜小学校区	11,733人

受入人数	
熊本県	12,792人

（出典）
竹富町、与那国町…令和６年１月１日現在住民基本台帳人口
宮古島市、石垣市、多良間村…沖縄県提供情報

(3)　受入れに係る熊本県の国民保護体制

沖縄県からの避難住民受入れに関する制度的枠組み

○　住民の避難などの国民保護のための措置は、国民保護法（以下「法」という。）を根拠に、国の方針に基づいて都道府県・市町村・関係機関等が協力して実施することとされている。
○　沖縄県からの避難住民の受入れは、国の明確な方針の下、都道府県が主体的な役割を担うこととされており、避難先地域の都道府県知事は、受入れ地域（市町村）の決定・通知を行った上で、救援を実施する必要がある。

国（対策本部長）

○ **避難措置の指示（国）**
国の方針として、具体的な要避難地域及び**避難先地域を指示**（法52条）
指示を行う場合、双方の知事から意見聴取（基本指針）

○ **救援の指示（国）**
所要の**救援に関する措置を講ずべきことを指示**（法74条）

要避難地域

都道府県（知事）

○**避難の指示**
避難経路、
交通手段等を示す
（法54条）

市町村（市町村長）

○**避難住民の誘導**（法62条）

避難住民の受入れ（法58条）

避難住民の受入れについて
あらかじめ協議（法58条）

避難先地域
（避難経路となる地域を含む。）（法58条）

都道府県（知事）

○ **受入地域の決定**（法58条）
○ **救援の実施（県・政令市）**（法75条）
- **収容施設の供与**（1号）
- **食品の給与・飲料水の供給**（2号）
- **被服など生活必需品の給与又は貸与**（3号）
- **医療の提供及び助産**（4号）
- **通信設備の提供**（7号）**等**

受入地域を通知
（法58条）

市町村（市町村長）

○**救援の一部実施**
○**県が行う救援の補助**
（法76条）

受入れに係る熊本県の国民保護体制①

○　今回の検討に当たり国から示された想定においては、避難住民を受け入れる九州・山口各県に対し、国から県国民保護対策本部を設置すべきとの指定の通知が発出されることとなっており、熊本県国民保護対策本部を設置の上、避難住民を受け入れることを想定している。

庁　内　体　制	設　置　基　準	参　集　基　準
①国民保護担当課体制	①武力攻撃等に関する情報があり、情報収集、伝達等の対応が必要な場合 ②その他危機管理監が設置の必要があると認めた場合	危機管理防災課・消防保安課職員が参集
②緊急事態連絡本部体制	①国において武力攻撃事態等の認定が行われ、国の事態等対策本部長から警報が発令された場合 ②その他知事が緊急事態連絡本部設置の必要があると認めた場合	原則として本部室所属の課及び各部筆頭課、企業局総務経営課、教育庁教育政策課の職員が参集 （必要に応じその他関係課の職員が参集）
③国民保護対策本部体制	①国から県国民保護対策本部を設置すべき県の指定の通知を受けた場合	全ての県職員が本庁又は出先機関等に参集

受入れに係る熊本県の国民保護体制②

○ 避難住民の受入れに係る検討課題は、極めて多岐の分野にわたる。
○ このため、県では、国民保護法に基づく、県対策本部の体制を活用し、 市町村や関係機関等とも連携の上、受入れに係る検討を進めるとともに、実際に受け入れることとなった際も迅速に対応する。

＜県対策本部の組織図（イメージ）＞

本部会議

本部長	知事
副本部長	副知事
本部員	各部(公室)長、会計管理者、企業局長、教育長、警察本部長
その他県の職員(必要に応じ知事が任命)	

国その他の職員
（必要に応じ出席要請）

本部室

室長	危機管理監
室次長	危機管理防災課長、消防保安課長
班長	総括班長(危機管理防災課長) 広報班長(広報課長) 情報班長(市町村課長) 救援班長(健康福祉政策課長) 道路班長(道路保全課長) その他必要に応じ本部長が指名した者

現地対策本部

本部長
副本部長
本部員
その他の職員

部 ※

知事公室対策部	観光文化対策部
総務対策部	農林水産対策部
企画振興対策部	土木対策部
健康福祉対策部	出納対策部
環境生活対策部	企業対策部
商工労働対策部	教育対策部

地方国民保護対策本部

熊本、宇城、玉名、鹿本、菊池、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草

東京地方連絡班

公安委員会

警察本部

※各部における主な業務は次のページ参照

熊本県国民保護計画(R.5.7.6変更)を基に作成

受入れに係る熊本県の国民保護体制③

検討項目	初期的な計画検討事項	具体的な内容	対策部
総括	○	・全体的な取りまとめ	知事公室対策部
輸送手段の確保	○	・空港からホテル等までの輸送手段の確保等	企画振興対策部
収容施設（ホテル等）の供与	○	・ホテル等の確保に係る事業者との統制	健康福祉対策部
		・公営住宅の確保等	土木対策部
		・職員住宅の確保等	総務対策部、企業対策部
		・民間賃貸住宅、応急仮設住宅の確保等	土木対策部
食品・飲料水の調達・提供	○	・食品・飲料水に係る調達先の確保等	環境生活対策部、商工労働対策部、農林水産対策部
生活必需品の調達・提供	○	・生活必需品に係る調達先の確保等	健康福祉対策部、環境生活対策部、商工労働対策部
避難者の健康管理	○	・保健師等による健康確認等	健康福祉対策部、地方国民保護対策本部
	○	・巡回診療等の医療支援 ・透析等患者等の通院先案内手順の整理	健康福祉対策部
		・入院患者、施設入所者等の要配慮者の受入れ調整	健康福祉対策部
通信設備の提供	○	・ホテル等におけるインターネット利用環境の確保	知事公室対策部
各種支援	○	・生活情報等の提供	（受入市町）
	○	・避難先連絡所の設置	（受入市町）
	○	・各種相談への対応	（受入市町）
その他		・受入市町への応援職員の派遣に係る調整	総務対策部
		・数千規模の応急対策必需品等の物資調達方法の検討	出納対策部
		・就学の支援	総務対策部、教育対策部
		・就労の支援	商工労働対策部、農林水産対策部
		・外国人避難者受入れに係る支援方法の検討 ※外国人への情報発信等	知事公室対策部、観光文化対策部
		・避難住民の誘導、安全の確保等の検討	県警本部

※現時点の想定であり、来年度以降、検討項目や所管等が変更する可能性あり。

(4)　県内における受入市町

受入市町村の選定及び受入人数

本県の考え方

○ 避難住民の受入れについては、ホテル・旅館での受入れを基本とする。
○ 受入市町村は、避難住民の避難先でのコミュニティの維持を最優先に、以下の①及び②等を勘案し、総合的に選定。
①避難地区の点在を避け、できるだけ少数の市町村・地区で集中的に受け入れる。
②ホテル・旅館の受入れ能力を勘案し、可能な限り受入能力の高いホテル・旅館が所在する市町村で受け入れる。
☞上記①、②等を勘案し、**熊本市、八代市、山鹿市、阿蘇市及び大津町**を初期的な計画における受入市町と選定。
○ 避難元自治体のコミュニティやホテル等のキャパシティなどを考慮し、市町ごとの受入数を以下のとおり決定。

沖縄県

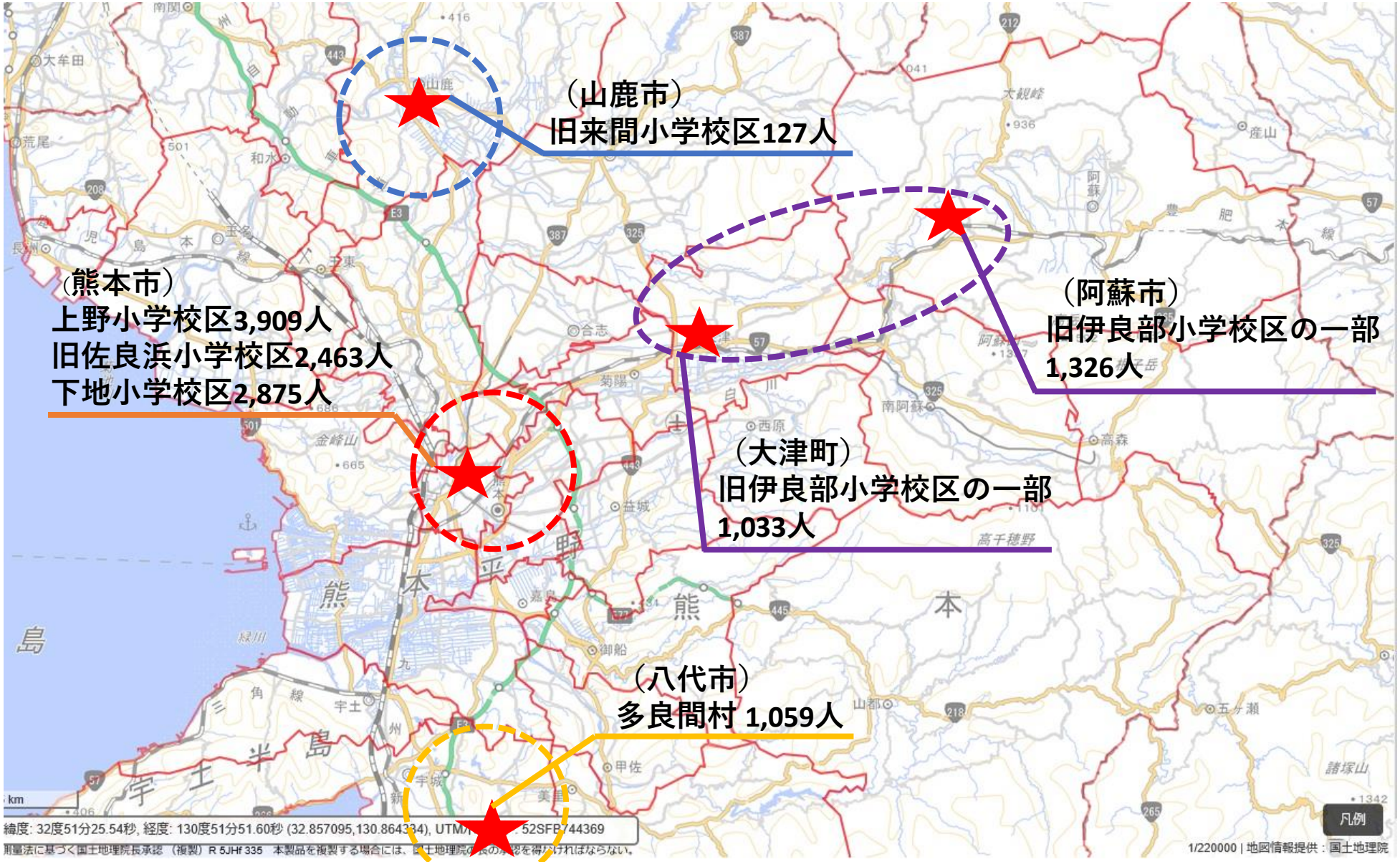
避難元市町村			
市村名	人口	地区	住民数
宮古島市	11,733人	上野小学校区	3,909人
		旧佐良浜小学校区	2,463人
		下地小学校区	2,875人
		旧伊良部小学校区	2,359人
		旧来間小学校区	127人
多良間村	1,059人	―	1,059人
合計	12,792人		

熊本県

受入市町村	
市町名	受入数
熊本市	9,247人
阿蘇市	1,326人
大津町	1,033人
山鹿市	127人
八代市	1,059人
	12,792人

受入市町の位置関係

○宮古島市（５校区）及び多良間村の受入先



※国土地理院ウェブサイトの地図を加工

２．　初期的な計画

(1)　避難住民受入れの実施に必要な事項

熊本県の救援の基本要領（初期的な計画）

〇受入れの実施に必要な６つの事項について、避難当初の約１か月間において必要となる事務や調整事項を整理。
〇県、受入市町、事業者等の関係団体と連携の上、鹿児島空港から本県への輸送手段やホテル等を確保するなど、避難住民が約１か月生活できる計画を作成。

【避難住民の受入れ概要】

①輸送手段の確保
▸鹿児島空港～避難先連絡所～ホテル等は**貸切りバスで輸送**
→必要台数（大型バス約45～55台/日）を超える、**貸切りバス（大・中・小型バス計約200台）を確保見込み**

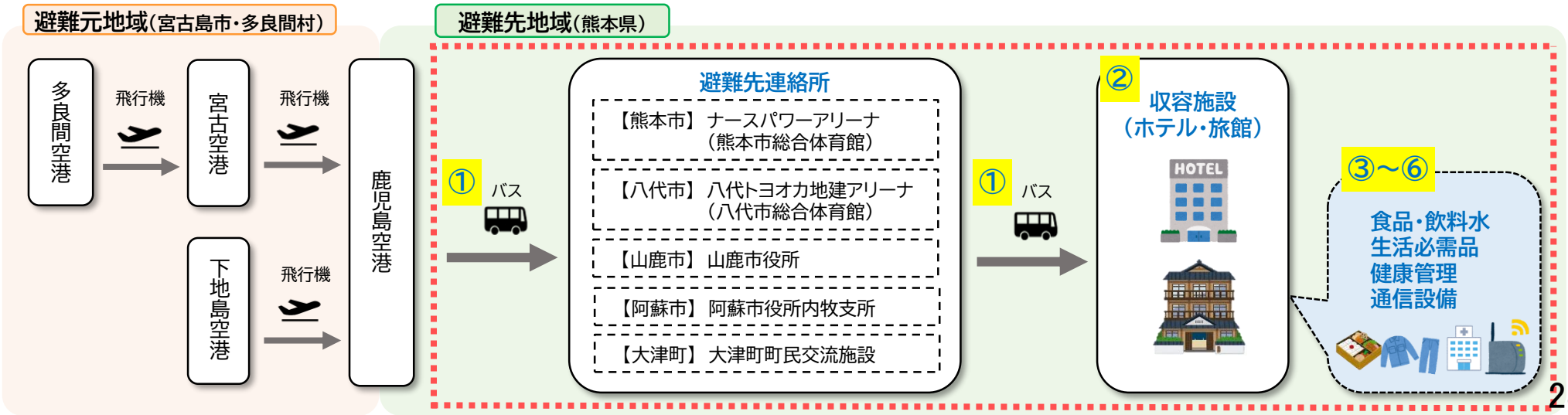
②収容施設（ホテル等）の供与
▸全ての避難住民について**ホテル・旅館での受入れが基本**
→受入人数（12,792人）を超える、**ホテル等の部屋（約1万部屋、約1万6千人分）を確保見込み**

③食品・飲料水の調達・提供
▸**ホテル等での食事**を基本　※ホテル等で賄えない場合は、小売事業者等から食事を配送
→ホテル等で賄えない食事は、災害時応援協定締結の**小売事業者等により提供可能**

④生活必需品の調達・提供
▸生活必需品は**小売事業者等から調達・提供**
→災害時応援協定を締結している**小売事業者等により提供可能**

⑤避難者の健康管理
▸**保健師等による健康管理、医療関係団体と連携した医療提供**を実施
→**保健師のホテル等への派遣や医療従事者による巡回診療等**を実施

⑥通信設備の提供
▸**ホテル等のWi-Fi**が基本　※ホテル等のWi-Fi使用不可の場合は、通信事業者のマルチホップWi-Fiを活用
→**全てのホテル等でWi-Fiの利用が可能であることを確認**



①　輸送手段の確保

輸送手段の確保に係る基本方針

本県の考え方

○鹿児島空港到着後の避難住民の輸送は、避難住民の負担軽減等の観点から**貸切りバスで輸送**。
○バス事業者との調整は、県で実施。
○バスは、避難住民を各受入市町の避難先連絡所まで輸送。避難先連絡所での本人確認等が終了後、ホテル等まで輸送。
○なお、1日当たり45～55台程度の大型バスが必要になるが、県からバス事業者7社に協力を要請。

【輸送手段の確保の概要】

1　1日当たりの輸送人数とバス必要見込台数

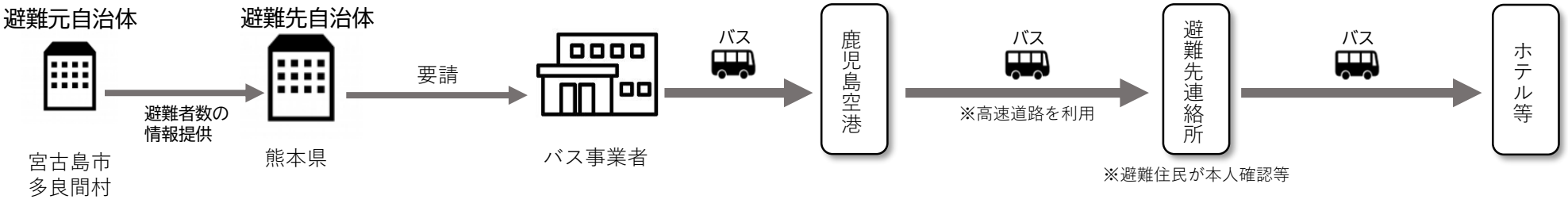
	避難元市村	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	6日合計	受入人数
鹿児島空港	宮古島市	1,979人	1,802人	1,997人	1,997人	1,997人	1,997人	11,769人	11,733人
	多良間村	530人	530人					1,060人	1,059人
	バス必要見込台数※	約55台	約50台	約45台	約45台	約45台	約45台		

※バス1台当たり50名程度乗車と想定

2　県協力要請バス事業者のバス保有台数（R7.1.1時点）

区分	大型	中型	小型	計
台数	105台	32台	51台	188台

3　輸送イメージ・手続の流れ（想定）



鹿児島空港から避難先連絡所までの輸送経路

○鹿児島空港から高速道路を利用して輸送予定。
○鹿児島空港から各受入市町の避難先連絡所まで約1時間30分～約2時間30分で到着予定。

＜熊本市＞

＜八代市＞

＜山鹿市＞

＜阿蘇市＞

＜大津町＞

Googleマップからのスクリーンショット

運行計画の一案（１日目）　沖縄県～鹿児島空港～避難先連絡所

（単位：人）

便 空港	空港発	鹿児島 空港着	鹿児島 空港発	避難先 連絡所 着	人数	熊本市			八代市	山鹿市	阿蘇市	大津町
						上野	旧佐良浜	下地	多良間	旧来間	旧伊良部	
						3,909	2,463	2,875	1,059	127	1,326	1,033
3-1 宮古	9:05	10:35	11:05	13:05 13:35	165	－	－	－	－	－	65	100
3-2 宮古	10:15	11:45	12:15	14:15 14:45	165	－	－	－	－	－	92	73
3-3 宮古	11:25	12:55	13:25	15:25 15:55	165	－	－	101	－	－	64	－
1-1 下地島	11:40	13:10	13:40	15:40	177	－	－	177	－	－	－	－
3-4 宮古	12:35	14:05	14:35	16:35	165	165	－	－	－	－	－	－
3-5 宮古	13:45	15:15	15:45	17:45	165	165	－	－	－	－	－	－
3-6 宮古	14:55	16:25	16:55	18:55	165	165	－	－	－	－	－	－
5-6 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	335	335	－	－	－	－	－	－
3-7 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	165	165	－	－	－	－	－	－
3-8 宮古	17:15	18:45	19:15	20:45 21:15	165	135	－	－	30	－	－	－
2-5 下地島	17:30	19:00	19:30	21:30	177	－	－	177	－	－	－	－
5-7 宮古	17:30	19:00	19:30	21:00	335	－	－	－	335	－	－	－
3-9 宮古	18:25	19:55	20:25	21:55	165	－	－	－	165	－	－	－

フライトスケジュール、搭乗人数、搭乗者の地区は現時点の仮置きの一案

運行計画の一案（２日目）　沖縄県～鹿児島空港～避難先連絡所

（単位：人）

便 空港	空港発	鹿児島 空港着	鹿児島 空港発	避難先 連絡所 着	人数	熊本市			八代市	山鹿市	阿蘇市	大津町
						上野	旧佐良浜	下地	多良間	旧来間	旧伊良部	
						3,909	2,463	2,875	1,059	127	1,326	1,033
3-1 宮古	9:05	10:35	11:05	13:05 13:35	165	－	－	－	－	－	65	100
3-2 宮古	10:15	11:45	12:15	14:15 14:45	165	－	－	－	－	－	93	72
3-3 宮古	11:25	12:55	13:25	15:25 15:55	165	102	－	－	－	－	63	－
1-1 下地島	11:40	13:10	13:40	15:40	177	－	－	177	－	－	－	－
3-4 宮古	12:35	14:05	14:35	16:35	165	165	－	－	－	－	－	－
3-5 宮古	13:45	15:15	15:45	17:45	165	165	－	－	－	－	－	－
3-6 宮古	14:55	16:25	16:55	18:55	165	165	－	－	－	－	－	－
5-6 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	335	335	－	－	－	－	－	－
3-7 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	165	165	－	－	－	－	－	－
3-8 宮古	17:15	18:45	19:15	20:45 21:15	165	135	－	－	30	－	－	－
5-7 宮古	17:30	19:00	19:30	21:00	335	－	－	－	335	－	－	－
3-9 宮古	18:25	19:55	20:25	21:55	165	－	－	－	165	－	－	－

フライトスケジュール、搭乗人数、搭乗者の地区は現時点の仮置きの一案

運行計画の一案（３日目） 沖縄県～鹿児島空港～避難先連絡所

（単位：人）

便 空港	空港発	鹿児島 空港着	鹿児島 空港発	避難先 連絡所 着	人数	熊本市			八代市	山鹿市	阿蘇市	大津町
						上野	旧佐良浜	下地	多良間	旧来間	旧伊良部	
						3,909	2,463	2,875	1,059	127	1,326	1,033
3-1 宮古	9:05	10:35	11:05	13:05 13:35	165	－	－	－	－	－	65	100
3-2 宮古	10:15	11:45	12:15	14:15 14:45	165	－	－	－	－	－	93	72
3-3 宮古	11:25	12:55	13:25	15:25 15:55	165	102	－	－	－	－	63	－
1-1 下地島	11:40	13:10	13:40	15:40	177	－	－	177	－	－	－	－
3-4 宮古	12:35	14:05	14:35	16:35 17:05	165	38	－	－	－	127	－	－
3-5 宮古	13:45	15:15	15:45	17:45	165	165	－	－	－	－	－	－
3-6 宮古	14:55	16:25	16:55	18:55	165	165	－	－	－	－	－	－
5-6 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	335	335	－	－	－	－	－	－
3-7 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	165	165	－	－	－	－	－	－
3-8 宮古	17:15	18:45	19:15	21:15	165	165	－	－	－	－	－	－
3-9 宮古	18:25	19:55	20:25	22:25	165	165	－	－	－	－	－	－

フライトスケジュール、搭乗人数、搭乗者の地区は現時点の仮置きの一案

運行計画の一案（４日目） 沖縄県～鹿児島空港～避難先連絡所

（単位：人）

便 空港	空港発	鹿児島 空港着	鹿児島 空港発	避難先 連絡所 着	人数	熊本市			八代市	山鹿市	阿蘇市	大津町
						上野	旧佐良浜	下地	多良間	旧来間	旧伊良部	
						3,909	2,463	2,875	1,059	127	1,326	1,033
3-1 宮古	9:05	10:35	11:05	13:05 13:35	165	－	－	－	－	－	65	100
3-2 宮古	10:15	11:45	12:15	14:15 14:45	165	－	－	－	－	－	93	72
3-3 宮古	11:25	12:55	13:25	15:25 15:55	165	102	－	－	－	－	63	－
1-1 下地島	11:40	13:10	13:40	15:40	177	－	－	177	－	－	－	－
3-4 宮古	12:35	14:05	14:35	16:35	165	145	20	－	－	－	－	－
3-5 宮古	13:45	15:15	15:45	17:45	165	－	165	－	－	－	－	－
3-6 宮古	14:55	16:25	16:55	18:55	165	－	165	－	－	－	－	－
5-6 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	335	－	335	－	－	－	－	－
3-7 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	165	－	165	－	－	－	－	－
3-8 宮古	17:15	18:45	19:15	21:15	165	－	165	－	－	－	－	－
3-9 宮古	18:25	19:55	20:25	22:25	165	－	165	－	－	－	－	－

フライトスケジュール、搭乗人数、搭乗者の地区は現時点の仮置きの一案

運行計画の一案（５日目） 沖縄県～鹿児島空港～避難先連絡所

（単位：人）

便 空港	空港発	鹿児島 空港着	鹿児島 空港発	避難先 連絡所 着	人数	熊本市			八代市	山鹿市	阿蘇市	大津町
						上野	旧佐良浜	下地	多良間	旧来間	旧伊良部	
						3,909	2,463	2,875	1,059	127	1,326	1,033
3-1 宮古	9:05	10:35	11:05	13:05 13:35	165	－	－	－	－	－	65	100
3-2 宮古	10:15	11:45	12:15	14:15 14:45	165	－	－	－	－	－	93	72
3-3 宮古	11:25	12:55	13:25	15:25 15:55	165	－	102	－	－	－	63	－
1-1 下地島	11:40	13:10	13:40	15:40	177	－	－	177	－	－	－	－
3-4 宮古	12:35	14:05	14:35	16:35	165	－	165	－	－	－	－	－
3-5 宮古	13:45	15:15	15:45	17:45	165	－	165	－	－	－	－	－
3-6 宮古	14:55	16:25	16:55	18:55	165	－	165	－	－	－	－	－
5-6 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	335	－	335	－	－	－	－	－
3-7 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	165	－	165	－	－	－	－	－
3-8 宮古	17:15	18:45	19:15	21:15	165	－	165	－	－	－	－	－
3-9 宮古	18:25	19:55	20:25	22:25	165	－	21	144	－	－	－	－

フライトスケジュール、搭乗人数、搭乗者の地区は現時点の仮置きの一案

運行計画の一案（６日目）　沖縄県～鹿児島空港～避難先連絡所

（単位：人）

便 空港	空港発	鹿児島 空港着	鹿児島 空港発	避難先 連絡所 着	人数	熊本市			八代市	山鹿市	阿蘇市	大津町
						上野	旧佐良浜	下地	多良間	旧来間	旧伊良部	
						3,909	2,463	2,875	1,059	127	1,326	1,033
3-1 宮古	9:05	10:35	11:05	13:05 13:35	165	－	－	－	－	－	65	100
3-2 宮古	10:15	11:45	12:15	14:15 14:45	165	－	－	－	－	－	93	72
3-3 宮古	11:25	12:55	13:25	15:25 15:55	165	－	－	102	－	－	63	－
1-1 下地島	11:40	13:10	13:40	15:40	177	－	－	177	－	－	－	－
3-4 宮古	12:35	14:05	14:35	16:35	165	－	－	165	－	－	－	－
3-5 宮古	13:45	15:15	15:45	17:45	165	－	－	165	－	－	－	－
3-6 宮古	14:55	16:25	16:55	18:55	165	－	－	165	－	－	－	－
5-6 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	335	－	－	335	－	－	－	－
3-7 宮古	16:05	17:35	18:05	20:05	165	－	－	165	－	－	－	－
3-8 宮古	17:15	18:45	19:15	21:15	165	－	－	165	－	－	－	－
3-9 宮古	18:25	19:55	20:25	22:25	165	－	－	165	－	－	－	－

フライトスケジュール、搭乗人数、搭乗者の地区は現時点の仮置きの一案

②　収容施設（ホテル等）の供与

収容施設（ホテル等）の供与に係る基本方針

本県の考え方

〇全ての避難住民について、**ホテル・旅館での受入れを基本とする**。
〇ホテル等の確保は、熊本市分は熊本市、それ以外の受入市町分（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）は県が実施。
〇ホテル等や部屋の割り振りは、コミュニティ（地区／家族構成）を踏まえ、受入市町で実施。
〇組合加盟ホテル等には県から旅館組合を通じて協力を要請。組合非加盟ホテル等には県・熊本市から個別に協力を要請。

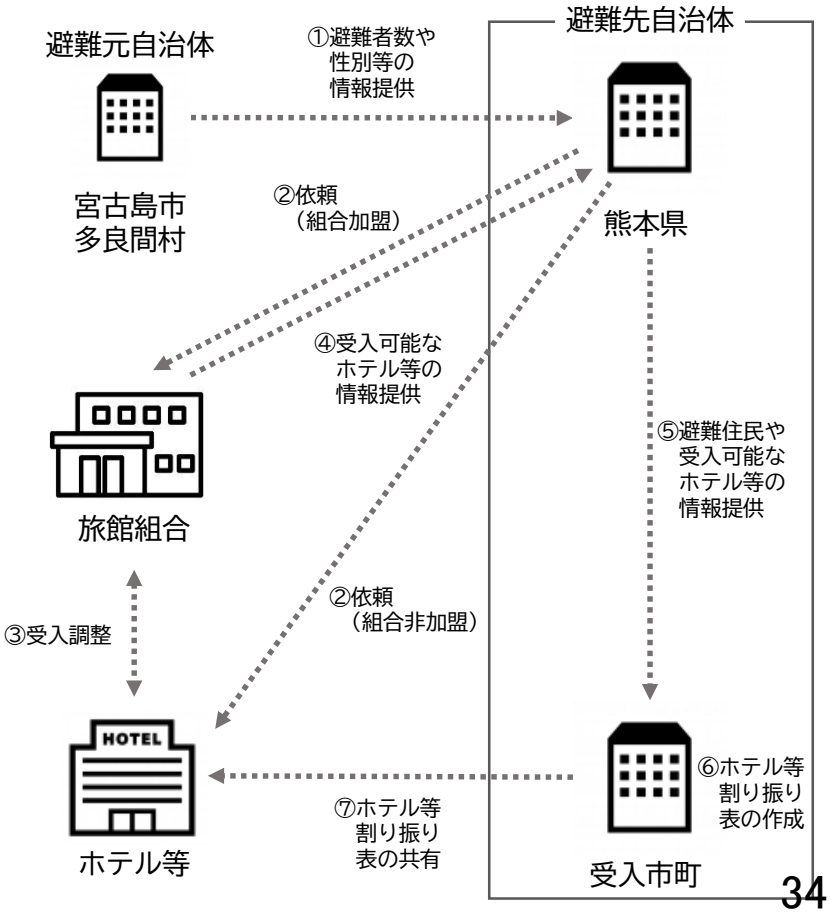
【収容施設(ホテル等)の供与の概要】

受入ホテル等

▶**受入市町ごとの受入人数を超えるように、ホテル等に協力を要請。**

受入市町	受入人数	受入ホテル等のキャパシティ		
		ホテル等数	部屋数	受入可能人数
熊本市	９，２４７人	５６施設	７，４５０部屋	１１，４６９人
八代市	１，０５９人	８施設	８４７部屋	１，１２５人
山鹿市	１２７人	３施設	１５１部屋	３０３人
阿蘇市	１，３２６人	１１施設	５４１部屋	１，７０２人
大津町	１，０３３人	７施設	９３２部屋	１，３５０人
	１２，７９２人	８５施設	９，９２１部屋	１５，９４９人

手続の流れ(想定)



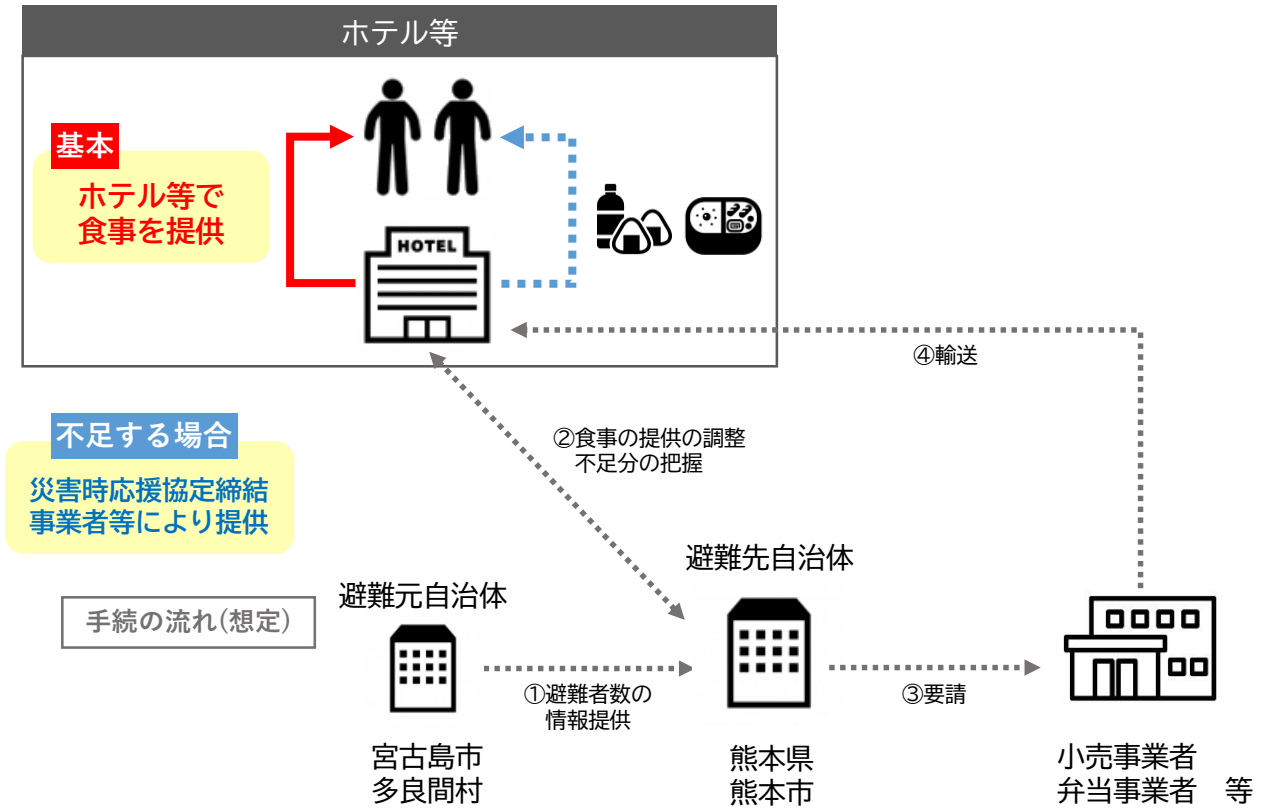
③　食品・飲料水の調達・提供

食品・飲料水の調達・提供に係る基本方針

本県の考え方

○<u>ホテル等での食事を基本とする</u>。
○３食全てを提供できないホテル等については、災害時応援協定を締結している小売事業者や、弁当事業者、関係団体等に協力を要請し、食品・飲料水を調達。
○輸送方法については、各事業者からホテル等へ直接輸送を依頼する。
○各事業者との調整は、熊本市分は熊本市、それ以外の受入市町分（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）は県が実施。
○なお、災害時応援協定を締結している小売事業者や、弁当事業者等には県・熊本市から協力を要請。

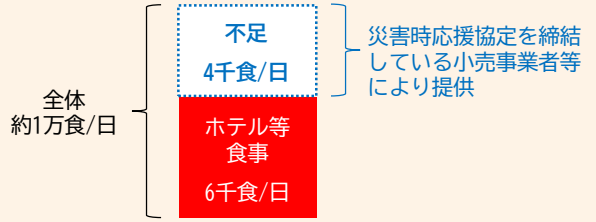
【食品･飲料水の調達･提供の概要】



＜八代市・山鹿市・阿蘇市・大津町＞

▸<u>食事は全て提供可能</u>

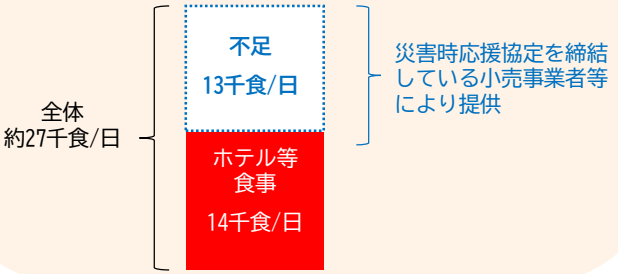
・受入人数は最大計3千人程度で、食事は1日当たり約1万食必要。
・ホテル等への事前調査により、約6千食は提供可能と把握。
・不足する約4千食については、災害時応援協定を締結している小売事業者等に前もって計画的に要請すれば提供可能。



＜熊本市＞

▸<u>食事は全て提供可能</u>

・受入人数は最大9千人程度で、食事は1日当たり約27千食必要。
・ホテル等への事前調査により、約14千食は提供可能と把握。
・不足する約13千食については、災害時応援協定を締結している小売事業者等に前もって計画的に要請すれば提供可能。



【参考】食品・飲料水の調達・提供（熊本県及び熊本市の各整理）

【熊本県】対応方針（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）

○ホテル等での食事を基本とする。
○３食全てを提供できないホテル等については、災害時応援協定を締結している小売事業者や関係団体等に協力を要請し、食品・飲料水を調達。
○輸送方法については、各事業者からホテル等への輸送を想定しており、物流事業者等への業務委託も検討。
※国民保護事案発生時に既存の災害時応援協定の準用による対応を依頼し、可能な範囲で同意書を徴取済み。

〔3食全てをホテルで提供できない場合〕

【熊本市】対応方針

○ホテル等での食事を基本とする。
○３食全てを提供できないホテル等については、災害時応援協定締結企業等に要請のうえ各ホテル等への輸送を行うこととする。
○各ホテル等への輸送が必要な食品及び飲料水は、お弁当チェーン店２企業に要請して調達を行う。
○その他おにぎり、パン、ペットボトル飲料等については、大型スーパーマーケットからの調達も可能。牛乳（パック）、ミカンジュース等は各農協からの調達も可能。

〔3食全てをホテルで提供できない場合〕

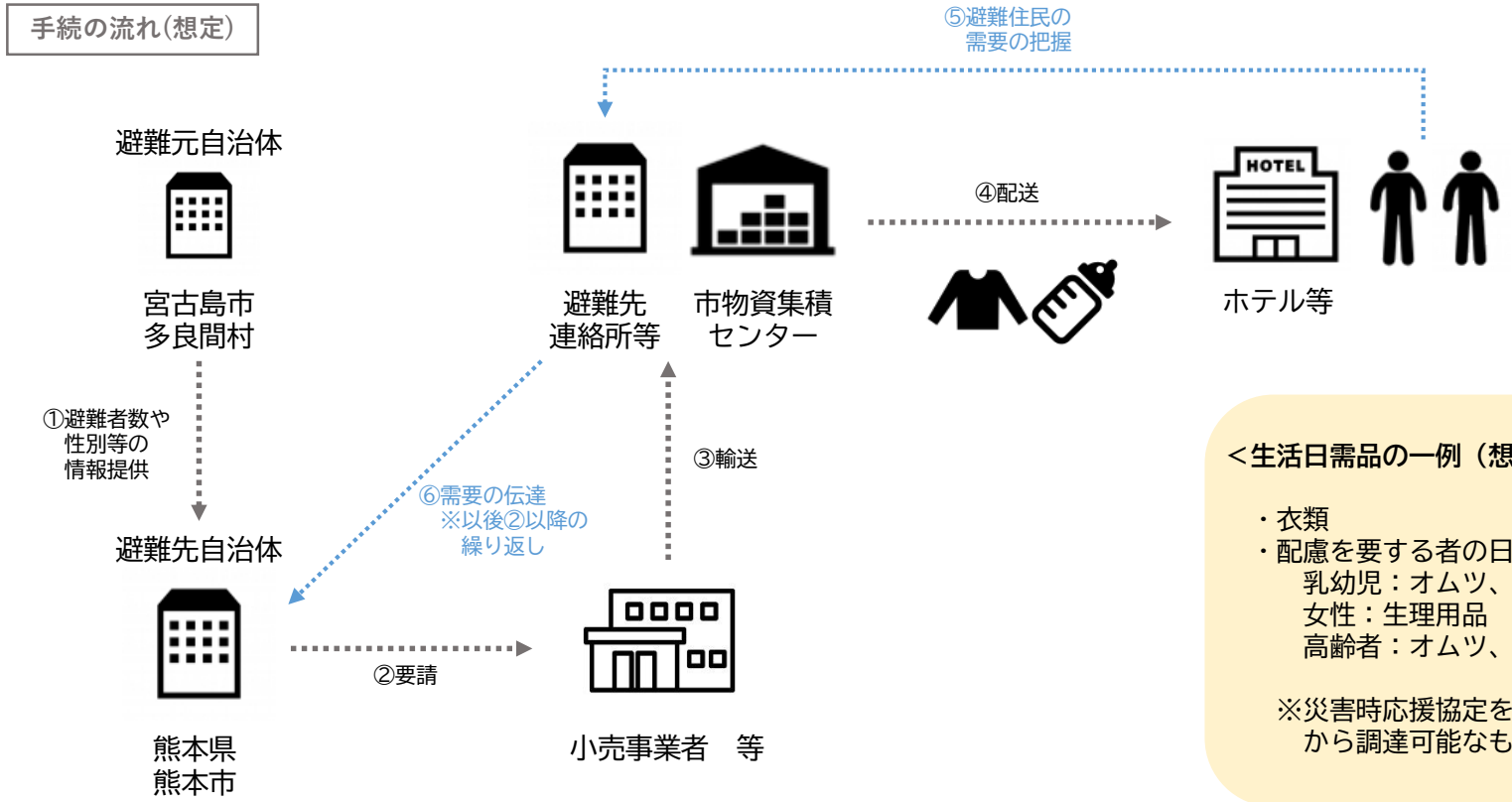
④　生活必需品の調達・提供

生活必需品の調達・提供に係る基本方針

本県の考え方

○<u>災害時応援協定を締結している小売事業者等に協力を要請し、生活必需品を調達・提供</u>。
○生活必需品については、熊本市分は市物資集積センターに、それ以外の受入市町分（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）は各避難先連絡所等に集積し、その後、各ホテル等へ配送することを想定。
○避難先連絡所・市物資集積センター・各ホテル等への輸送・配送については、小売事業者や物流事業者等へ依頼。
○各事業者との調整は、熊本市分は熊本市、それ以外の受入市町分（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）は県が実施。
○避難住民の需要の把握は、受入市町で実施。
○なお、災害時応援協定を締結している小売事業者等には県・熊本市から協力を要請。

【生活必需品の調達･提供の概要】



＜生活日需品の一例（想定）＞

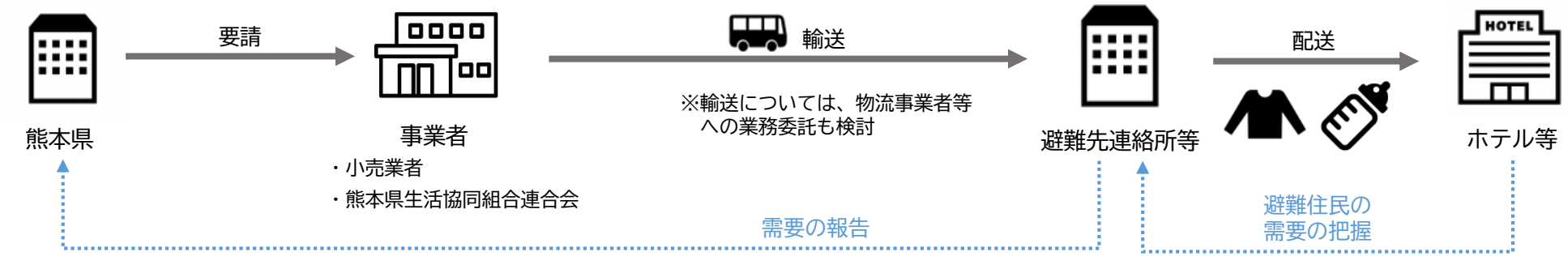
・衣類
・配慮を要する者の日常生活支援のための用品
　乳幼児：オムツ、粉ミルク、離乳食
　女性：生理用品
　高齢者：オムツ、パッド

※災害時応援協定を締結している小売事業者等から調達可能なもの

【参考】生活必需品の調達・提供（熊本県及び熊本市の各整理）

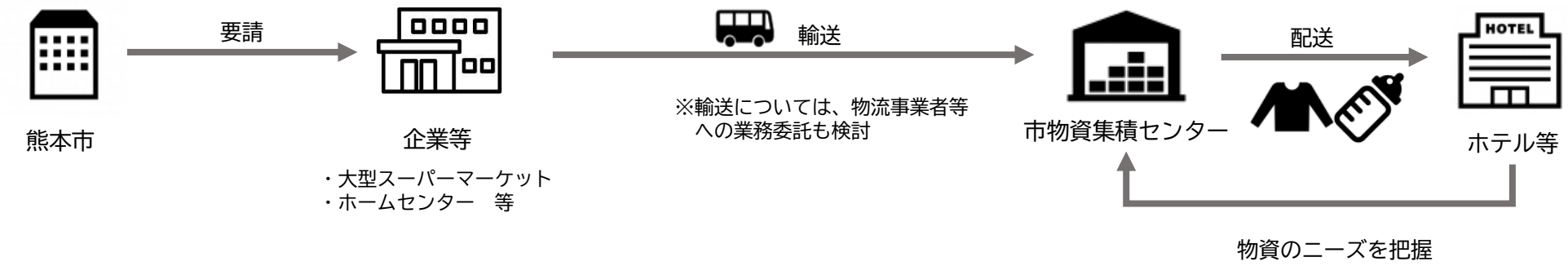
【熊本県】対応方針（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）

○災害時応援協定を締結している小売事業者等に協力を要請し、生活必需品を調達・提供。
○県から各事業者に依頼し、避難先連絡所等への輸送を想定しており、物流事業者等への業務委託も検討。各受入市町が、必要に応じて避難先連絡所からホテル等に配送する。
○避難住民の需要は、受入市町で把握し、取りまとめの上、県に報告。
※国民保護事案発生時に既存の災害時応援協定の準用による対応を依頼し、可能な範囲で同意書を徴取している。



【熊本市】対応方針

○災害時応援協定締結企業等に協力を要請し、生活必需品を調達・提供。
○調達した物資は、まず市物資集積センターに集積し、その後、避難者の需要に応じて各ホテル等へ配送する。
○物資の要請先となる災害時応援協定締結企業は、多くが大型スーパーマーケットやホームセンター等であることから、市物資集積センターへの輸送については物流事業者等への業務委託も検討（店舗から物流事業者等が物資を直接ピックアップの上、市物資集積センターへ輸送）。提供する物資の需要調査は、各ホテル等に配置される職員等が取りまとめ、物資集積センターで集約する。



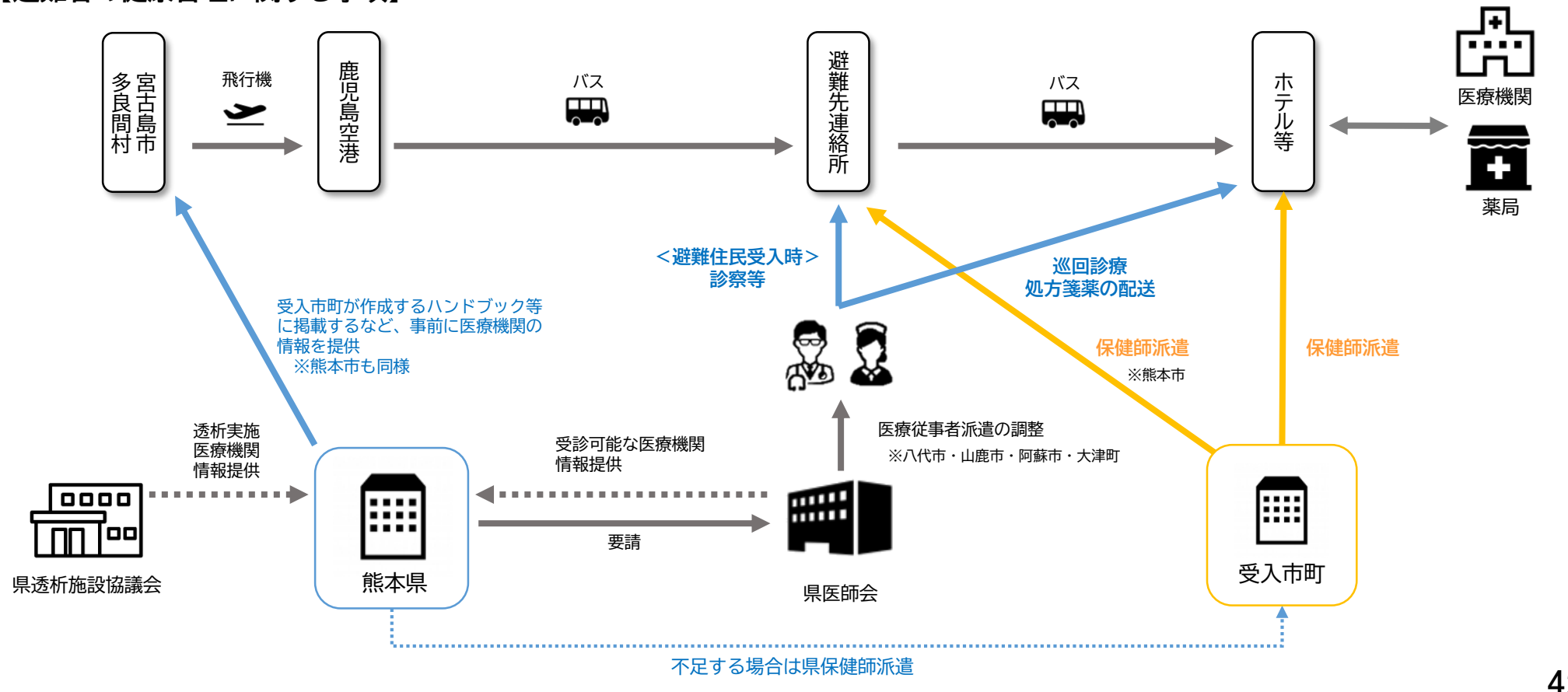
⑤　避難者の健康管理

避難者の健康管理に係る基本方針

本県の考え方

○事前に、避難住民が受診可能な透析実施医療機関など、医療機関の情報を避難元自治体に情報提供。
○避難住民を受け入れる際は、必要に応じて、**避難先連絡所において、医師による診察（八代市・山鹿市・阿蘇市・大津町）や保健師による健康確認（熊本市）**を行うなど、健康状態を確認。
○避難住民を受け入れた後も、**ホテル等に保健師を派遣**するなど、継続的に健康状態を確認。
※受入市町（八代市・山鹿市・阿蘇市・大津町）の保健師が不足する場合は、県保健所等の保健師を派遣するなど、県と受入市町で連携。
八代市・山鹿市・阿蘇市・大津町では、必要に応じて、**ホテル等において巡回診療**なども実施。
○なお、県医師会や県透析施設協議会には、県から協力を要請。

【避難者の健康管理に関する事項】



【参考】避難者の健康管理（熊本県の整理）

1．対応方針（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）

〇関係団体（県医師会（JMAT、医療救護班）を想定）から医療従事者（医師、看護師等）を派遣し、避難先連絡所において必要に応じてトリアージ（診察等）を行うとともにホテル等において巡回診療を行う。
〇避難住民の受入れを行うホテル等に、各受入市町の保健師を派遣し健康確認等を行う。
※受入市町の保健師が不足する場合は、県保健所の保健師を派遣するなど、県と受入市町で連携を行う。
〇県透析施設協議会と連携し、避難住民が受診可能な透析実施医療機関を確保する。

2．検討状況（八代市、山鹿市、阿蘇市、大津町）

（1）避難住民の医療情報の把握
・　避難先連絡所において、医師による診察等を実施し、必要な処方や透析等の治療の有無を確認。
・　処方箋薬については調剤薬局（又は医療機関）から避難住民のホテル等に配達。

（2）巡回診療
・　県医師会から医療従事者（医師、看護師）をホテル等に派遣し、巡回診療を実施。

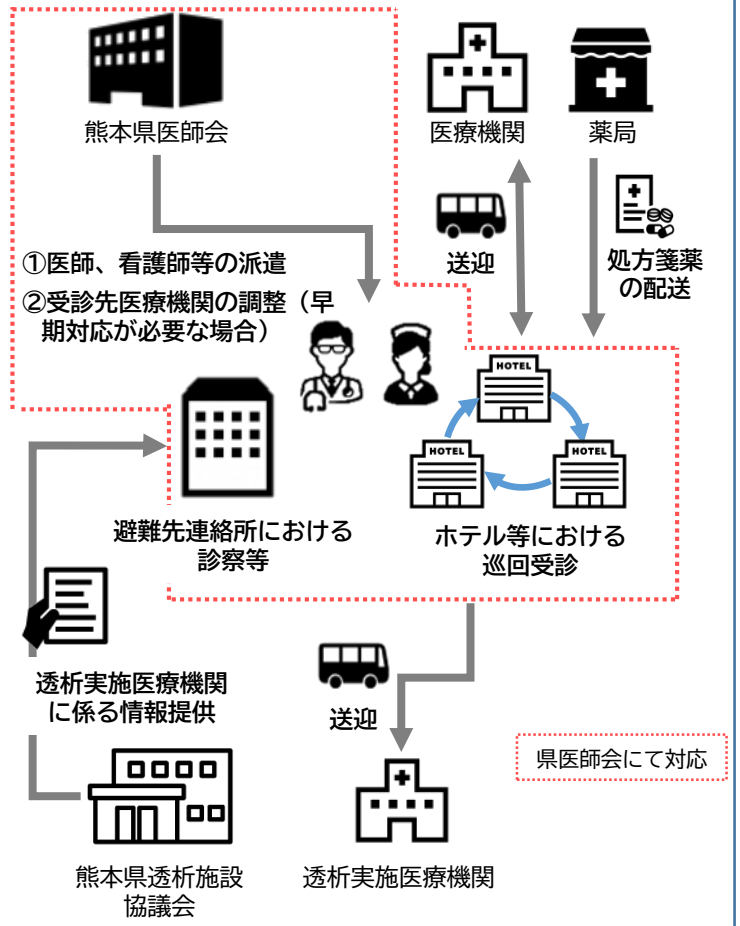
（3）透析療法が必要な避難住民
・　県透析施設協議会と連携し、透析実施医療機関をリスト化し、事前に避難元自治体に共有するとともに避難先連絡所において避難住民に情報提供。
・　定期的にバスやタクシー等で避難住民をホテル等から対象医療機関に送迎する。

（4）その他（在宅酸素療法等の早期に対応が必要な避難住民について）
・　（1）の問診で早期の対応が必要と判断された避難住民については、県医師会において受診先医療機関を調整。
・　バスやタクシー等で早期に対応が必要と判断された避難住民について、ホテル等から対象医療機関に送迎する。

検討課題

○　巡回診療の頻度の設定、避難住民の医療相談窓口の確保
○　消防機関、医療機関及び医療機関相互の連絡・連携体制の整備
○　受診・通院の移動手段の確保

3．イメージ



【参考】避難者の健康管理（熊本市の整理）

1．対応方針（熊本市）

〇避難先連絡所では保健師を派遣して健康確認等を行うとともに、ホテル等でも保健師が巡回して健康観察を行う。
〇宿泊先が中心市街地のホテル等であることから、医療機関等の情報を提供するなど、近隣の医療機関への受診支援を行う。
〇県透析施設協議会と連携し、避難住民が受診可能な透析実施医療機関を確保する。

2．検討状況（熊本市）

（1）避難住民の医療情報の把握等
・　避難先連絡所において、保健師による健康確認等を実施するとともに、事前に必要な処方や患者数や透析等に関する情報を入手。
・　また、ホテル等の近隣にある医療機関や調剤薬局（又は医療機関）の情報を提供するなど、受診支援等を実施。

（2）保健師による巡回
・　各ホテルに保健師を派遣し、健康観察を行う。
　必要に応じて医療機関の情報提供など、効率的に受診支援を実施。

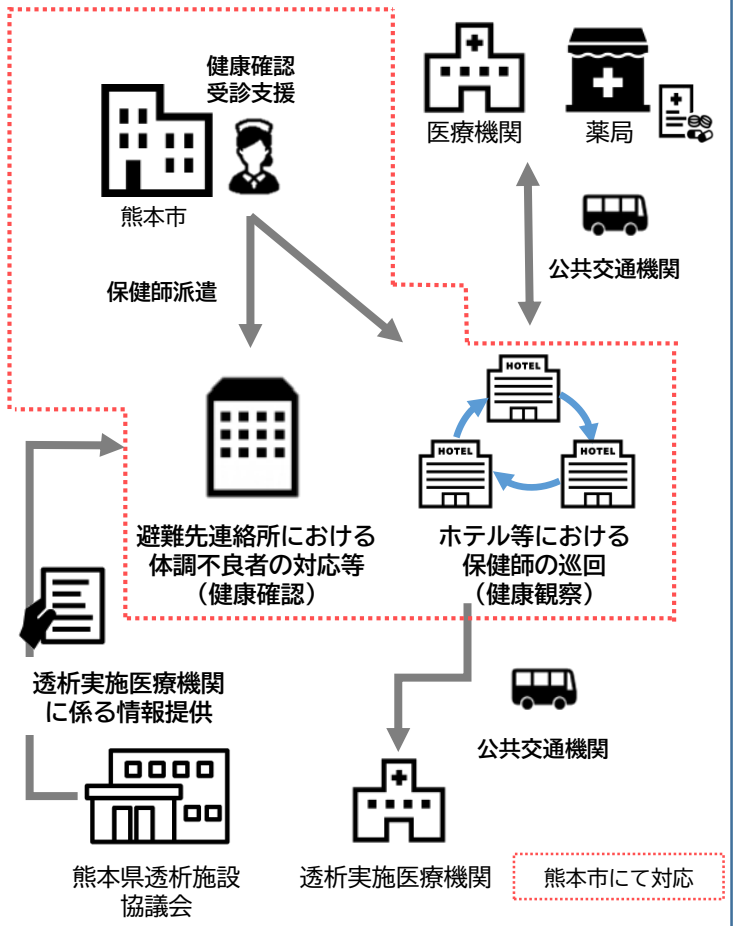
（3）透析療法が必要な避難住民
・　県透析施設協議会と連携し、透析実施医療機関をリスト化し、事前に避難元自治体に共有するとともに避難先連絡所において避難住民に情報提供。
・　対象医療機関への移動は市内公共交通機関の利用を想定。

（4）その他（在宅酸素療法等の早期に対応が必要な避難住民について）
・　事前に避難元から患者数等の情報を入手し、市内の受診可能医療機関を紹介。

検討課題

○　避難住民の医療相談窓口の確保
○　消防機関、医療機関及び医療機関相互の連絡・連携体制の整備

3．イメージ



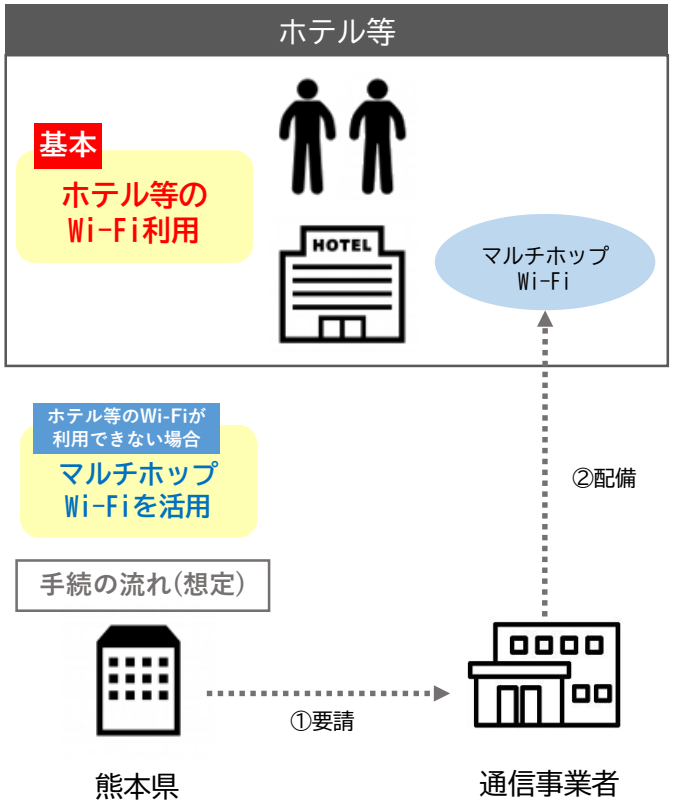
⑥　通信設備の提供

通信設備の提供に係る基本方針

本県の考え方

〇避難住民の受入れを想定しているホテル等を調査し、全てのホテル等でWi-Fiの利用が可能であることを確認。
　このため、通信設備については、**ホテル等のWi-Fi利用を基本とする**。
〇万が一、ホテル等のWi-Fiが利用できない場合は、災害時応援協定を締結している通信事業者に協力を要請し、短時間で設置可能なマルチホップWi-Fiを活用。
〇なお、災害時応援協定を締結している通信事業者には県から協力を要請。

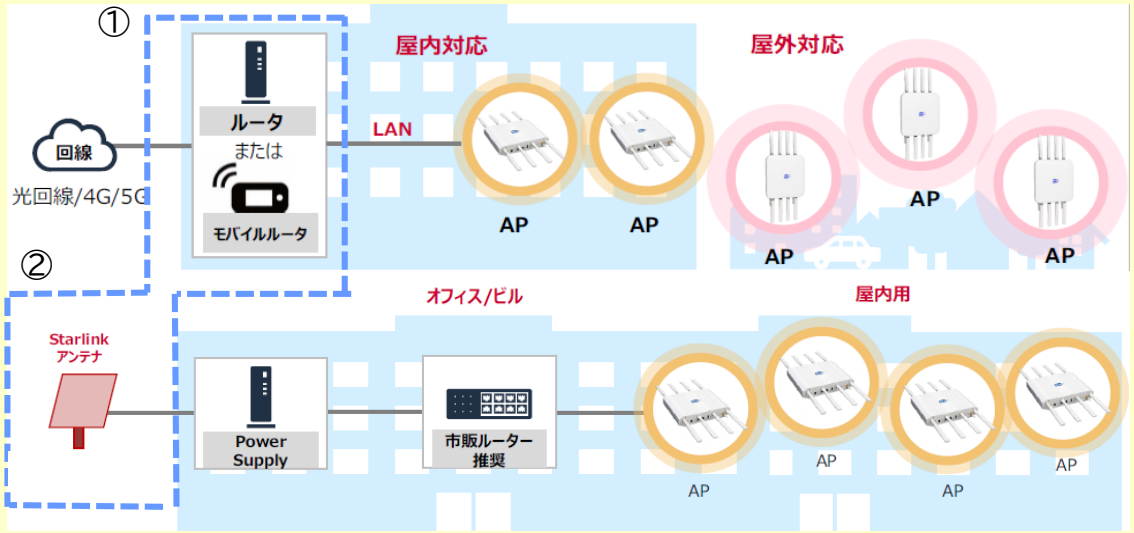
【通信設備の提供】



【参考】①マルチホップWi-Fi及び②Starlinkの活用（例）

①ルーターの設置により屋内外でのWi-Fiの利用が可能（光回線の開通が前提）。

②Starlinkアンテナの設置により屋内外でのWi-Fiの利用が可能。
※設置は１、２時間で可能だが、設置場所の環境や状況によっては接続しにくい場合がある。



(2)　受入市町ごとの計画

受入市町ごとの計画に係る基本方針

1　事前の避難元自治体との調整

〇避難住民を円滑に受け入れるため、事前に、避難元自治体と連携の上、避難住民名簿やホテル等割り振り表を作成。
〇生活、防災、保健・福祉関係情報を掲載したハンドブックの配付など、必要な情報を事前に避難元自治体に提供。

2　輸送（避難先連絡所→ホテル等）

〇鹿児島空港からの輸送に使用した貸切りバスを活用。

3　避難先連絡所の開設

〇避難住民の円滑な受入・支援のため、以下の役割を担う避難先連絡所を開設。
　＜避難住民受入時＞本人確認等の受付、ホテル等の案内、留意事項等の説明　等
　＜避難住民受入後＞各種相談への対応、生活必需品の集積　等
〇避難先連絡所は、以下の要件を満たす施設を選定。
　①十分な広さを有すること。
　②冷暖房が完備されていること。
　③避難住民の滞在先として想定するホテル等から近距離にあり、避難住民の生活支援等を行いやすいこと。　等

4　生活支援の実施

〇各避難先連絡所に生活相談窓口を設置するなど、各種相談に対応。
〇生活相談窓口等で避難住民のニーズを把握し、必要な生活必需品を避難住民に配付。
〇避難先連絡所と各ホテル等を循環するバスを運行するなど、避難住民の移動をサポート。
〇保健師が各ホテル等を巡回するなど、避難住民の健康管理をサポート。

5　職員の確保・配置

〇必要な職員は、役所・役場全体で確保するほか、県職員の派遣等を行うことを想定。

【参考】受入市町ごとの計画の概要

		熊本市	八代市	山鹿市	阿蘇市	大津町
避難元自治体 ※()内は小学校単位の地区		宮古島市 (上野・旧佐良浜・下地)	多良間村	宮古島市 (旧来間)	宮古島市 (旧伊良部)	宮古島市 (旧伊良部)
受入人数		9,247人	1,059人	127人	1,326人	1,033人
避難先連絡所		ﾅｰｽﾊﾟﾜｰｱﾘｰﾅ (熊本市総合体育館)	八代ﾄﾖｵｶ地建ｱﾘｰﾅ (八代市総合体育館)	山鹿市役所	阿蘇市役所 内牧支所	大津町町民 交流施設
避難先連絡所から各ホテル等への輸送手段		貸切りバス	貸切りバス	貸切りバス	貸切りバス	貸切りバス
ホテル等		56施設 7,450部屋 11,469人分	8施設 847部屋 1,125人分	3施設 151部屋 303人分	11施設 541部屋 1,702人分	7施設 932部屋 1,350人分
各種支援	生活情報等の事前提供	生活便利ﾌﾞｯｸ(既存) 提供	ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ 作成・提供	ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ(既存) 提供	ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ 作成・提供	ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ 作成・提供
	各種相談への対応	生活相談窓口 (コールセンター) 設置	生活相談窓口 (対面) 設置	生活相談窓口 (電話・対面) 設置	生活相談窓口 (電話・対面) 設置	生活相談窓口 (電話・対面) 設置
	生活必需品の配付	衣服,ｵﾑﾂ,生理用品等 配付	衣服,ｵﾑﾂ,生理用品等 配付	衣服,ｵﾑﾂ,生理用品等 配付	衣服,ｵﾑﾂ,生理用品等 配付	衣服,ｵﾑﾂ,生理用品等 配付
	生活上の移動支援	都市部のため 公共交通機関 で移動可能	循環バス 運行	循環バス 運行	循環バス 運行	循環バス 運行
	健康管理	ホテル等へ 保健師派遣	ホテル等へ 保健師派遣	ホテル等へ 保健師派遣	ホテル等へ 保健師派遣	ホテル等へ 保健師派遣

(＊)避難元自治体のコミュニティやホテル等のキャパシティなどを考慮し、市町ごとの受入数を決定。

①熊本市

1　事前の避難元自治体との調整
2　輸送（避難先連絡所→収容施設）
3　避難先連絡所
4　生活支援
5　職員の確保・配置

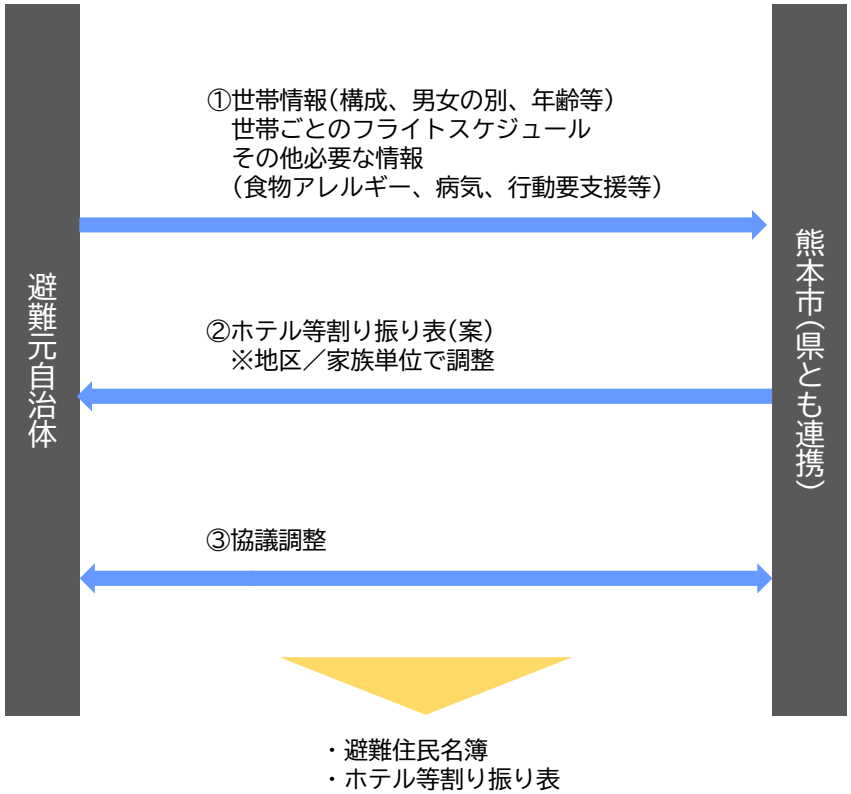
沖縄県				熊本県	
避難元市町村				受入市町村	
市村名	人口	地区	住民数	市町名	受入人数
宮古島市	11,733人	上野小	3,909人	熊本市	9,247人
		旧佐良浜小	2,463人		
		下地小	2,875人		
		旧伊良部小	2,359人	阿蘇市	1,326人
				大津町	1,033人
		旧来間小	127人	山鹿市	127人
多良間村	1,059人	ー	1,059人	八代市	1,059人
合計	12,792人				

1　事前の避難元自治体との調整

○考え方

○避難住民を円滑に受け入れるため、事前に、避難元自治体と連携の上、避難住民名簿やホテル等割り振り表を作成。
○熊本市生活便利ブックの配付など、必要な情報を事前に避難元自治体に提供。

○避難住民名簿やホテル等割り振り表



※定期的に更新。また、実際に避難となった場合に最終調整。

○生活便利ブック

避難住民は避難先市町の情報がないことから、避難先で生活する上で必要となる情報が掲載されている「熊本市生活便利ブック」を避難元自治体に提供。

（掲載されている情報）
・生活情報（スーパー、銀行・郵便局、医療機関、公共交通機関、コインランドリー等）
・交通機関情報（バス、電車、タクシー等）
・防災情報（防災情報メールの登録、ハザードマップ　等）
・保健・福祉関係情報（保育所、介護サービス事業所　等）

※避難元自治体への説明会の実施も検討。
※避難住民向けの支援メニュー（例 生活支援、心の相談等）の追加も検討

【参考】ホテル等割り振り（案）

○受入人数（9,247人）を超える、ホテル等の部屋（7,450部屋、11,469人分）を確保見込み。

（単位：人）

熊本市

行政区	単身	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	世帯数	人口
上野	1,396	460	171	118	66	39	4	2	0	0	2,256	3,909
旧佐良浜	787	447	124	44	23	15	3	1	0	0	1,444	2,463
下地	724	445	142	77	61	27	6	1	0	1	1,484	2,875
計	2,907	1,352	437	239	150	81	13	4	0	1	5,184	9,247

	シングル	ツイン・ダブル	トリプル	ファミリー（4）	計
56施設	3,895部屋（3,895人）	3,135部屋（6,270人）	376部屋（1,128人）	44部屋（176人）	7,450部屋（11,469人）

※部屋割の一案

中心市街地エリア

上野

構成	世帯数	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾂｲﾝ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾄﾘﾌﾟﾙ	ﾌｧﾐﾘｰ
単身	1396	1323	73		
2人	460	124	398		
3人	171	60	138	72	
4人	118		236		
5人	66	16	96	43	
6人	39		56	34	5
7人	4		4	3	3
8人	2		3	1	2
合計	2256	1523	1004	153	10

中心市街地エリア・水前寺エリア

旧佐良浜

構成	世帯数	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾂｲﾝ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾄﾘﾌﾟﾙ	ﾌｧﾐﾘｰ
単身	787	787			
2人	447	34	430		
3人	124	51	51	71	2
4人	44		52		18
5人	23		23	23	
6人	15		8	14	8
7人	3			3	3
8人	1				2
合計	1444	872	564	111	33

熊本駅周辺エリア

下地

構成	世帯数	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾂｲﾝ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾄﾘﾌﾟﾙ	ﾌｧﾐﾘｰ
単身	724	651	73		
2人	445		445		
3人	142		248	18	
4人	77		154		
5人	61		105	39	
6人	27		14	45	
7人	6		12	6	
8人	1		1	2	
10人	1			2	1
合計	1484	651	1052	112	1

2　輸送（避難先連絡所→受入収容施設）

○考え方

○避難住民は、受付等のため、鹿児島空港から避難先連絡所に移動する。
○避難先連絡所から各ホテル等への輸送は、鹿児島空港からの輸送に使用したバスをそのまま活用。
（方面ごとにまとまって乗車する）
○避難先連絡所からは職員が乗車し、避難住民の誘導案内を実施。

○輸送の流れ等

輸送の流れ

避難先連絡所とホテルの位置関係

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）①～

＜1日目①＞

航空機便	宮古空港 下地島空港 発	鹿児島空港 着	バス乗換 (計32台)	鹿児島空港 発	避難先連絡所 着	受付等		避難先 連絡所 発	ホテル 着	計
						受付	説明			
1,585名	90分		30分	120分		6分	10分	30分		5時間41分
3-3 宮古 (101名)	11:25	12:55	50名/台	13:25	15:25	15:25	15:31	15:41	16:11	
			50名/台			15:31	15:37	15:47	16:17	
			1名(待機)							
1-1 下地島 (177名)	11:40	13:10	50名/台	13:40	15:40	15:40	15:46	15:56	16:26	
			50名/台			15:46	15:52	16:02	16:32	
			50名/台			15:52	15:58	16:08	16:38	
			28名(待機)							
3-4 宮古 (165名)	12:35	14:05	50名/台	14:35	16:35	16:35	16:41	16:51	17:21	
			50名/台			16:41	16:47	16:57	17:27	
			50名/台			16:47	16:53	17:03	17:33	
			43名/台			16:53	16:59	17:09	17:39	
3-5 宮古 (165名)	13:45	15:15	50名/台	15:45	17:45	17:45	17:51	18:01	18:31	
			50名/台			17:51	17:57	18:07	18:37	
			50名/台			17:57	18:03	18:13	18:43	
			15名(待機)							
3-6 宮古 (165名)	14:55	16:25	50名/台	16:55	18:55	18:55	19:01	19:11	19:41	
			50名/台			19:01	19:07	19:17	19:47	
			50名/台			19:07	19:13	19:23	19:53	
			30名(待機)							

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）②～

＜1日目②＞

航空機便	宮古空港 下地島空港 発	鹿児島空港 着	バス乗換	鹿児島空港 発	避難先連絡所 着	受付等		避難先 連絡所 発	ホテル 着	計
						受付	説明			
	90分		30名（待機）	120分		6分	10分	30分		5時間41分
5-6 宮古 （335名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:05	20:11	20:21	20:51	
			50名/台			20:11	20:17	20:27	20:57	
			50名/台			20:17	20:23	20:33	21:03	
			50名/台			20:23	20:29	20:39	21:09	
			50名/台			20:29	20:35	20:45	21:15	
			50名/台			20:35	20:41	20:51	21:21	
			50名/台			20:41	20:47	20:57	21:27	
			15名（待機）							
3-7 宮古 （165名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:47	20:53	21:03	21:33	
			50名/台			20:53	20:59	21:09	21:39	
			50名/台			20:59	21:05	21:15	21:45	
			30名（待機）							
3-8 宮古 （135名）	17:15	18:45	50名/台	19:15	21:15	21:15	21:21	21:31	22:01	
			50名/台			21:21	21:27	21:37	22:07	
			50名/台			21:27	21:33	21:43	22:13	
			15名（待機）							
2-5 下地島 （177名）	17:30	19:00	50名/台	19:30	21:30	21:33	21:39	21:49	22:19	
			50名/台			21:39	21:45	21:55	22:25	
			50名/台			21:45	21:51	22:01	22:31	
			42名/台			21:51	21:57	22:07	22:37	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）③～

＜2日目①＞

航空機便	宮古空港 下地島空港 発	鹿児島空港 着	バス乗換 (計29台)	鹿児島空港 発	避難先連絡所 着	受付等		避難先 連絡所 発	ホテル 着	計
						受付	説明			
1,409名	90分		30分	120分		6分	10分	30分		5時間41分
3-3 宮古 (102名)	11:25	12:55	50名/台	13:25	15:25	15:25	15:31	15:41	16:11	
			50名/台			15:31	15:37	15:47	16:17	
			2名(待機)							
1-1 下地島 (177名)	11:40	13:10	50名/台	13:40	15:40	15:40	15:46	15:56	16:26	
			50名/台			15:46	15:52	16:02	16:32	
			50名/台			15:52	15:58	16:08	16:38	
			29名(待機)							
3-4 宮古 (165名)	12:35	14:05	50名/台	14:35	16:35	16:35	16:41	16:51	17:21	
			50名/台			16:41	16:47	16:57	17:27	
			50名/台			16:47	16:53	17:03	17:33	
			44名/台			16:53	16:59	17:09	17:39	
3-5 宮古 (165名)	13:45	15:15	50名/台	15:45	17:45	17:45	17:51	18:01	18:31	
			50名/台			17:51	17:57	18:07	18:37	
			50名/台			17:57	18:03	18:13	18:43	
			15名(待機)							
3-6 宮古 (165名)	14:55	16:25	50名/台	16:55	18:55	18:55	19:01	19:11	19:41	
			50名/台			19:01	19:07	19:17	19:47	
			50名/台			19:07	19:13	19:23	19:53	
			30名/台			19:13	19:19	19:29	19:59	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）④～

＜2日目②＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等		避難先連絡所発	ホテル着	計
						受付	説明			
	90分		30分	120分		6分	10分	30分		5時間41分
5-6 宮古 (335名)	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:05	20:11	20:21	20:51	
			50名/台			20:11	20:17	20:27	20:57	
			50名/台			20:17	20:23	20:33	21:03	
			50名/台			20:23	20:29	20:39	21:09	
			50名/台			20:29	20:35	20:45	21:15	
			50名/台			20:35	20:41	20:51	21:21	
			35名(待機)							
3-7 宮古 (165名)	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:41	20:47	20:57	21:27	
			50名/台			20:47	20:53	21:03	21:33	
			50名/台			20:53	20:59	21:09	21:39	
			50名/台			20:59	21:05	21:15	21:45	
3-8 宮古 (135名)	17:15	18:45	50名/台	19:15	21:15	21:15	21:21	21:31	22:01	
			50名/台			21:21	21:27	21:37	22:07	
			35名/台			21:27	21:33	21:43	22:13	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑤～

＜3日目①＞

航空機便	宮古空港 下地島空港 発	鹿児島空港 着	バス乗換 (計30台)	鹿児島空港 発	避難先連絡所 着	受付等		避難先 連絡所 発	ホテル 着	計
						受付	説明			
1,477名	90分		30分	120分		6分	10分	30分		5時間41分
3-3 宮古 (102名)	11:25	12:55	50名/台	13:25	15:25	15:25	15:31	15:41	16:11	
			50名/台			15:31	15:37	15:47	16:17	
			2名(待機)							
1-1 下地島 (177名)	11:40	13:10	50名/台	13:40	15:40	15:40	15:46	15:56	16:26	
			50名/台			15:46	15:52	16:02	16:32	
			50名/台			15:52	15:58	16:08	16:38	
			29名(待機)							
3-4 宮古 (38名)	12:35	14:05	50名/台	14:35	16:35	16:35	16:41	16:51	17:21	
			17名(待機)							
3-5 宮古 (165名)	13:45	15:15	50名/台	15:45	17:45	17:45	17:51	18:01	18:31	
			50名/台			17:51	17:57	18:07	18:37	
			50名/台			17:57	18:03	18:13	18:43	
			32名(待機)							
3-6 宮古 (165名)	14:55	16:25	50名/台	16:55	18:55	18:55	19:01	19:11	19:41	
			50名/台			19:01	19:07	19:17	19:57	
			50名/台			19:07	19:13	19:23	19:53	
			47名/台			19:13	19:19	19:29	19:59	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑥～

＜3日目②＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等		避難先連絡所発	ホテル着	計
						受付	説明			
	90分			120分		6分	10分	30分		5時間41分
5-6 宮古 (335名)	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:05	20:11	20:21	20:51	
			50名/台			20:11	20:17	20:27	20:57	
			50名/台			20:17	20:23	20:33	21:03	
			50名/台			20:23	20:29	20:39	21:09	
			50名/台			20:29	20:35	20:45	21:15	
			50名/台			20:35	20:41	20:51	21:21	
			35名（待機）							
3-7 宮古 (165名)	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:47	20:53	21:03	21:33	
			50名/台			20:53	20:59	21:09	21:39	
			50名/台			20:59	21:05	21:15	21:45	
			50名/台			21:05	21:11	21:22	21:52	
3-8 宮古 (165名)	17:15	18:45	50名/台	19:15	21:15	21:15	21:21	21:31	22:01	
			50名/台			21:21	21:27	21:37	22:07	
			50名/台			21:27	21:33	21:43	22:13	
			15名（待機）							
3-9 宮古 (165名)	18:25	19:55	50名/台	20:25	22:25	22:25	22:31	22:41	23:11	
			50名/台			22:31	22:37	22:47	23:17	
			50名/台			22:37	22:43	22:53	23:23	
			30名/台			22:43	22:49	22:59	23:29	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑦～

＜4日目①＞

航空機便	宮古空港 下地島空港 発	鹿児島空港 着	バス乗換 (計33台)	鹿児島空港 発	避難先連絡所 着	受付等		避難先 連絡所 発	ホテル 着	計
						受付	説明			
1,604名	90分		30分	120分		6分	10分	30分		5時間41分
3-3 宮古 (102名)	11:25	12:55	50名/台	13:25	15:25	15:25	15:31	15:41	16:11	
			50名/台			15:31	15:37	15:47	16:17	
			2名(待機)							
1-1 下地島 (177名)	11:40	13:10	50名/台	13:40	15:40	15:40	15:46	15:56	16:26	
			50名/台			15:46	15:52	16:02	16:32	
			50名/台			15:52	15:58	16:08	16:38	
			29名(待機)							
3-4 宮古 (165名)	12:35	14:05	50名/台	14:35	16:35	16:35	16:41	16:51	17:21	
			50名/台			16:41	16:47	16:57	17:27	
			50名/台			16:47	16:53	17:03	17:33	
			44名/台			16:53	16:59	17:09	17:39	
3-5 宮古 (165名)	13:45	15:15	50名/台	15:45	17:45	17:45	17:51	18:01	18:31	
			50名/台			17:51	17:57	18:07	18:37	
			50名/台			17:57	18:03	18:13	18:43	
			15名(待機)							
3-6 宮古 (165名)	14:55	16:25	50名/台	16:55	18:55	18:55	19:01	19:11	19:41	
			50名/台			19:01	19:07	19:17	19:47	
			50名/台			19:07	19:13	19:23	19:53	
			30名(待機)							

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑧～

＜4日目②＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等		避難先連絡所発	ホテル着	計
						受付	説明			
	90分		30名（待機）	120分		6分	10分	30分		5時間41分
5-6 宮古 （335名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:05	20:11	20:21	20:51	
			50名/台			20:11	20:17	20:27	20:57	
			50名/台			20:17	20:23	20:33	21:03	
			50名/台			20:23	20:29	20:39	21:09	
			50名/台			20:29	20:35	20:45	21:15	
			50名/台			20:35	20:41	20:51	21:21	
			50名/台			20:41	20:47	20:57	21:27	
			15名（待機）							
3-7 宮古 （165名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:47	20:53	21:03	21:33	
			50名/台			20:53	20:59	21:09	21:39	
			50名/台			20:59	21:05	21:15	21:45	
			30名（待機）							
3-8 宮古 （165名）	17:15	18:45	50名/台	19:15	21:15	21:15	21:21	21:31	22:01	
			50名/台			21:21	21:27	21:37	22:07	
			50名/台			21:27	21:33	21:43	22:13	
			45名/台			21:33	21:39	21:49	22:19	
3-9 宮古 （165名）	18:25	19:55	50名/台	20:25	22:25	22:25	22:31	22:41	23:11	
			50名/台			22:31	22:37	22:47	23:17	
			50名/台			22:37	22:43	22:53	23:23	
			15名/台			22:43	22:49	22:59	23:29	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑨～

＜5日目①＞

航空機便	宮古空港 下地島空港 発	鹿児島空港 着	バス乗換 (計33台)	鹿児島空港 発	避難先連絡所 着	受付等		避難先 連絡所 発	ホテル 着	計
						受付	説明			
1, 604名	90分		30分	120分		6分	10分	30分		5時間41分
3-3 宮古 (102名)	11:25	12:55	50名/台	13:25	15:25	15:25	15:31	15:41	16:11	
			50名/台			15:31	15:37	15:47	16:17	
			2名(待機)							
1-1 下地島 (177名)	11:40	13:10	50名/台	13:40	15:40	15:40	15:46	15:56	16:26	
			50名/台			15:46	15:52	16:02	16:32	
			50名/台			15:52	15:58	16:08	16:38	
			29名(待機)							
3-4 宮古 (165名)	12:35	14:05	50名/台	14:35	16:35	16:35	16:41	16:51	17:21	
			50名/台			16:41	16:47	16:57	17:27	
			50名/台			16:47	16:53	17:03	17:33	
			44名/台			16:53	16:59	17:09	17:39	
3-5 宮古 (165名)	13:45	15:15	50名/台	15:45	17:45	17:45	17:51	18:01	18:31	
			50名/台			17:51	17:57	18:07	18:37	
			50名/台			17:57	18:03	18:13	18:43	
			15名(待機)							
3-6 宮古 (165名)	14:55	16:25	50名/台	16:55	18:55	18:55	19:01	19:11	19:41	
			50名/台			19:01	19:07	19:17	19:47	
			50名/台			19:07	19:13	19:23	19:53	
			30名(待機)							

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑩～

＜5日目②＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等		避難先連絡所発	ホテル着	計
						受付	説明			
	90分		30名（待機）	120分		6分	10分	30分		5時間41分
5-6 宮古 （335名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:05	20:11	20:21	20:51	
			50名/台			20:11	20:17	20:27	20:57	
			50名/台			20:17	20:23	20:33	21:03	
			50名/台			20:23	20:29	20:39	21:09	
			50名/台			20:29	20:35	20:45	21:15	
			50名/台			20:35	20:41	20:51	21:21	
			50名/台			20:41	20:47	20:57	21:27	
			15名（待機）							
3-7 宮古 （165名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:47	20:53	21:03	21:33	
			50名/台			20:53	20:59	21:09	21:39	
			50名/台			20:59	21:05	21:15	21:45	
			30名（待機）							
3-8 宮古 （165名）	17:15	18:45	50名/台	19:15	21:15	21:15	21:21	21:31	22:51	
			50名/台			21:21	21:27	21:37	21:57	
			50名/台			21:27	21:33	21:43	22:03	
			45名/台			21:33	21:39	21:49	22:09	
3-9 宮古 （165名）	18:25	19:55	50名/台	20:25	22:25	22:25	21:31	21:41	22:11	
			50名/台			22:31	21:37	21:47	22:17	
			50名/台			22:37	21:43	22:53	22:23	
			15名/台			22:43	22:49	22:59	23:29	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑪～

＜6日目①＞

航空機便	宮古空港 下地島空港 発	鹿児島空港 着	バス乗換 (計33台)	鹿児島空港 発	避難先連絡所 着	受付等		避難先 連絡所 発	ホテル 着	計
						受付	説明			
1,604名	90分		30分	120分		6分	10分	30分		5時間41分
3-3 宮古 (102名)	11:25	12:55	50名/台	13:25	15:25	15:25	15:31	15:41	16:11	
			50名/台			15:31	15:37	15:47	16:17	
			2名(待機)							
1-1 下地島 (177名)	11:40	13:10	50名/台	13:40	15:40	15:40	15:46	15:56	16:26	
			50名/台			15:46	15:52	16:02	16:32	
			50名/台			15:52	15:58	16:08	16:38	
			29名(待機)							
3-4 宮古 (165名)	12:35	14:05	50名/台	14:35	16:35	16:35	16:41	16:51	17:21	
			50名/台			16:41	16:47	16:57	17:27	
			50名/台			16:47	16:53	17:03	17:33	
			44名/台			16:53	16:59	17:09	17:39	
3-5 宮古 (165名)	13:45	15:15	50名/台	15:45	17:45	17:45	17:51	18:01	18:31	
			50名/台			17:51	17:57	18:07	18:37	
			50名/台			17:57	18:03	18:13	18:43	
			15名(待機)							
3-6 宮古 (165名)	14:55	16:25	50名/台	16:55	18:55	18:55	19:01	19:11	19:41	
			50名/台			19:01	19:07	19:17	19:57	
			50名/台			19:07	19:13	19:23	19:53	
			30名(待機)							

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）⑫～

＜6日目②＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等		避難先連絡所発	ホテル着	計
						受付	説明			
	90分		30名（待機）	120分		6分	10分	30分		5時間41分
5-6 宮古 （335名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:05	20:11	20:21	20:51	
			50名/台			20:11	20:17	20:27	20:57	
			50名/台			20:17	20:23	20:33	21:03	
			50名/台			20:23	20:29	20:39	21:09	
			50名/台			20:29	20:35	20:45	21:15	
			50名/台			20:35	20:41	20:51	21:21	
			50名/台			20:41	20:47	20:57	21:27	
			15名（待機）							
3-7 宮古 （165名）	16:05	17:35	50名/台	18:05	20:05	20:47	20:53	21:03	21:33	
			50名/台			20:53	20:59	21:09	21:39	
			50名/台			20:59	21:05	21:15	21:45	
			30名（待機）							
3-8 宮古 （165名）	17:15	18:45	50名/台	19:15	21:15	21:15	21:21	21:31	22:01	
			50名/台			21:21	21:27	21:37	22:07	
			50名/台			21:27	21:33	21:43	22:13	
			45名/台			21:33	21:39	21:49	22:19	
3-9 宮古 （165名）	18:25	19:55	50名/台	20:25	22:25	22:25	22:31	22:41	23:11	
			50名/台			22:31	22:37	22:47	23:17	
			50名/台			22:37	22:43	22:53	23:23	
			15名/台			22:43	22:49	22:59	23:29	

3　避難先連絡所

○考え方

○避難住民の円滑な受入・支援のため、以下の役割を担う避難先連絡所を開設。
　＜避難住民受入時＞本人確認等の受付、ホテル等の案内、留意事項等の説明　等
　＜避難住民受入後＞各種相談への対応、生活必需品の集積　等
○避難先連絡所は、以下の要件を満たす「ナースパワーアリーナ（熊本市総合体育館）」を選定。
　①十分な広さを有する。
　②冷暖房が完備されている。
　③避難住民の滞在先として想定するホテル等から近距離にあり、避難住民の生活支援等を行いやすい。
　④避難元自治体の役場機能の移転先として、一定のスペースや通信回線を含む機器の設置が可能である。

○「ナースパワーアリーナ（熊本市総合体育館）」の概要

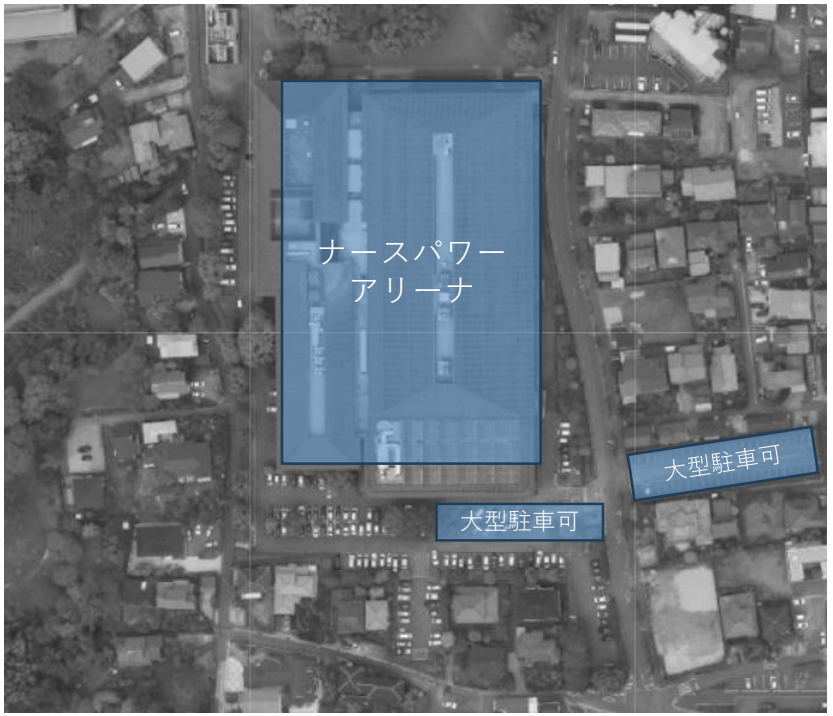
名称　：　ナースパワーアリーナ（熊本市総合体育館）

所在地　：　熊本市中央区出水2丁目7−1

建築構造　：　鉄筋コンクリート造地上3階

延床面積　：　18,600㎡

駐車場　：　大型バス5台駐車可能
（第2駐車場は普通乗用車50台分のスペースあり）



3　避難先連絡所～レイアウト及び動線～

ナースパワーアリーナ（熊本市総合体育館）（１階）

熊本市避難先連絡所の機能、レイアウト等

考え方

9,247人、5,184世帯＝1世帯平均1.78人
バス1台50人＝28世帯
受付時間は1世帯あたり3分を想定
15か所ブースを設置した場合、
28(世帯)×3(所要時間)÷15(箇所)＝バス1台あたり5.6分で対処することになる。

6時間で最大1,585人(905世帯)
※バス32台に対応するため、
・受付　　5.6分
・補足説明　10　分
合計15.6分であれば約6時間で全体対応することができる。

1世帯あたり3分での確認事項
・世帯情報確認
・本人確認
・資料等の配付
・避難先連絡所内の案内を終える。

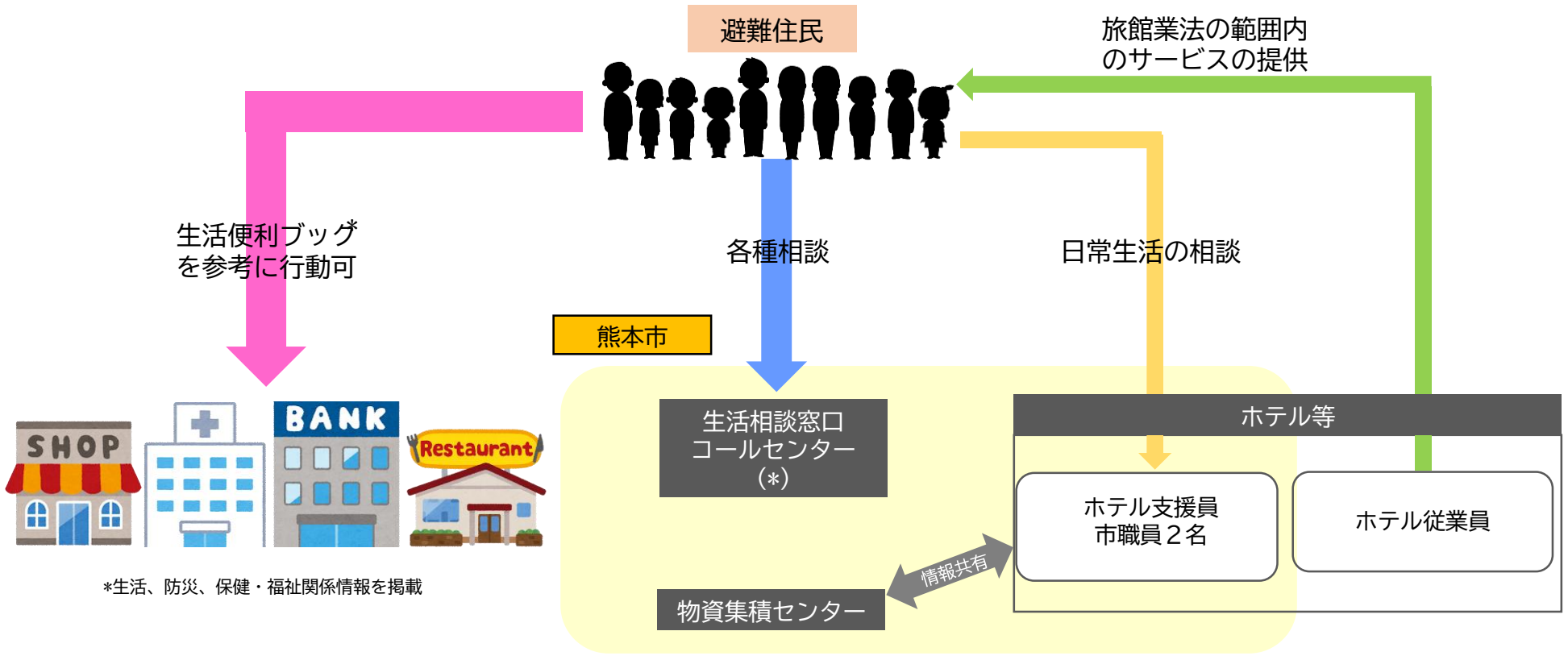
※なお、ホテルへのバス車内でも補足説明等は可能な限り行う。

4　生活支援～各種相談等への対応～

○考え方

○各種相談に対応するため、「生活相談窓口コールセンター」を設置。
○各ホテル等に、日常生活における支援窓口として支援員を配置。

○各種相談等への対応体制



*生活、防災、保健・福祉関係情報を掲載

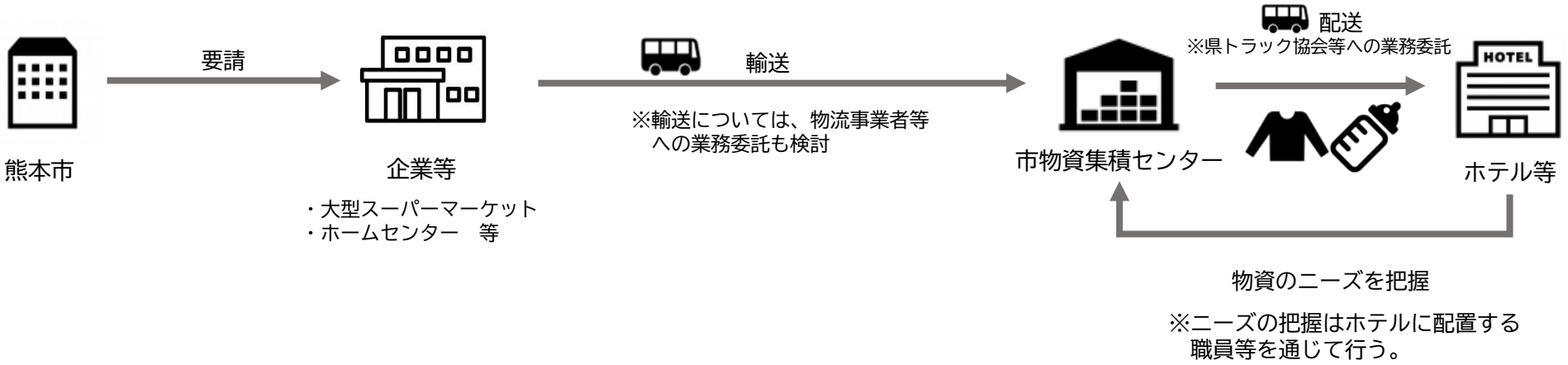
(*)コールセンターの考え方
業務委託を想定　一般的な通話時間5～10分
8：30～17：30（9時間）　１回線あたり54～108本受話
3回線（最大300程度）を確保し、呼損率（つながらない割合）等を勘案し体制は逐一見直し検討する。

※詳細な相談等は、ホテル支援員ではなく、生活相談窓口コールセンターで対応。
※ホテル支援員については、ホテルを含め、民間事業者への業務委託も検討。

4　生活支援～生活必需品の配付～

○考え方

○生活必需品等の物資については、災害時応援協定締結企業等に要請し調達する。
○調達した物資は、まず市物資集積センターに集積し、その後、避難住民の需要に応じて各ホテル等へ配送する。
○物資の要請先となる災害時応援協定締結企業は大型スーパーマーケットやホームセンター等が多く含まれることから、市物資集積センターへの輸送については物流事業者等への業務委託も検討（店舗から物流事業者等が物資を直接ピックアップの上、市物資集積センターへ輸送）。提供する物資の需要調査は、各ホテル等に配置される職員等が取りまとめ、物資集積センターで集約する。



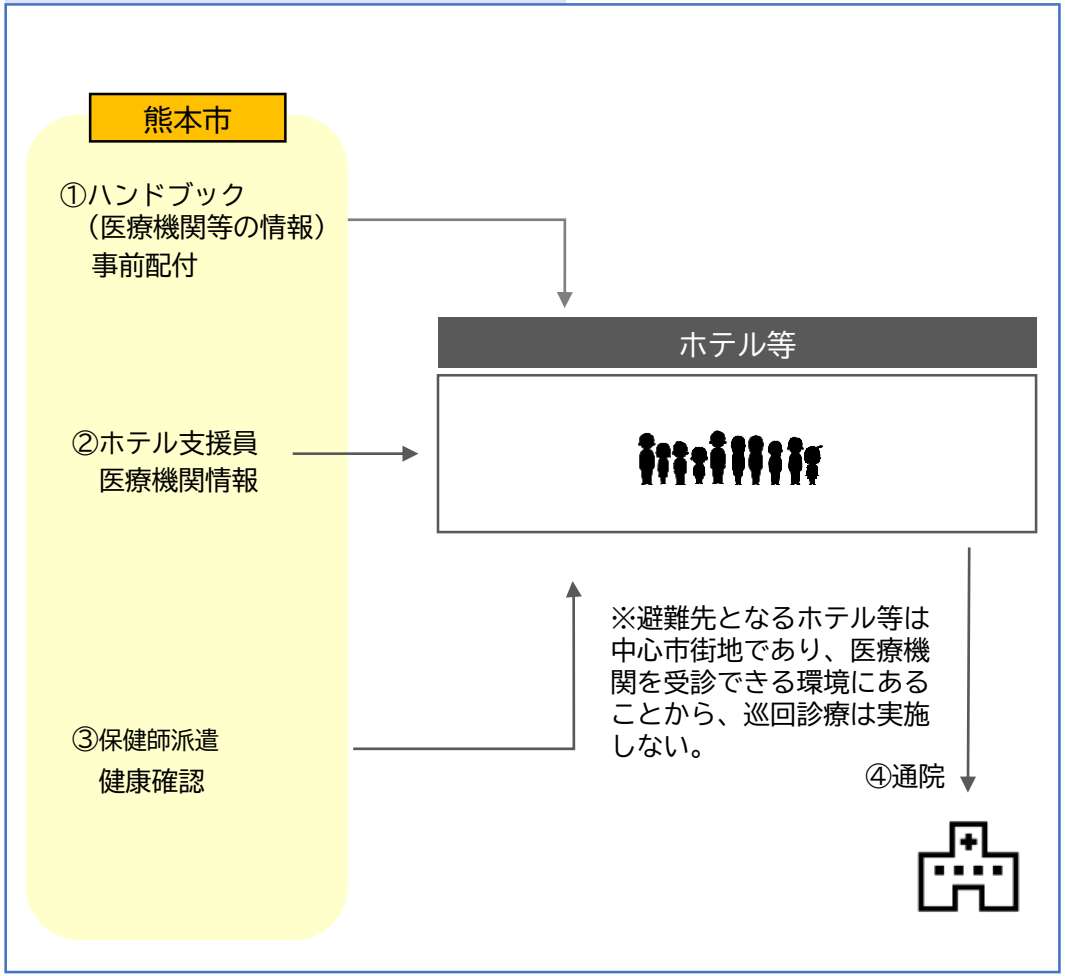
※生活必需品の輸送については、週２回程度、物資集積センターから各ホテル等への輸送を想定

4　生活支援～健康管理等～

○考え方

○ホテル等に保健師を派遣し、避難住民の健康確認を行い、支援を必要とする方へ効率的にアプローチできる体制を構築する。
○生活便利ブックやホテル支援員（避難所担当職員）等により、相談窓口の案内や医療機関情報を提供。

○健康管理イメージ



「③保健師派遣」について

熊本市「災害時における保健初動活動マニュアル」の保健福祉班健康支援チームの体制で、チームで支援を実施

局		人数		区で完結できる災害規模の場合	初動時 大規模災害時（災害対策本部設置後）
健康福祉局	健康づくり推進課	23 名		－	保健活動調整
	健康づくり推進課以外の課			－	○
区役所	中央区	117 名	26 名	○	○
	東区		26 名	○	○
	西区		19 名	○	○
	南区		23 名	○	○
	北区		23 名	○	○
合計		140 名		健康福祉局、区役所外保健師：7 名	

5　職員の確保・配置

○考え方

○避難先連絡所の運営等に必要な職員は、市役所全体で確保するほか、避難元職員も活用。
○それでも不足する場合は、必要に応じて民間事業者への業務委託も検討。

○1日当たりの必要な職員数（想定）

単位：人

区分		避難住民受入時											避難住民受入後（生活支援）									
		輸送*1	避難先連絡所									計	物資集積センター			相談対応等			ホテル等		計
役割		添乗員*2	責任者	全体確認・支援	バス誘導	施設内誘導	受付（物資配付も兼ねる）	体調不良者対応	受付待機場所	説明	説明待機場所		責任者	全体確認・支援	物資集積場所	生活相談窓口	交流スペース	巡回健康確認	支援員（責任者）*3	支援員*3	
必要な最大職員数	事務職員	12	1	3	6	8	30	2	5	8	0	75	*4			*5	*6	*7	56	56	112
	保健師							4				4						*7			―
計		12	67										0						112		

*1 避難先連絡所からホテル等までのバス輸送　*2 バス1台に1名乗　*3 各ホテルに1名配置　*4運営は業務委託を想定　*5 業務委託（コールセンター）を想定
*6 既存の中心市街地公共施設内を想定（特段の職員配置無）　*7 基本的に事務職１名保健師２名編成。巡回健康確認のチーム数は検討中（平時の状況次第）

②八代市

1　事前の避難元自治体との調整
2　輸送（避難先連絡所→収容施設）
3　避難先連絡所
4　生活支援
5　職員の確保・配置

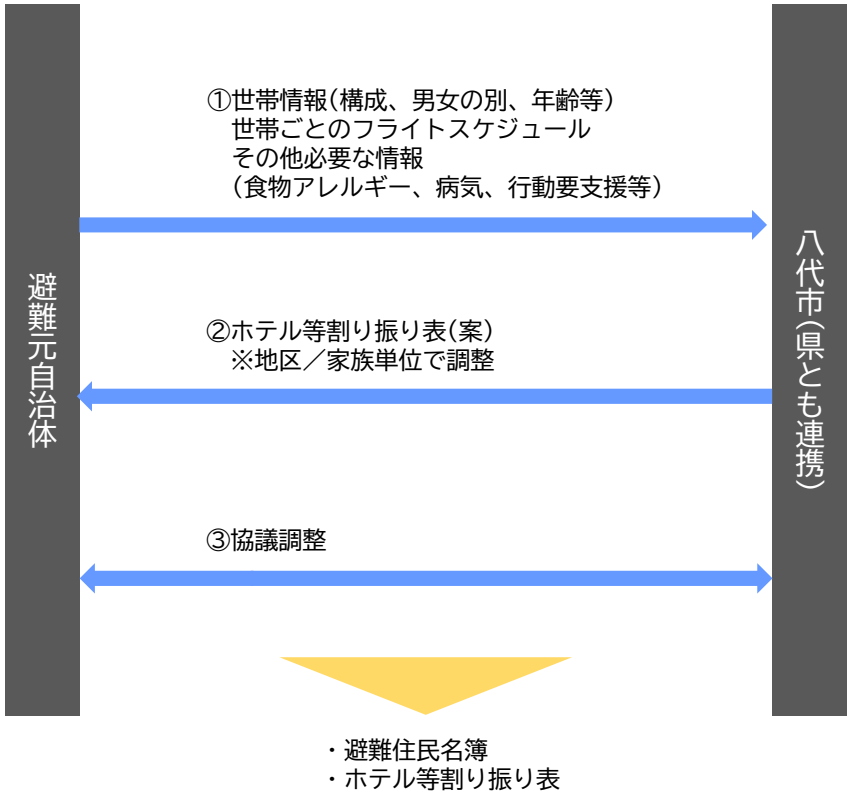
沖縄県				熊本県	
避難元市町村				受入市町村	
市村名	人口	地区	住民数	市町名	受入人数
宮古島市	11,733人	上野小	3,909人	熊本市	9,247人
		旧佐良浜小	2,463人		
		下地小	2,875人		
		旧伊良部小	2,359人	阿蘇市	1,326人
				大津町	1,033人
		旧来間小	127人	山鹿市	127人
多良間村	1,059人	ー	1,059人	八代市	1,059人
合計	12,792人				

1　事前の避難元自治体との調整

○考え方

○避難住民を円滑に受け入れるため、事前に、避難元自治体と連携の上、避難住民名簿やホテル等割り振り表を作成。
○生活、防災、保健・福祉関係情報を掲載したハンドブックの配付など、必要な情報を事前に避難元自治体に提供。

○避難住民名簿やホテル等割り振り表



※定期的に更新。また、実際に避難となった場合に最終調整。

○ハンドブック等

避難住民は避難先市町の情報がないことから、避難先で生活する上で必要となる情報をまとめたハンドブックを八代市で作成し、避難元自治体に提供。

（想定される情報）
・生活情報（スーパー、銀行・郵便局、医療機関、公共交通機関、コインランドリー等）
・交通機関情報（バス、電車、タクシー等）
・防災情報（防災情報メールの登録、ハザードマップ　等）
・保健・福祉関係情報（保育所、介護サービス事業所　等）

※避難元自治体への説明会の実施も検討。

【参考】ホテル等割り振り（案）

○受入人数（1,059人）を超える、ホテル等の部屋（847部屋、1,125人分）を確保見込み。

（単位：人）

八代市

地区名	単身	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	世帯数	人口
多良間村	260	154	54	31	27	9	1	0	1	0	537	1,059

	シングル	ツイン・ダブル	トリプル	計
8施設	５９１部屋（５９１人）	２３４部屋（４６８人）	２２部屋（６６人）	８４７部屋（1，１２５人）

※部屋割の一案

多良間村				
構成	世帯数	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾂｲﾝ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾄﾘﾌﾟﾙ
単身	260	260		
2人	154	120	94	
3人	54	54	54	
4人	31	62	31	
5人	27	27	54	
6人	9			18
7人	1	2	1	1
9人	1			3
合計	537	525	234	22

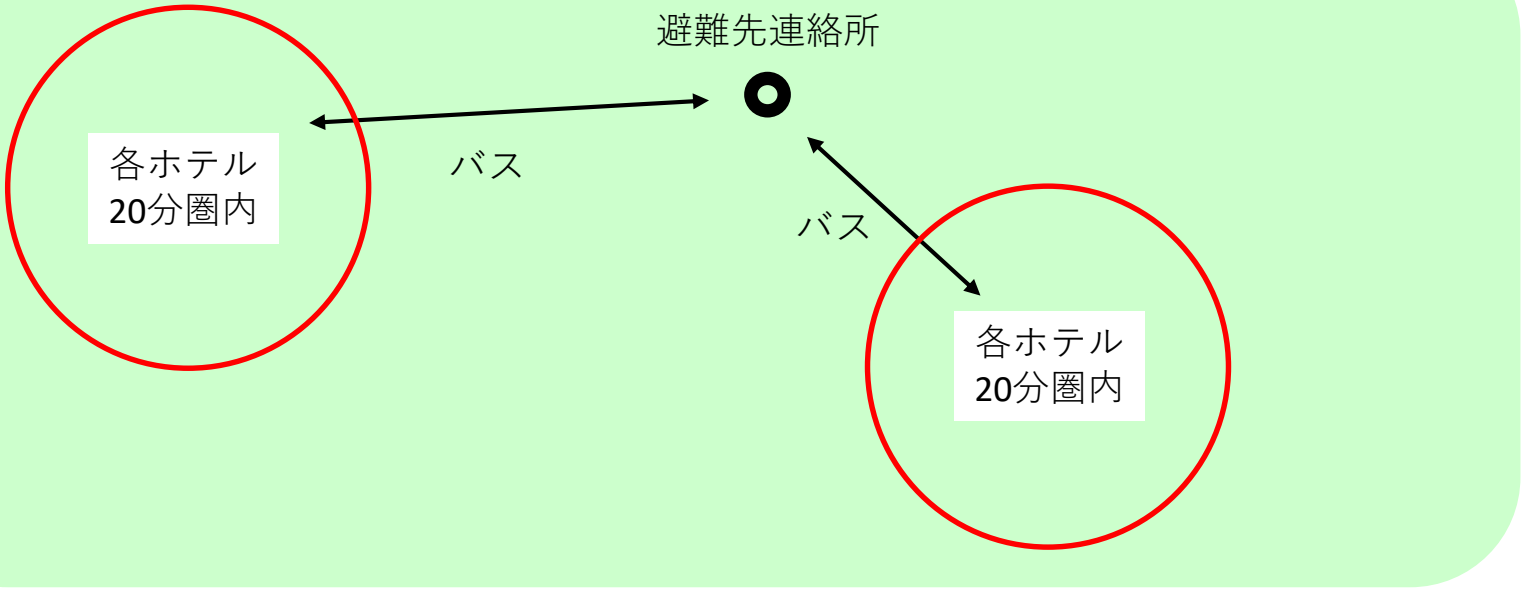
2　輸送（避難先連絡所→受入収容施設）

○考え方

○避難住民は、受付等のため、鹿児島空港から避難先連絡所に移動する。
○避難先連絡所から各ホテル等への輸送は、鹿児島空港からの輸送に使用したバスをそのまま活用。
○避難先連絡所からは職員が乗車し、避難住民の誘導案内を実施。
○バスは、全ての避難住民をホテル等に送り届けた後、避難先連絡所に戻り、職員を降車。

○輸送の流れ等

避難先連絡所とホテルの位置関係



【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）①～

＜1日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計12台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
530名	90分		30分	90分		70分	20分		約5時間00分
3-8 （30名）	17:15	18:45	30名/台	19:15	20:45	＋待機15分 （5-7と同時対応）	22:10	22：30	
5-7 （335名）	17:30	19:00	50名/台	19:30	21:00				
			50名/台						
			50名/台						
			50名/台						
			50名/台						
			50名/台						
			35名/台						
3-9 （165名）	18:25	19:55	50名/台	20:25	21:55		23：05	23：25	
			50名/台						
			50名/台						
			15名/台						

※ 避難先連絡所への到着時間が夜間になるため、受付箇所をバス台数に応じて設置し、時間短縮を図る。
※ 3-8便・5-7便については、避難先の案内や留意事項の説明等を同時に実施する。

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）②～

＜2日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計12台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
530名	90分		30分	90分		70分	20分		約5時間00分
3-8（30名）	17:15	18:45	30名/台	19:15	20:45	＋待機15分（5-7と同時対応）	22:10	22：30	
5-7（335名）	17:30	19:00	50名/台	19:30	21:00				
			50名/台						
			50名/台						
			50名/台						
			50名/台						
			50名/台						
			35名/台						
3-9（165名）	18:25	19:55	50名/台	20:25	21:55		23：05	23：25	
			50名/台						
			50名/台						
			15名/台						

※ 避難先連絡所への到着時間が夜間になるため、受付箇所をバス台数に応じて設置し、時間短縮を図る。
※ 3-8便・5-7便については、避難先の案内や留意事項の説明等を同時に実施する。

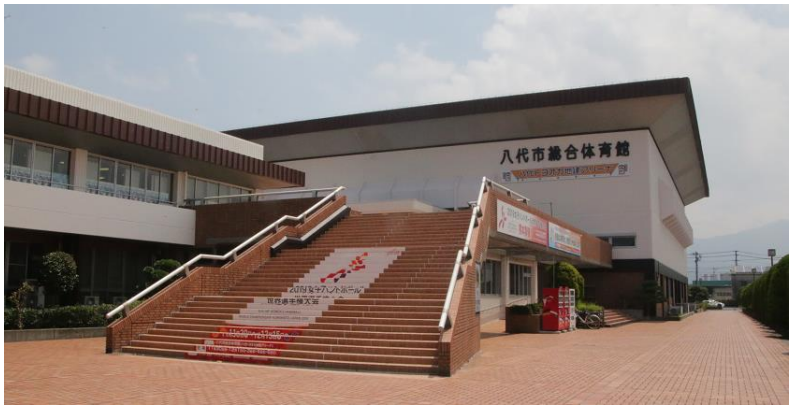
3　避難先連絡所

○考え方

○避難住民の円滑な受入・支援のため、以下の役割を担う避難先連絡所を開設。
　＜避難住民受入時＞本人確認等の受付、ホテル等の案内、留意事項等の説明　等
　＜避難住民受入後＞各種相談への対応、生活必需品の集積　等
○避難先連絡所は、以下の要件を満たす「八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）」を選定。
　①十分な広さを有する。
　②冷暖房が完備されている。
　③避難住民の滞在先として想定するホテル等から近距離にあり、避難住民の生活支援等を行いやすい。
　④避難元自治体の役場機能の移転先として、一定のスペースや通信回線を含む機器の設置が可能である。
　　※熊本地震の際に、八代市役所の機能を一部移転した実績あり。

○「八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）」の概要

名称　：　八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）
所在地　：　八代市緑町11-1
建築構造　：　鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造）地上3階
延床面積　：　7,832㎡
駐車場　：　乗用車(238台)



3　避難先連絡所～レイアウト及び動線①～

八代トヨオカ地建アリーナ（１階）

前提

・最初に、大型バス1台（30名）が到着。
・次に、15分後に大型バス7台（335名）が到着。
・さらに、55分後に大型バス4台（165名）が到着。
→最大335名の受付待機場所を確保し、その受付及び留意事項の説明等を約1時間程度で終了させる必要がある。

■生活必需品集積場所（最大1,080㎡）
・衣類等の生活必需品を保管。
・避難受入時は予備受付待機場所としても活用（最大収容人数300名）。
机、椅子等は、既存の備品を使用。

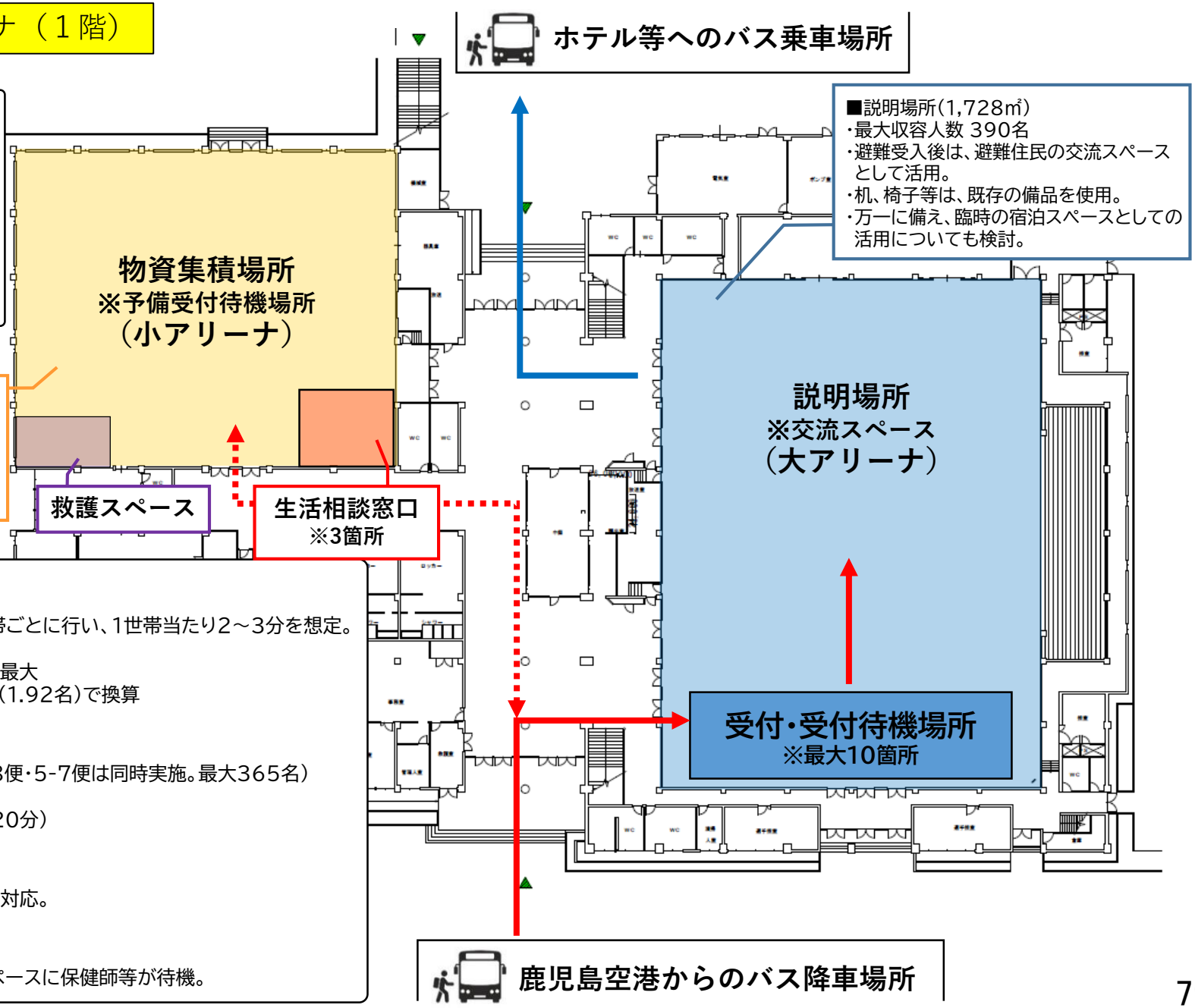
考え方

【受付】
・受付は2名1組で最大10箇所設置。世帯ごとに行い、1世帯当たり2～3分を想定。
避難元職員も配置。
→175世帯/10箇所×3分＝53分　※最大
※避難者335名を1世帯当たり人口（1.92名）で換算
・本人確認及び健康確認を実施。

【説明会】
・バスの便数に応じて実施。（ただし、3-8便・5-7便は同時実施。最大365名）
※待機者等はでない予定
・ホテルの案内、留意事項等の説明。（約20分）
・説明会終了後、バスに乗車。

【生活相談窓口】
・生活、保健・福祉関係等の相談に対面で対応。
・避難元職員も配置。

【救護スペース】
・体調不良者がいた場合に備え、救護スペースに保健師等が待機。

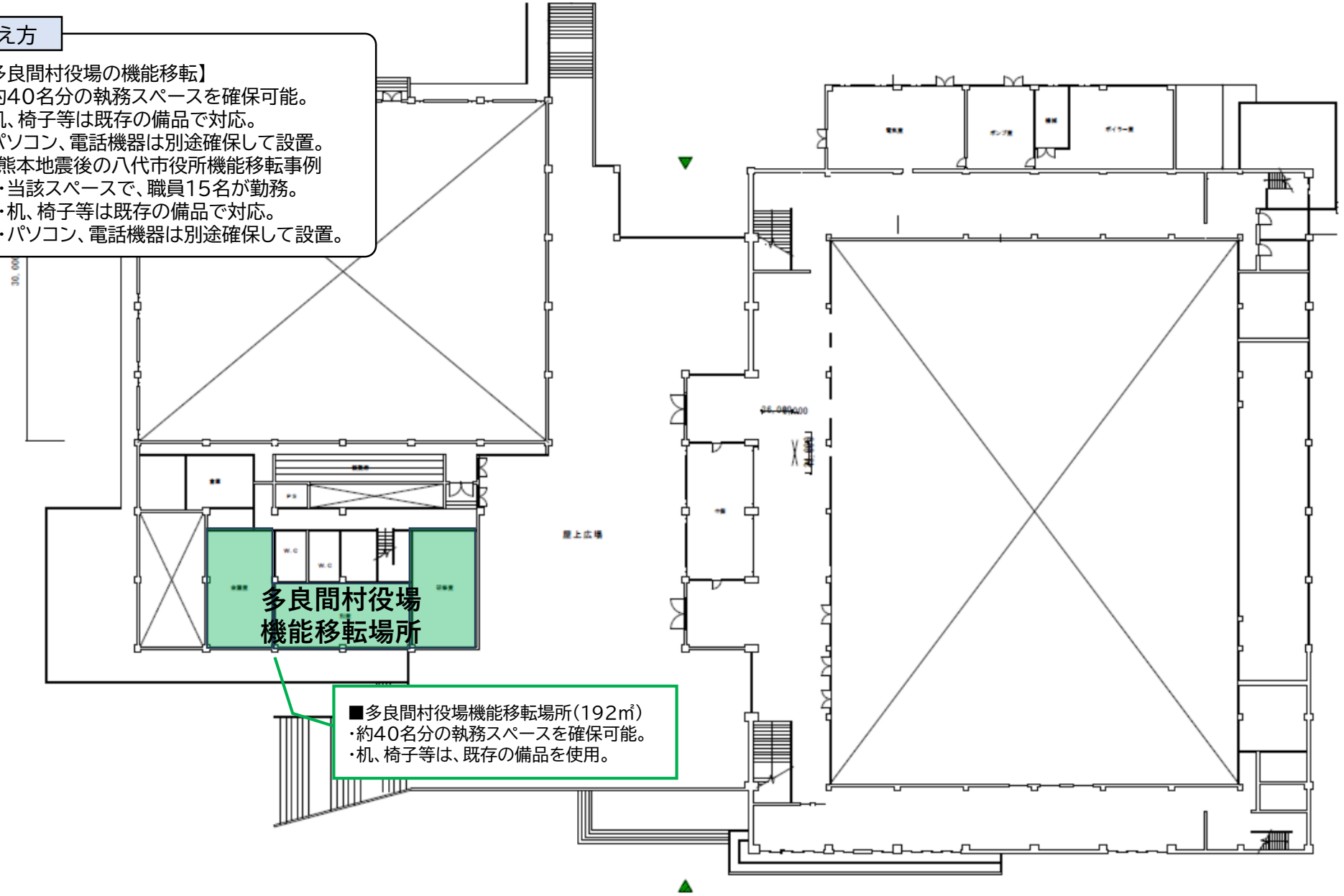


3　避難先連絡所～レイアウト及び動線②～

八代トヨオカ地建アリーナ（２階）

考え方

【多良間村役場の機能移転】
・約40名分の執務スペースを確保可能。
・机、椅子等は既存の備品で対応。
・パソコン、電話機器は別途確保して設置。
※熊本地震後の八代市役所機能移転事例
　・当該スペースで、職員15名が勤務。
　・机、椅子等は既存の備品で対応。
　・パソコン、電話機器は別途確保して設置。

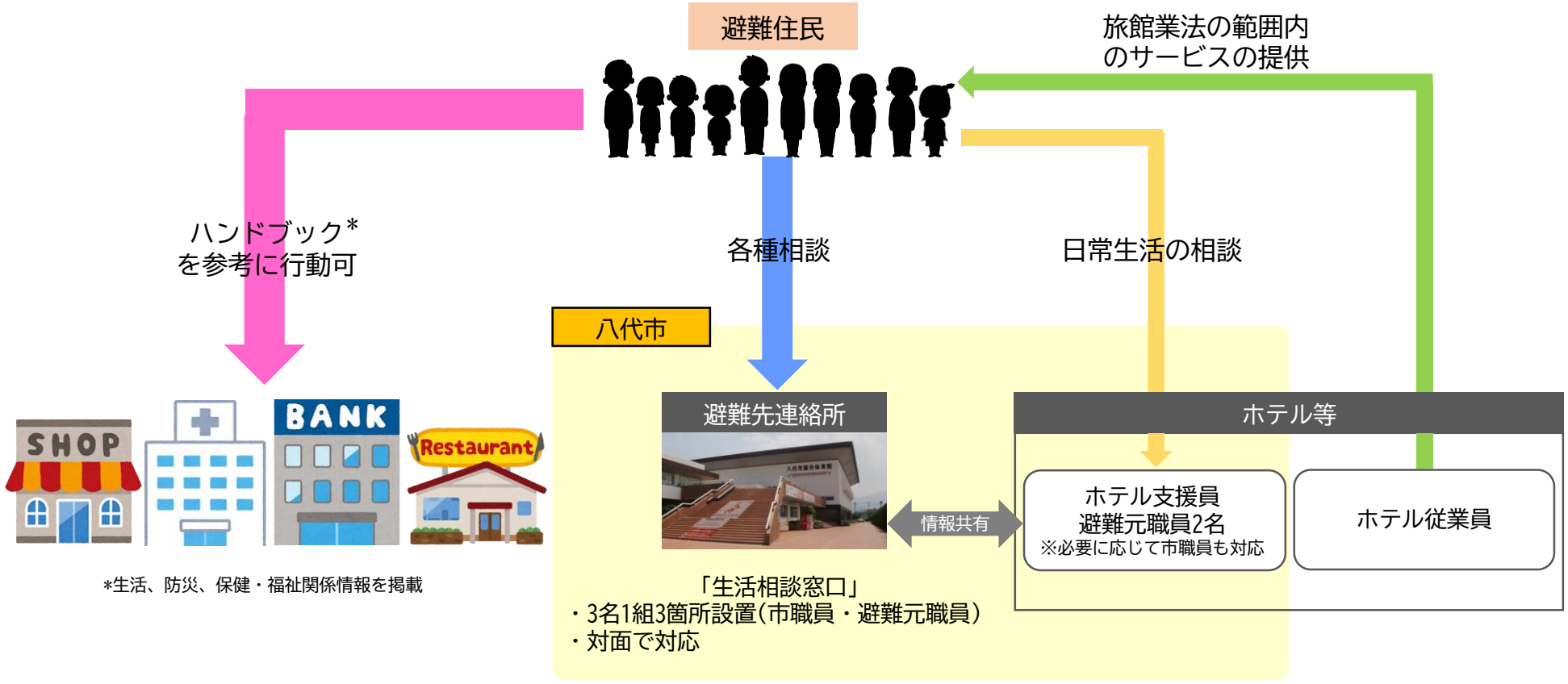


4　生活支援～各種相談等への対応～

○考え方

○各種相談に対応するため、避難先連絡所に「生活相談窓口」を設置。
○各ホテル等に、日常生活における支援窓口としてコンシェルジュ的な役割を担う支援員を配置。
○生活相談窓口やホテル支援員は、市職員や避難元職員の配置を想定。

○各種相談等への対応体制



*生活、防災、保健・福祉関係情報を掲載

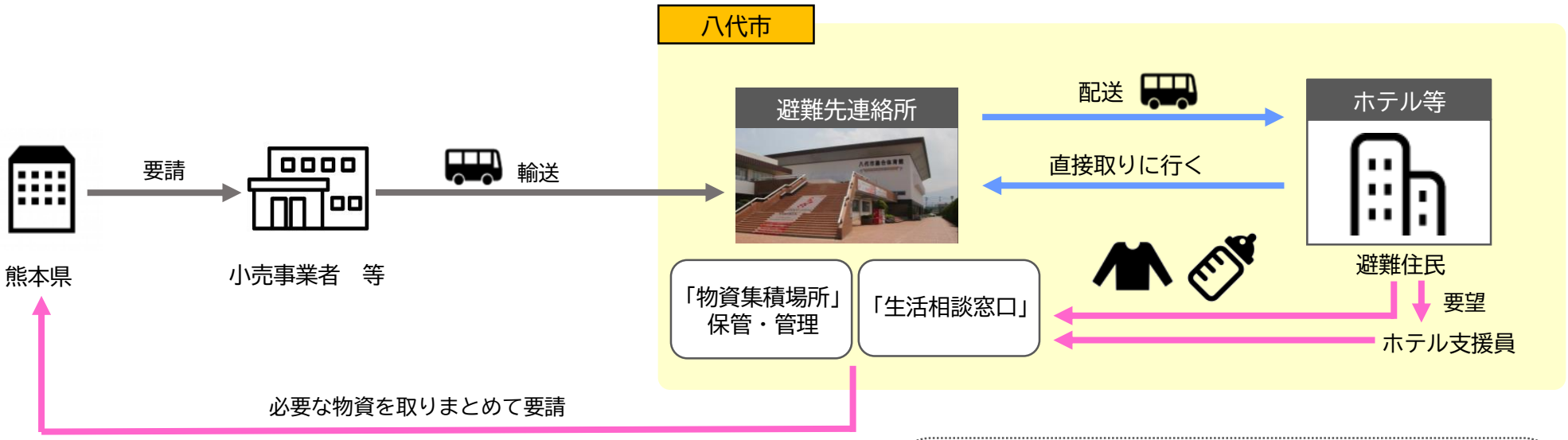
※詳細な相談等は、ホテル支援員ではなく、避難先連絡所内の専用相談窓口で対応。
※ホテル支援員については、ホテルを含め、民間事業者への業務委託も検討。

4　生活支援～生活必需品の配付～

○考え方

○避難先連絡所に輸送された生活必需品は、「物資集積場所」で保管・管理。
○必要に応じて避難先連絡所から各ホテル等に配送。個別ニーズに応じた生活物資は、避難住民自ら避難先連絡所に取りに行くことも可能。
○避難住民のニーズは生活相談窓口等で把握。生活必需品が不足する場合は、市で取りまとめの上、県に要請。

○各種相談等への対応体制



＜生活必需品(一案)＞

・衣類
・配慮を要する者の日常生活支援のための用品
　乳幼児：オムツ、粉ミルク、離乳食
　女性：生理用品
　高齢者：オムツ、パッド

など

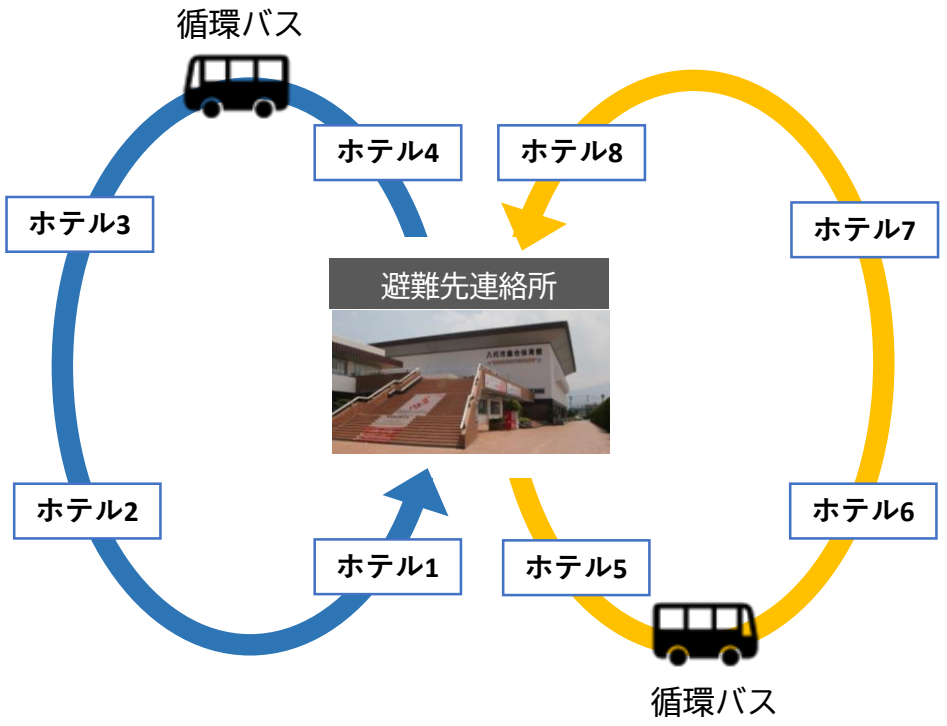
4　生活支援～循環バスの運行・健康管理等～

＜循環バスの運行＞

○考え方

○避難先連絡所を始点・終点として、各ホテル等を循環するバスの運行も検討。
○運行の必要性、便数や経由地は、避難元自治体と協議・調整。

○循環バス運行イメージ



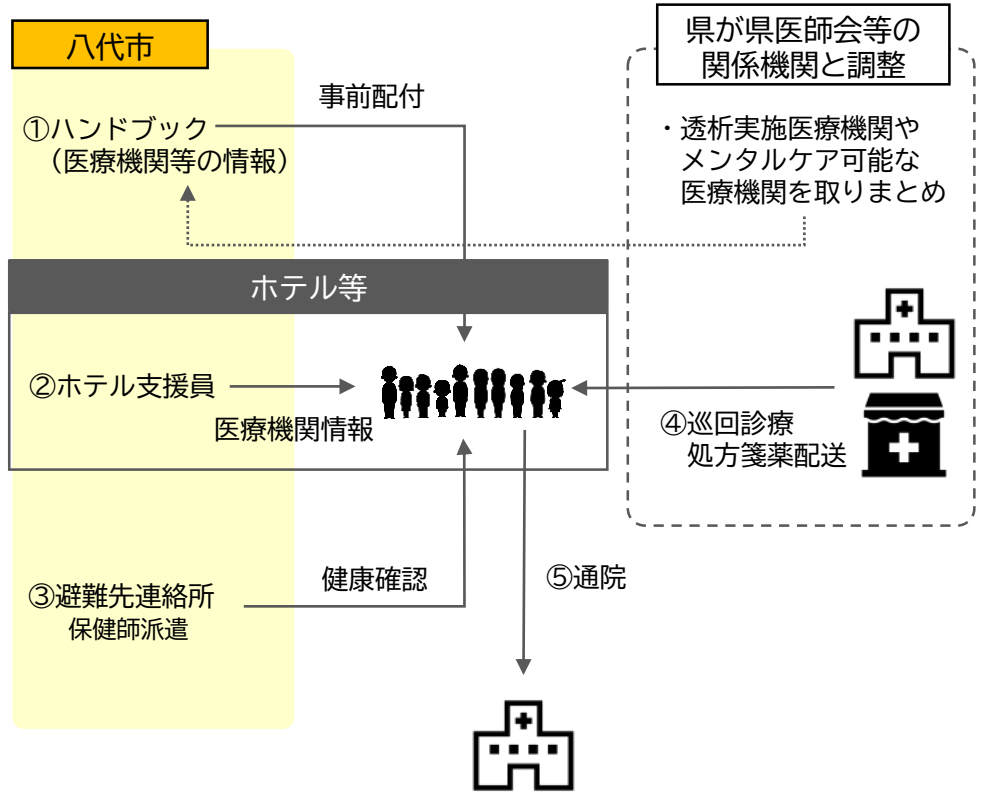
※２系統で運行

＜健康管理等＞

○考え方

○避難先連絡所からホテル等に保健師を派遣し、避難住民の健康確認。
○ハンドブックやホテル支援員等により、医療機関情報を提供。

○健康管理イメージ



5　職員の確保・配置

○考え方

○避難先連絡所の運営等に必要な職員は、市役所全体で確保するほか、避難元職員も活用。
○それでも不足する場合は、県に応援職員の派遣を要請。必要に応じて民間事業者への業務委託も検討。

○1日当たりの必要な職員数（想定）

単位：人

区分		避難住民受入時											避難住民受入後（生活支援）								
		輸送*1	避難先連絡所									計	避難先連絡所						ホテル等		計
役割		添乗員*2	責任者	全体確認・支援	バス誘導	施設内誘導	受付	体調不良者対応	受付待機場所	説明	説明待機場所		責任者	全体確認・支援	物資集積場所	生活相談窓口	交流スペース	巡回健康確認	支援員（責任者）*3	支援員*4	
必要な最大職員数	事務職員	12	1	3	6	8	20	2	5	8	0	65	1	2	2	9	2		8	8	32
	保健師							4				4						6			6
計		12	57										22						16		

*1 避難先連絡所からホテル等までのバス輸送
*2 バス1台に1名乗　　*3 各ホテルに1名配置　　*4 各ホテルに2名配置

③山鹿市

1　事前の避難元自治体との調整
2　輸送（避難先連絡所→収容施設）
3　避難先連絡所
4　生活支援
5　職員の確保・配置

沖縄県　　**熊本県**

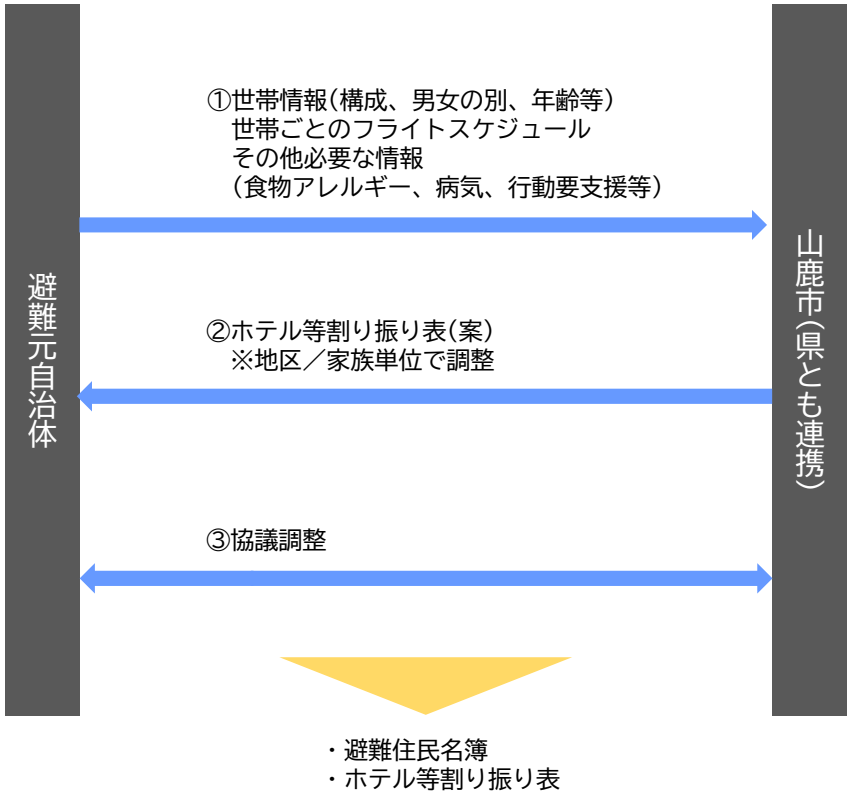
避難元市町村				受入市町村	
市村名	人口	地区	住民数	市町名	受入人数
宮古島市	11,733人	上野小	3,909人	熊本市	9,247人
		旧佐良浜小	2,463人		
		下地小	2,875人		
		旧伊良部小	2,359人	阿蘇市	1,326人
				大津町	1,033人
		旧来間小	127人	山鹿市	127人
多良間村	1,059人	ー	1,059人	八代市	1,059人
合計	12,792人				

1　事前の避難元自治体との調整

○考え方

○避難住民を円滑に受け入れるため、事前に、避難元自治体と連携の上、避難住民名簿やホテル等割り振り表を作成。
○生活、防災、保健・福祉関係情報を掲載した既存のパンフレット配付など、必要な情報を事前に避難元自治体に提供。

○避難住民名簿やホテル等割り振り表



※定期的に更新。また、実際に避難となった場合に最終調整。

○パンフレット等

避難住民は避難先市町の情報がないことから、避難先で生活する上で必要となる情報について、各課で作成している既存のパンフレットを避難元自治体に提供。

（想定される情報）
・生活情報（スーパー、銀行・郵便局、医療機関、公共交通機関、コインランドリー等）
・交通機関情報（バス、タクシー等）
・防災情報（防災情報メールの登録、ハザードマップ　等）
・保健・福祉関係情報（保育所、介護サービス事業所　等）

※避難元自治体への説明会の実施も検討。

【参考】ホテル等割り振り（案）

〇受入人数（127人）を超える、ホテル等の部屋（151部屋、303人分）を確保見込み。

（単位：人）

山鹿市

地区名	単身	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	世帯数	人口
旧来間	47	24	5	3	1	0	0	0	0	0	80	127

	シングル	ツイン・ダブル	トリプル	計
３施設	１８部屋（１８人）	１１４部屋（２２８人）	１９部屋（５７人）	１５１部屋（３０３人）

※部屋割の一案

旧来間				
構成	世帯数	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾂｲﾝ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾄﾘﾌﾟﾙ
単身	47		47	
2人	24		24	
3人	5		10	
4人	3		6	
5人	1		3	
合計	80		90	

2　輸送（避難先連絡所→受入収容施設）

○考え方

○避難住民は、受付等のため、鹿児島空港から避難先連絡所に移動する。
○避難先連絡所から各ホテル等への輸送は、鹿児島空港からの輸送に使用したバスをそのまま活用。
○避難先連絡所からは職員が乗車し、避難住民の誘導案内を実施。
○バスは、全ての避難住民をホテル等に送り届けた後、避難先連絡所に戻り、職員を降車。
※避難住民の負担軽減や受付業務等の簡略化を図るため、空港からホテルへの直接輸送も再検討。

○輸送の流れ等

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）～

＜3日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計3台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
ー	90分		30分	150分		50分	20分		約5時間40分
3-4宮古（127名）	12:35	14:05	47名/台	14:35	17:05		17:55	18:15	
			48名/台			＋待機50分	18:45	19:05	
			27名/台						

3　避難先連絡所

○考え方

○避難住民の円滑な受入・支援のため、以下の役割を担う避難先連絡所を開設。
　＜避難住民受入時＞本人確認等の受付、ホテル等の案内、留意事項等の説明　等
　＜避難住民受入後＞各種相談への対応、生活必需品の集積　等
○避難先連絡所は、以下の要件を満たす「山鹿市役所会議室」を選定。
　なお、避難住民受入時は５階５０１会議室、避難住民受入後は３階３０２会議室を使用予定。
　①十分な広さを有する。
　②冷暖房が完備されている。
　③避難住民の滞在先として想定するホテル等から近距離にあり、避難住民の生活支援等を行いやすい。
　④避難元自治体の役場機能の移転先として、一定のスペースや通信回線を含む機器の設置が可能である。
　※避難住民受入時の受付業務等を輸送バス内で実施する場合、５階５０１会議室は開設しない。

○「山鹿市役所５階５０１会議室」の概要

名称　：　山鹿市役所　５階５０１会議室

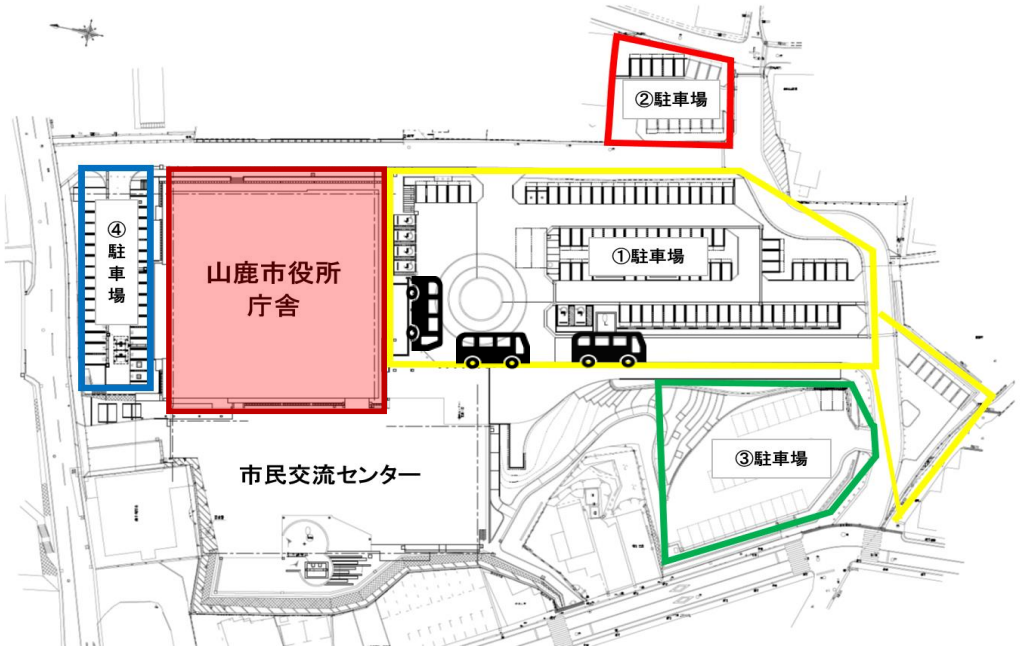
所在地　：　山鹿市山鹿９８７－３

建築構造　：　鉄骨造　免震構造　地上5階

延床面積　：　5階501会議室　232㎡

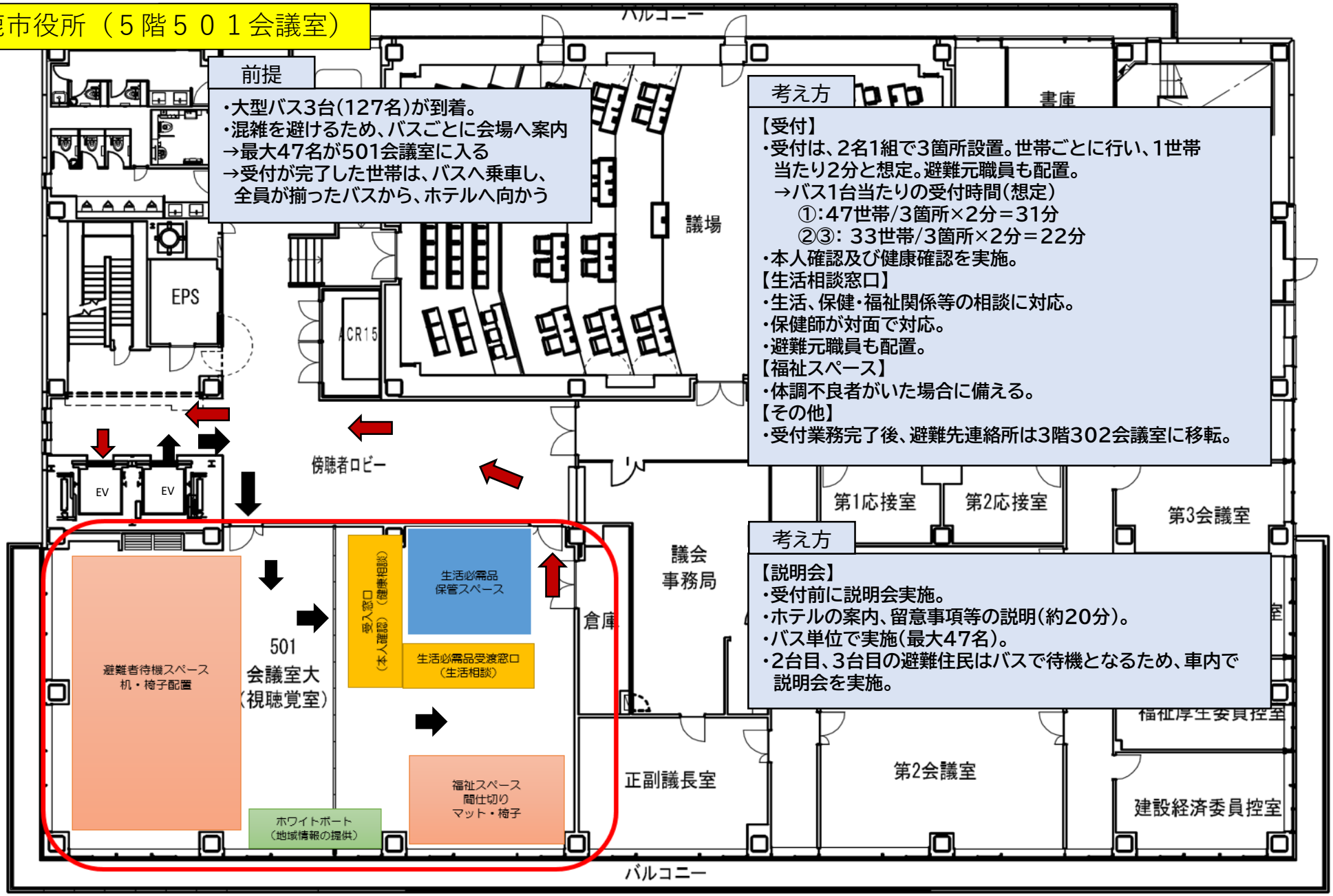
駐車場　：　乗用車(150台)　バス待機可

庁舎周辺駐車場位置図



3　避難先連絡所～レイアウト及び動線①～

山鹿市役所（５階５０１会議室）



前提

・大型バス3台(127名)が到着。
・混雑を避けるため、バスごとに会場へ案内
→最大47名が501会議室に入る
→受付が完了した世帯は、バスへ乗車し、全員が揃ったバスから、ホテルへ向かう

考え方

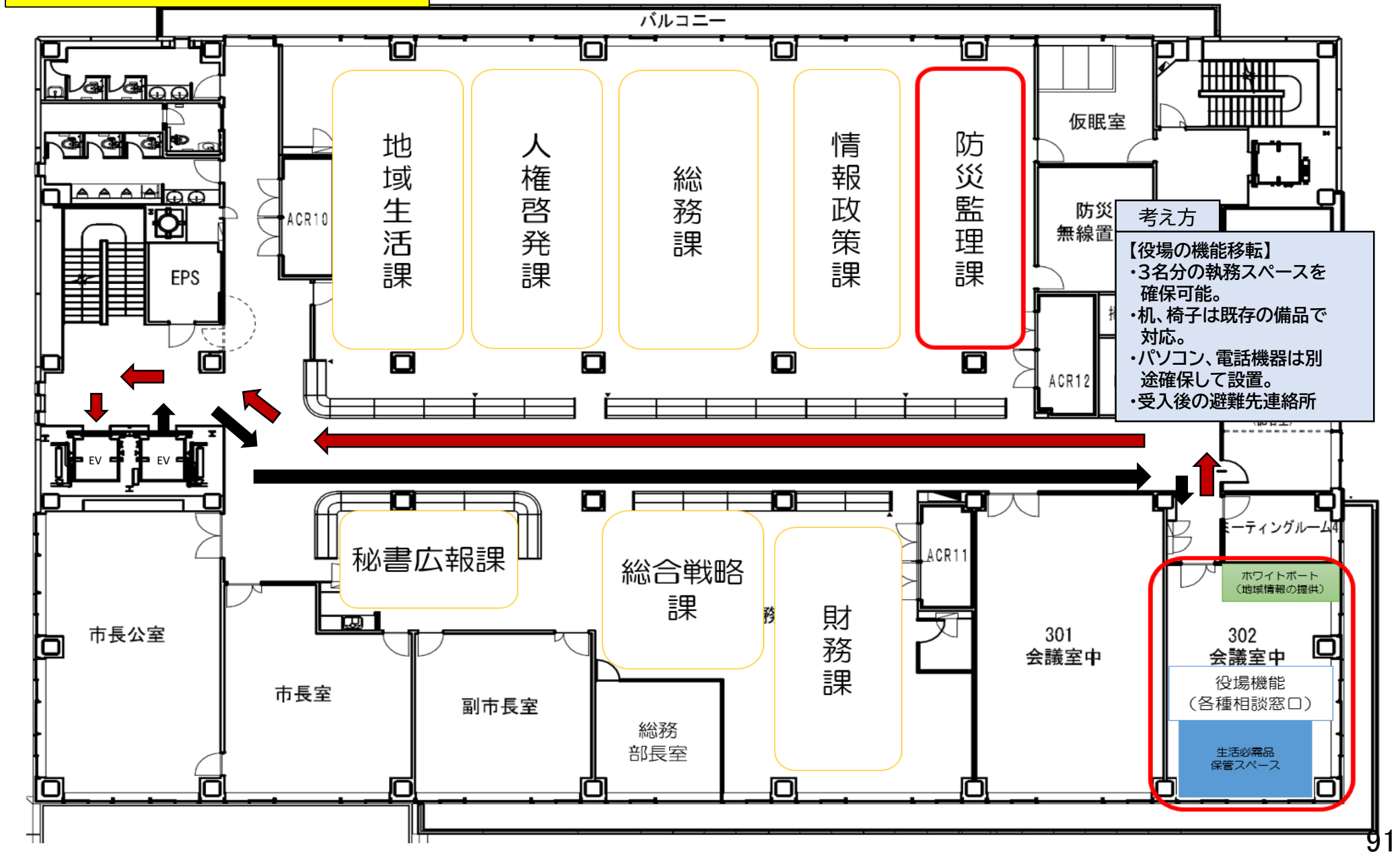
【受付】
・受付は、2名1組で3箇所設置。世帯ごとに行い、1世帯当たり2分と想定。避難元職員も配置。
→バス1台当たりの受付時間(想定)
①:47世帯/3箇所×2分＝31分
②③: 33世帯/3箇所×2分＝22分
・本人確認及び健康確認を実施。
【生活相談窓口】
・生活、保健・福祉関係等の相談に対応。
・保健師が対面で対応。
・避難元職員も配置。
【福祉スペース】
・体調不良者がいた場合に備える。
【その他】
・受付業務完了後、避難先連絡所は3階302会議室に移転。

考え方

【説明会】
・受付前に説明会実施。
・ホテルの案内、留意事項等の説明(約20分)。
・バス単位で実施(最大47名)。
・2台目、3台目の避難住民はバスで待機となるため、車内で説明会を実施。

3　避難先連絡所（役場機能）～レイアウト及び動線②～

山鹿市役所（３階３０２会議室）

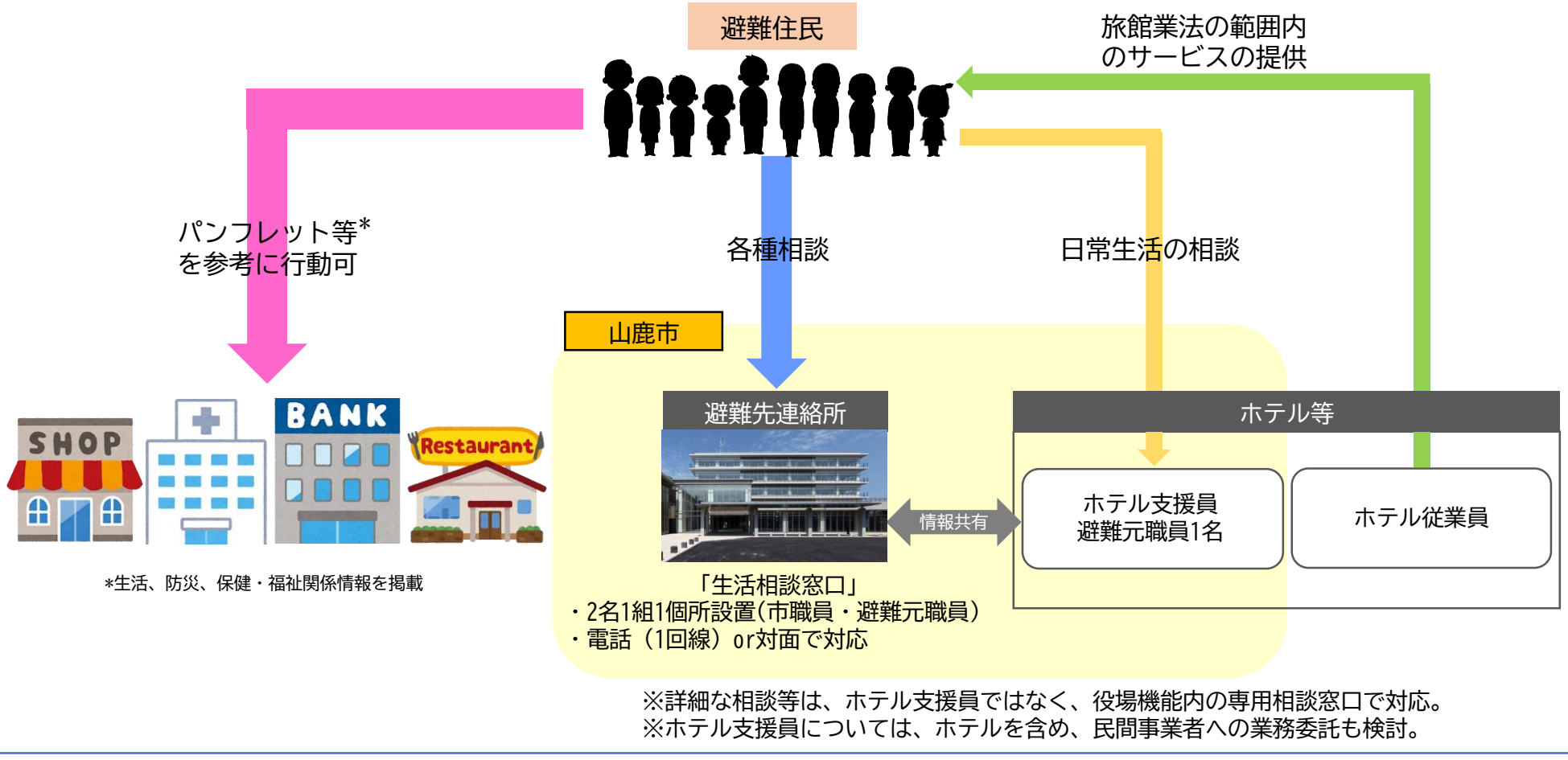


4　生活支援～各種相談等への対応～

○考え方

○各種相談に対応するため、避難先連絡所に「生活相談窓口」を設置。
○生活相談窓口は、市職員や避難元職員の配置を想定。
○ホテルに、日常生活における支援窓口として避難元職員の配置を想定。

○各種相談等への対応体制

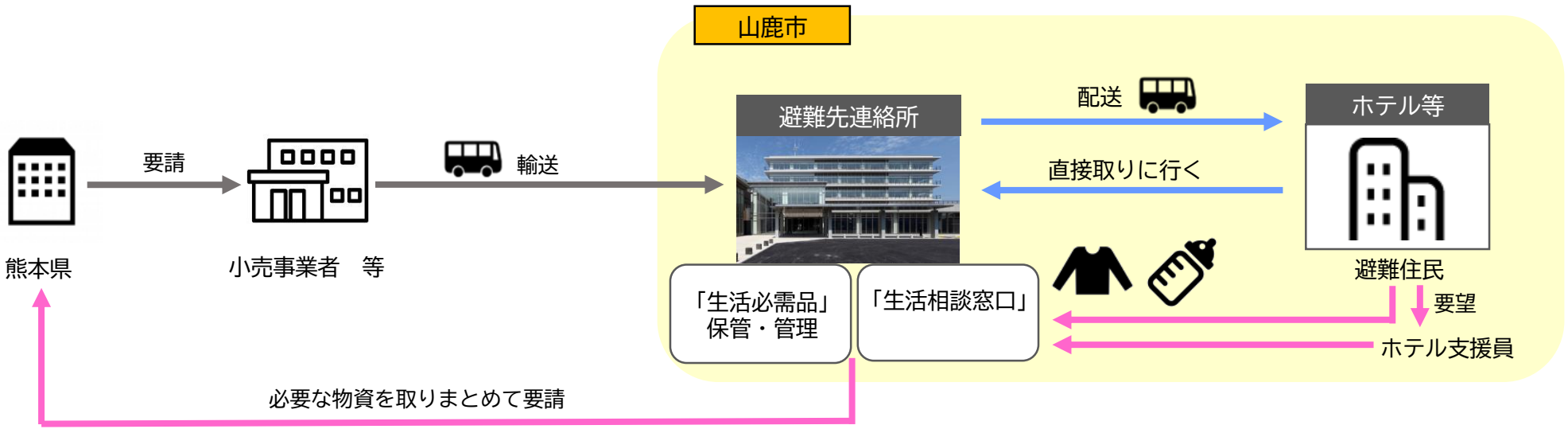


4　生活支援～生活必需品の配付～

○考え方

○避難先連絡所に輸送された生活必需品は、「物資集積場所」で保管・管理。
○必要に応じて避難先連絡所から各ホテル等に配送。個別ニーズに応じた生活物資は、避難住民自ら避難先連絡所に取りに行くことも可能。
○避難住民のニーズは生活相談窓口等で把握。生活必需品が不足する場合は、市で取りまとめの上、県に要請。

○各種相談等への対応体制



＜生活日需品(一案)＞

・衣類
・配慮を要する者の日常生活支援のための用品
　乳幼児：オムツ、粉ミルク、離乳食
　女性：生理用品
　高齢者：オムツ、パッド

など

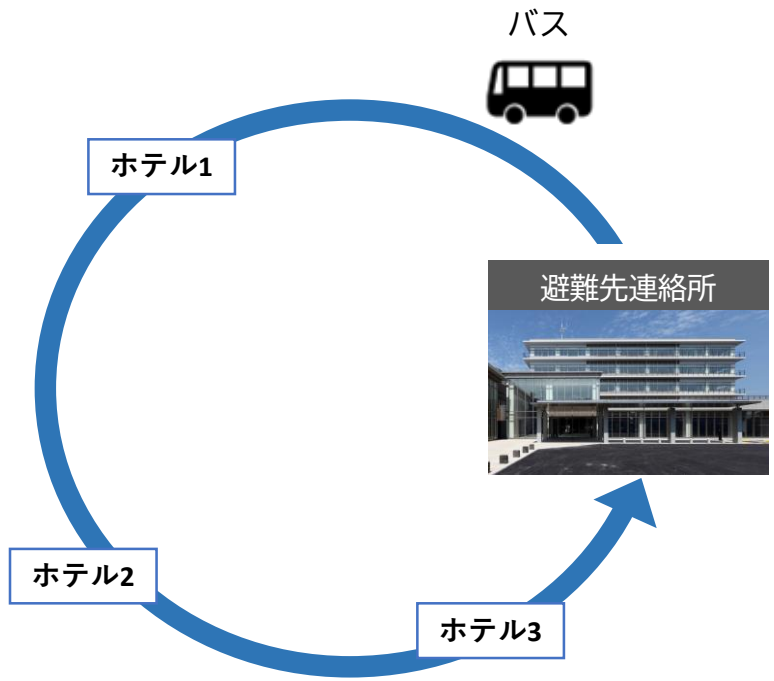
4　生活支援～移動手段・健康管理等～

＜循環バスの運行＞

○考え方

○避難先連絡所を始点・終点として、各ホテル等を循環するバスの運行も検討。
○運行の必要性、便数や経由地は、避難元自治体と協議・調整。

○循環バス運行イメージ

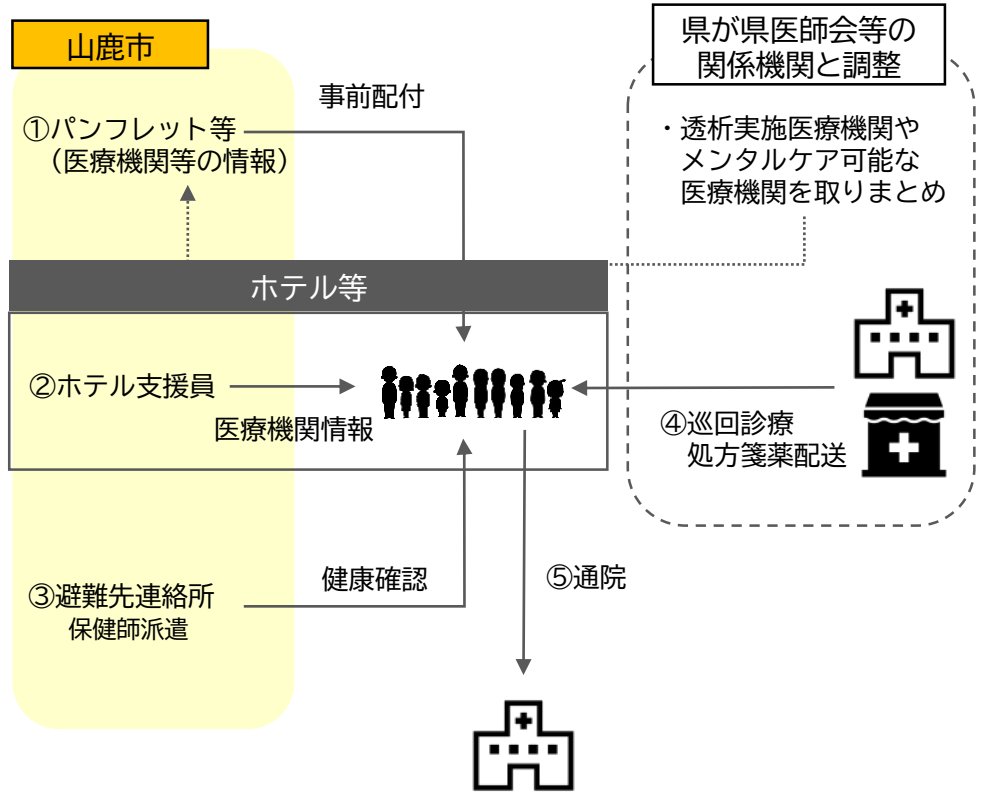


＜健康管理等＞

○考え方

○避難先連絡所からホテル等に保健師を派遣し、避難住民の健康確認。（避難元自治体から要請を受けた場合）
○ハンドブックやホテル支援員等により、医療機関情報を提供。

○健康管理イメージ



5　職員の確保・配置

○考え方

○避難先連絡所の運営等に必要な職員は、市役所全体で確保するほか、避難元職員も活用。
○それでも不足する場合は、県に応援職員の派遣を要請。必要に応じて民間事業者への業務委託も検討。
※避難住民受入時の受付業務等を輸送バス内で実施する場合は、別途計画する。

○1日当たりの必要な職員数（想定）

単位：人

区分		避難住民受入時											避難住民受入後（生活支援）								
		輸送*1	避難先連絡所									計	避難先連絡所						ホテル等		計
役割		添乗員*2	責任者	全体確認・支援	バス誘導	施設内誘導	受付	体調不良者対応	受付待機場所	説明*3	説明待機場所		責任者	全体確認・支援	物資集積場所	生活相談窓口	交流スペース	巡回健康確認	支援員（責任者）*4	支援員*5	
必要な最大職員数	事務職員	3	1	2	2	2	6	1	－	1	－	18	1	2	2	1	－	－	3	3	12
	保健師							2				2						1			1
計		3	17										7						6		

*1 避難先連絡所からホテル等までのバス輸送　*2バス1台に1名乗車　*3待機バス内で説明する場合、添乗員が実施
*4 ホテルに1名配置　*5 ホテルに1名配置

④阿蘇市

1　事前の避難元自治体との調整
2　輸送（避難先連絡所→収容施設）
3　避難先連絡所
4　生活支援
5　職員の確保・配置

沖縄県　　**熊本県**

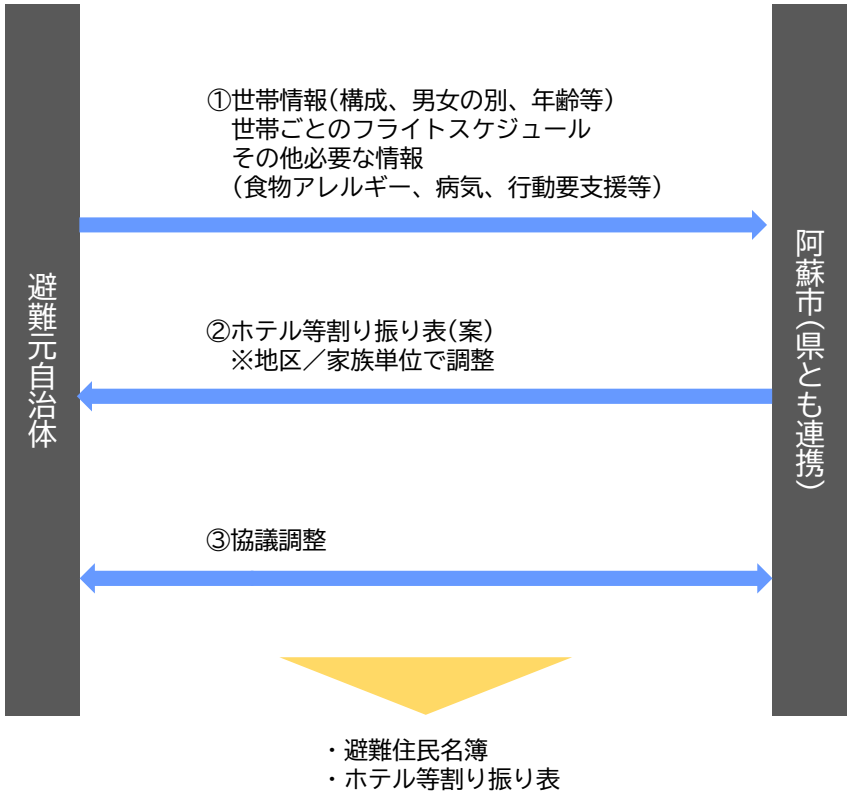
避難元市町村				受入市町村	
市村名	人口	地区	住民数	市町名	受入人数
宮古島市	11,733人	上野小	3,909人	熊本市	9,247人
		旧佐良浜小	2,463人		
		下地小	2,875人		
		旧伊良部小	2,359人	阿蘇市	1,326人
				大津町	1,033人
		旧来間小	127人	山鹿市	127人
多良間村	1,059人	ー	1,059人	八代市	1,059人
合計	12,792人				

1　事前の避難元自治体との調整

○考え方

○避難住民を円滑に受け入れるため、事前に、避難元自治体と連携の上、避難住民名簿やホテル等割り振り表を作成。
○生活、防災、保健・福祉関係情報を掲載したハンドブックの配付など、必要な情報を事前に避難元自治体に提供。

○避難住民名簿やホテル等割り振り表



※定期的に更新。また、実際に避難となった場合に最終調整。

○ハンドブック等

避難住民は避難先市町の情報がないことから、避難先で生活する上で必要となる情報をまとめたハンドブックを阿蘇市で作成し、避難元自治体に提供。

（想定される情報）
・生活情報（スーパー、銀行・郵便局、医療機関、公共交通機関、コインランドリー等）
・交通機関情報（バス、電車、タクシー等）
・防災情報（防災情報メールの登録、ハザードマップ　等）
・保健・福祉関係情報（保育所、介護サービス事業所　等）

※避難元自治体への説明会の実施も検討。

【参考】ホテル等割り振り（案）

○受入人数（1,326人）を超える、ホテル等の部屋（541部屋、1,702人分）を確保見込み。

（単位：人）

阿蘇市

地区名	単身	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	世帯数	人口
旧伊良部	0	274	111	51	29	11	2	2	0	0	480	1,326

	シングル	ツイン・ダブル	トリプル	ファミリー（4）	計
１１施設	４３部屋(４３人)	１１０部屋(２２０人)	１１３部屋(３３９人)	２７５部屋(1，１００人)	５４１部屋(1，７０２人)

※部屋割の一案

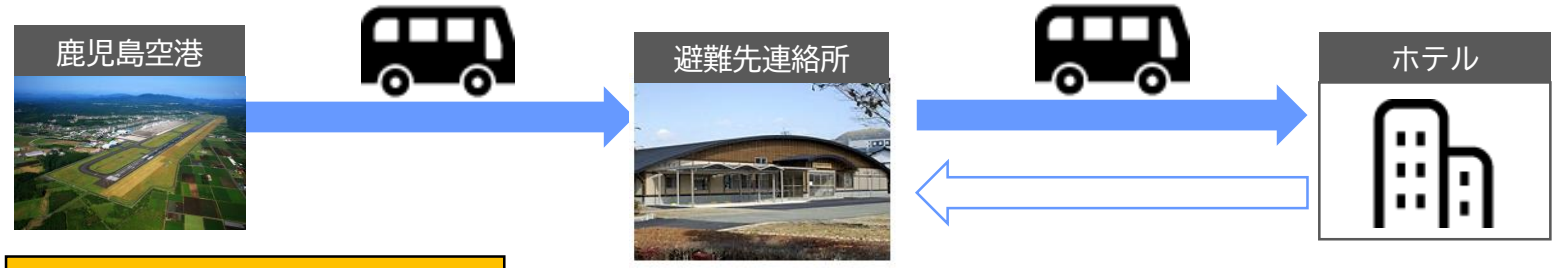
旧伊良部					
構成	世帯数	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾂｲﾝ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾄﾘﾌﾟﾙ	ﾌｧﾐﾘｰ
2人	274		110	111	53
3人	111				111
4人	51				51
5人	29	29			29
6人	11				22
7人	2				4
8人	2				4
合計	480	29	110	111	274

2　輸送（避難先連絡所→受入収容施設）

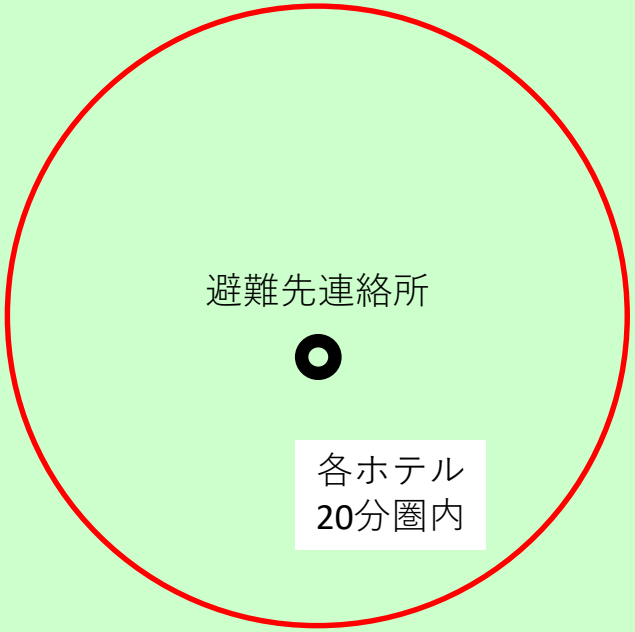
○考え方

○避難住民は、受付等のため、鹿児島空港から避難先連絡所に移動する。
○避難先連絡所から各ホテル等への輸送は、鹿児島空港からの輸送に使用したバスをそのまま活用。
○避難先連絡所からは職員が乗車し、避難住民の誘導案内を実施。
○バスは、全ての避難住民をホテル等に送り届けた後、避難先連絡所に戻り、職員を降車。

○輸送の流れ等



避難先連絡所とホテルの位置関係



【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）①～

＜1日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計5台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
221名	90分		30分	150分		60分	20分		約6時間
3-1（65名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:35		14:35	14:55	
			15名（待機）						
3-2（92名）	10:15	11:45	50名/台	12:15	14:45		15:45	16:05	
			50名/台			＋待機60分	16:45	17:05	
			7名（待機）						
3-2（64名）	11:25	12:55	36名/台	13:25	15:55	＋待機60分	17:55	18:15	
			35名/台			＋待機40分	19:35	19:55	

＜2日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計5台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
221名	90分		30分	150分		60分	20分		約6時間
3-1（65名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:35		14:35	14:55	
			15名（待機）						
3-2（93名）	10:15	11:45	50名/台	12:15	14:45		15:45	16:05	
			50名/台			＋待機60分	16:45	17:05	
			8名（待機）						
3-2（63名）	11:25	12:55	36名/台	13:25	15:55	＋待機60分	17:55	18:15	
			35名/台			＋待機40分	19:35	19:55	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）②～

＜3日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計5台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
221名	90分		30分	150分		60分	20分		約6時間
3-1（65名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:35		14:35	14:55	
			15名（待機）						
3-2（93名）	10:15	11:45	50名/台	12:15	14:45		15:45	16:05	
			50名/台			＋待機60分	16:45	17:05	
			8名（待機）						
3-2（63名）	11:25	12:55	36名/台	13:25	15:55	＋待機60分	17:55	18:15	
			35名/台			＋待機40分	19:35	19:55	

＜4日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計5台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
221名	90分		30分	150分		60分	20分		約6時間
3-1（65名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:35		14:35	14:55	
			15名（待機）						
3-2（93名）	10:15	11:45	50名/台	12:15	14:45		15:45	16:05	
			50名/台			＋待機60分	16:45	17:05	
			8名（待機）						
3-2（63名）	11:25	12:55	36名/台	13:25	15:55	＋待機60分	17:55	18:15	
			35名/台			＋待機40分	19:35	19:55	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）③～

＜5日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計5台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
221名	90分		30分	150分		60分	20分		約6時間
3-1（65名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:35		14:35	14:55	
			15名（待機）						
3-2（93名）	10:15	11:45	50名/台	12:15	14:45		15:45	16:05	
			50名/台			＋待機60分	16:45	17:05	
			8名（待機）						
3-2（63名）	11:25	12:55	36名/台	13:25	15:55	＋待機60分	17:55	18:15	
			35名/台			＋待機40分	19:35	19:55	

＜6日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計5台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
221名	90分		30分	150分		60分	20分		約6時間
3-1（65名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:35		14:35	14:55	
			15名（待機）						
3-2（93名）	10:15	11:45	50名/台	12:15	14:45		15:45	16:05	
			50名/台			＋待機60分	16:45	17:05	
			8名（待機）						
3-2（63名）	11:25	12:55	36名/台	13:25	15:55	＋待機60分	17:55	18:15	
			35名/台			＋待機40分	19:35	19:55	

3　避難先連絡所

○考え方

○避難住民の円滑な受入・支援のため、以下の役割を担う避難先連絡所を開設。
　＜避難住民受入時＞本人確認等の受付、ホテル等の案内、留意事項等の説明　等
　＜避難住民受入後＞各種相談への対応、生活必需品の集積　等
○避難先連絡所は、以下の要件を満たす「阿蘇市内牧支所会議室」を選定。
　①十分な広さを有する。
　②冷暖房が完備されている。
　③避難住民の滞在先として想定するホテル等から近距離にあり、避難住民の生活支援等を行いやすい。
　④避難元自治体の役場機能の移転先として、一定のスペースや通信回線を含む機器の設置が可能である。

○「阿蘇市内牧支所会議室」の概要

名称　：　阿蘇市内牧支所会議室
所在地　：　阿蘇市内牧1111-3
建築構造　：　木造平屋建て
延床面積　：　1階　676㎡
駐車場　：　乗用車(30台)

3　避難先連絡所～レイアウト及び動線～

阿蘇市内牧支所

前提

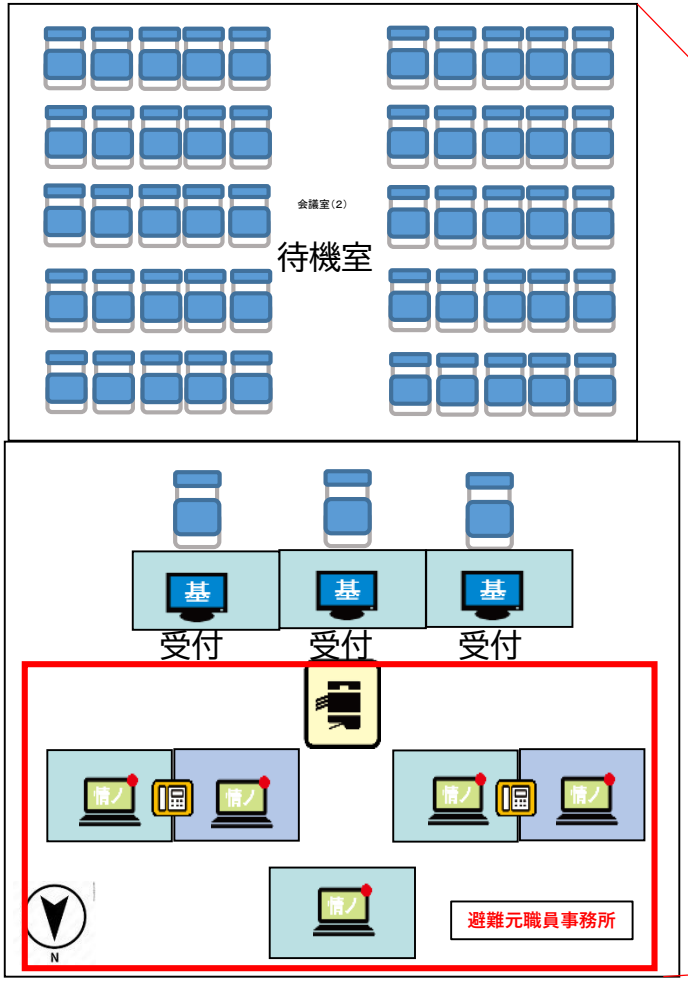
・最初に、大型バス1台（50名）が到着。
・次に、約1時間後に大型バス2台（約100名）が到着。
　その1時間後に大型バス2台（約70名）が到着。
　→50名の受付は約1時間程度で終了を想定。

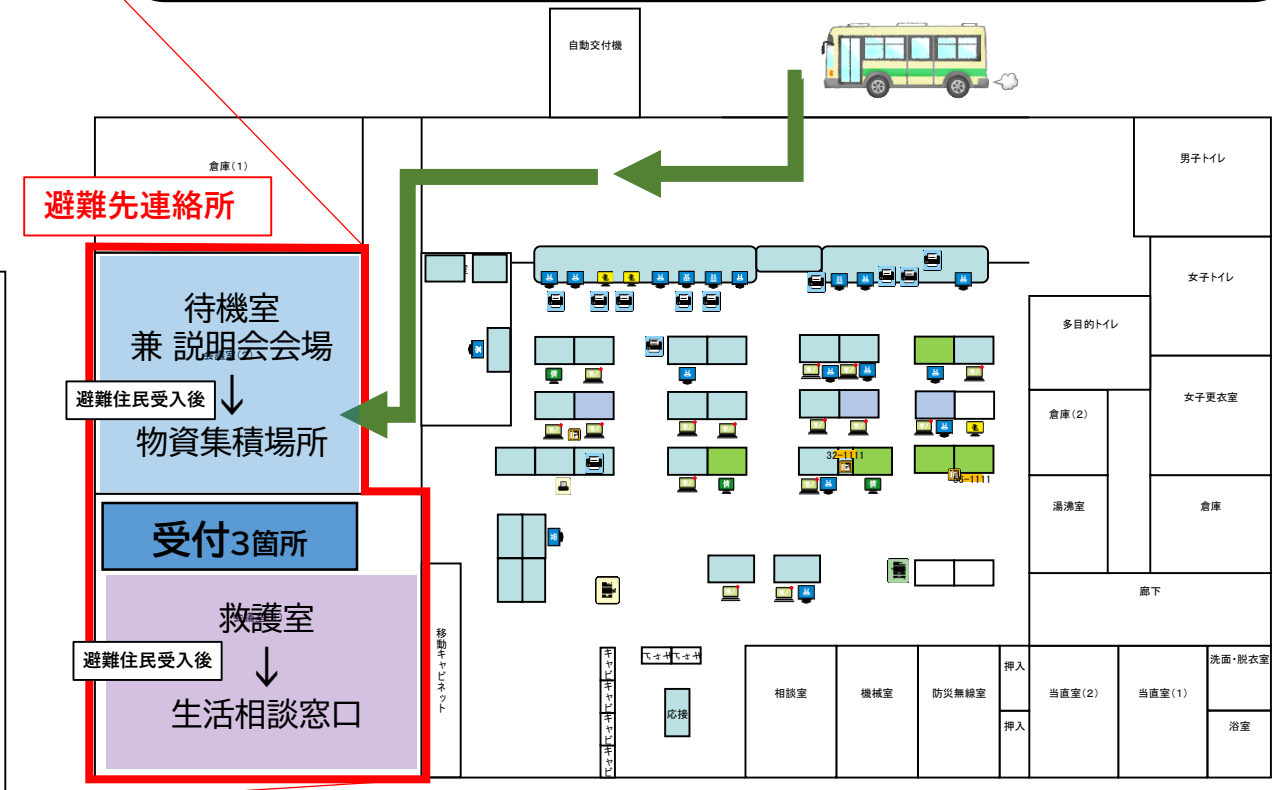
考え方

【受付】
・受付は、2名1組で3個所設置。世帯ごとに行い、
　1世帯当たり4分と想定。避難元職員も配置。
・バス1台当たりの受付時間は、
　①50人乗車：18世帯/3箇所×4分＝24分
　②36人乗車：13世帯/3箇所×4分＝16分
・本人確認及び健康確認を実施。
・受付終了後、バス単位で説明会を実施（最大50名）。
　ホテルの案内、留意事項等の説明（約20分）。
・説明会終了後、バスに乗車。
　※前のバスの受付・説明会終了までバス車内で待機。
【救護室】
・体調不良者がいた場合に備え、救護室に保健師等が待機。

避難住民受入後

【生活相談窓口】
・生活・保健・福祉関係等の相談に対応。
・電話・対面で対応。電話は3回線確保。
・避難元職員も配置。
【物資集積場所】
・衣類等の生活必需品を保管。



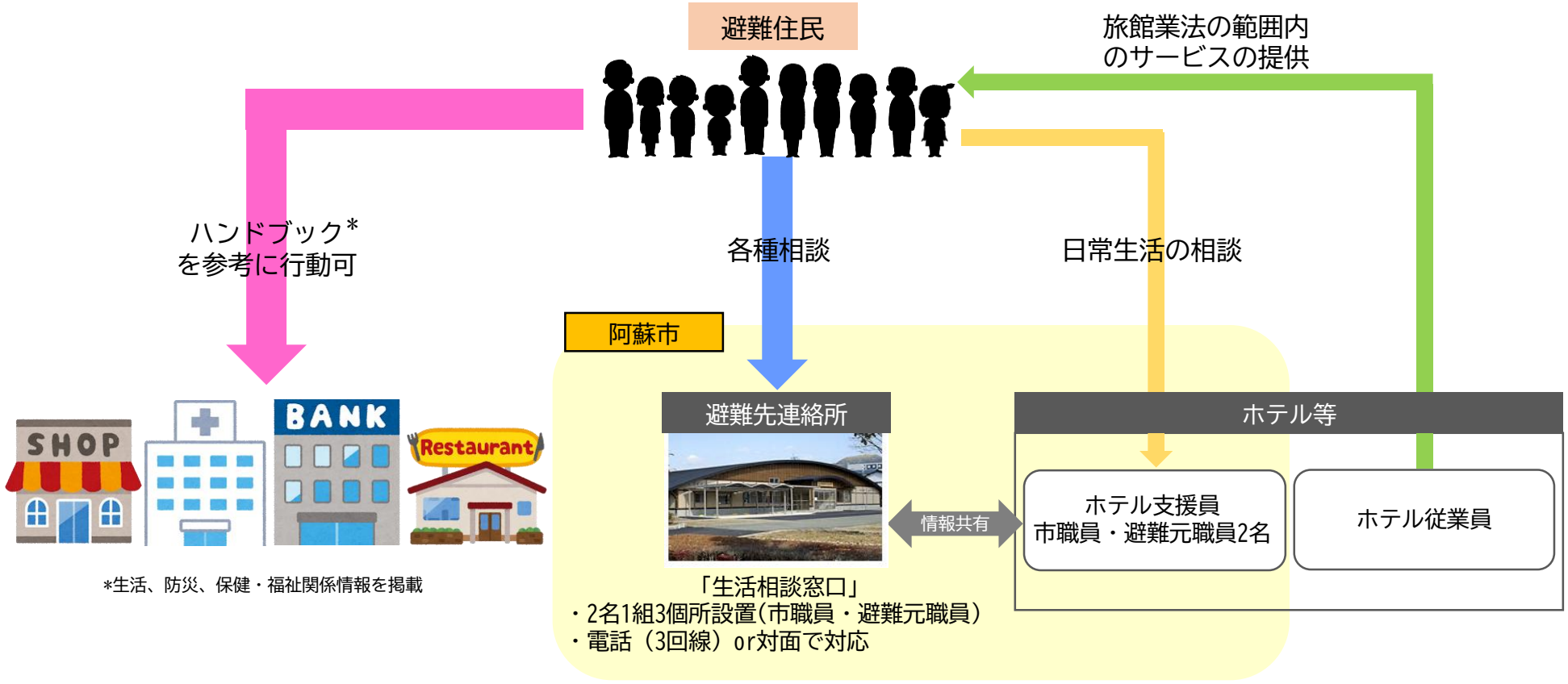


4　生活支援～各種相談等への対応～

○考え方

○各種相談に対応するため、避難先連絡所に「生活相談窓口」を設置。
○各ホテル等に、日常生活における支援窓口としてコンシェルジュ的な役割を担う支援員を配置。
○生活相談窓口やホテル支援員は、市職員や避難元職員の配置を想定。

○各種相談等への対応体制



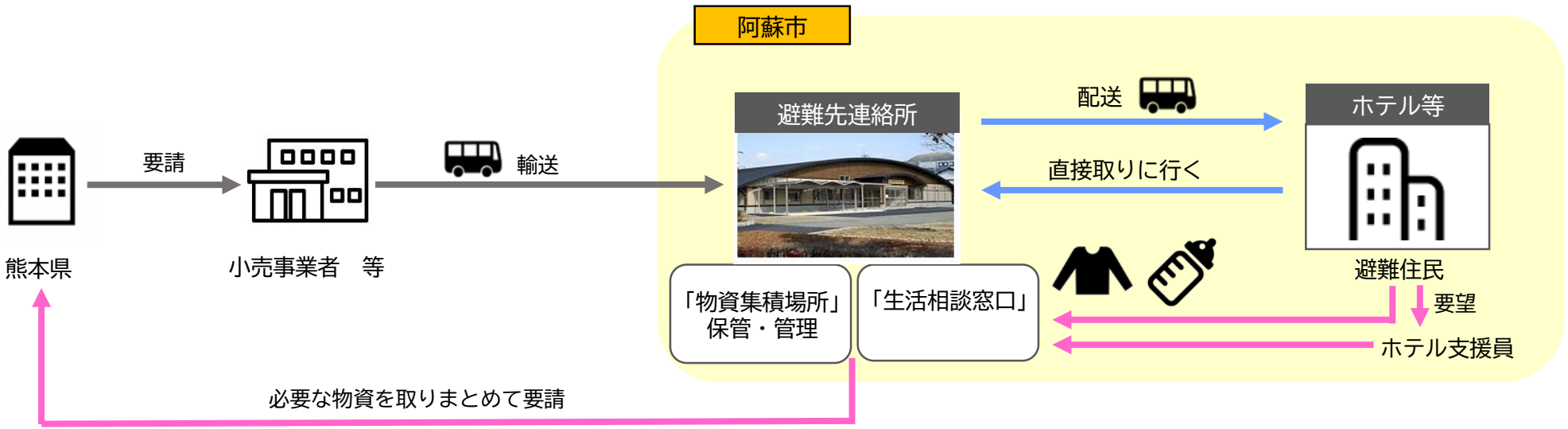
※詳細な相談等は、ホテル支援員ではなく、避難先連絡所内の専用相談窓口で対応。
※ホテル支援員については、ホテルを含め、民間事業者への業務委託も検討。

4　生活支援～生活必需品の配付～

○考え方

○避難先連絡所に輸送された生活必需品は、「物資集積場所」で保管・管理。
○必要に応じて避難先連絡所から各ホテル等に配送。個別ニーズに応じた生活物資は、避難住民自ら避難先連絡所に取りに行くことも可能。
○避難住民のニーズは生活相談窓口等で把握。生活必需品が不足する場合は、市で取りまとめの上、県に要請。

○各種相談等への対応体制



＜生活日需品(一案)＞

・衣類
・配慮を要する者の日常生活支援のための用品
　乳幼児：オムツ、粉ミルク、離乳食
　女性：生理用品
　高齢者：オムツ、パッド

など

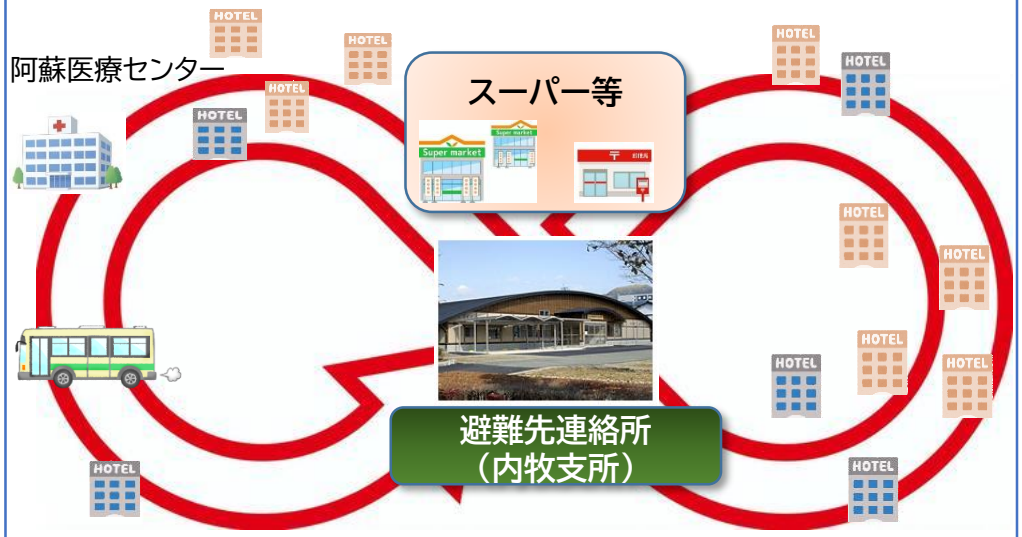
4　生活支援～循環バスの運行・健康管理等～

＜循環バスの運行＞

○考え方

○避難先連絡所を始点・終点として、各ホテル等を循環するバスの運行も検討。
○運行の必要性、便数や経由地は、避難元自治体と協議・調整。

○循環バス運行イメージ

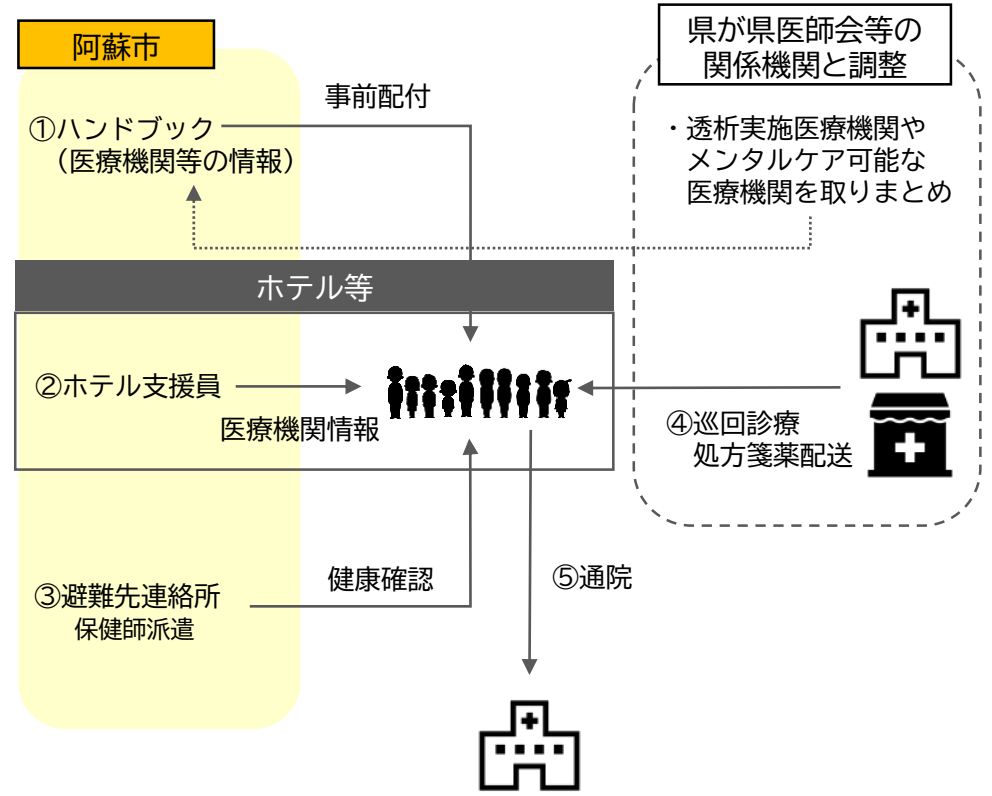


＜健康管理等＞

○考え方

○避難先連絡所からホテル等に保健師を派遣し、避難住民の健康確認。
○ハンドブックやホテル支援員等により、医療機関情報を提供。

○健康管理イメージ



5　職員の確保・配置

○考え方

○避難先連絡所の運営等に必要な職員は、市役所全体で確保するほか、避難元職員も活用。
○それでも不足する場合は、県に応援職員の派遣を要請。必要に応じて民間事業者への業務委託も検討。

○1日当たりの必要な職員数（想定）

単位：人

区分		避難住民受入時											避難住民受入後（生活支援）								
		輸送*1	避難先連絡所									計	避難先連絡所						ホテル等		計
役割		添乗員*2	責任者	全体確認・支援	バス誘導	施設内誘導	受付	体調不良者対応	受付待機場所	説明	説明待機場所		責任者	全体確認・支援	物資集積場所	生活相談窓口	交流スペース	巡回健康確認	支援員（責任者）*3	支援員*4	
必要な最大職員数	事務職員	5	1	2	2	3	6	1	2	3	2	27	1	2	2	3	1		11	11	31
	保健師							2				2						2			2
計		5	24										11						22		

*1 避難先連絡所からホテル等までのバス輸送
*2 バス1台に1名乗　　*3 各ホテルに1名配置　　*4 各ホテルに2名配置

⑤大津町

1　事前の避難元自治体との調整
2　輸送（避難先連絡所→収容施設）
3　避難先連絡所
4　生活支援
5　職員の確保・配置

沖縄県　　**熊本県**

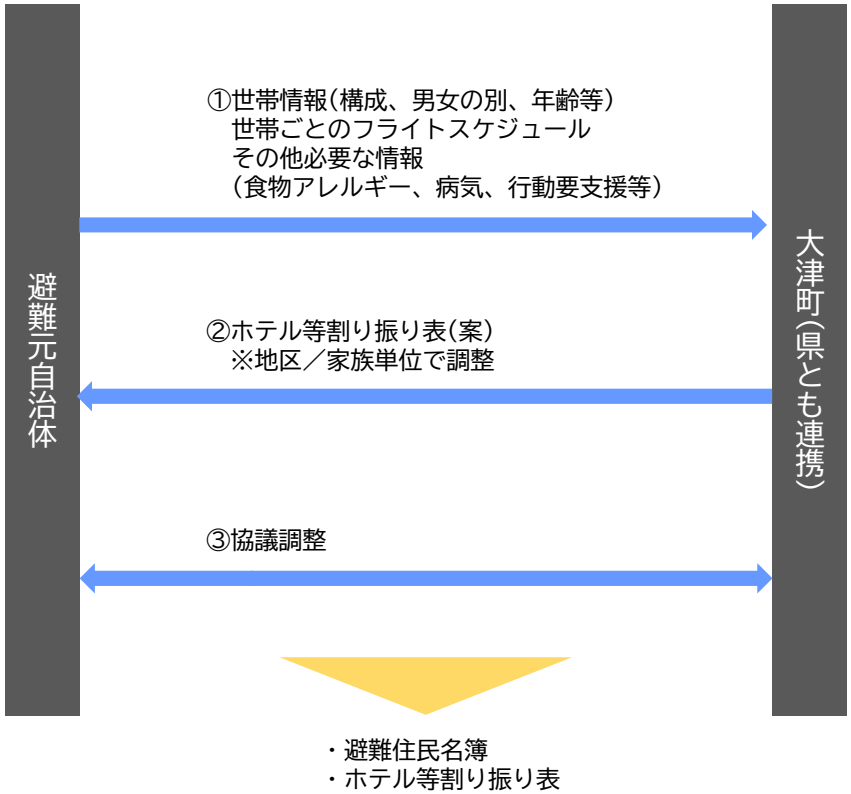
避難元市町村				受入市町村	
市村名	人口	地区	住民数	市町名	受入人数
宮古島市	11,733人	上野小	3,909人	熊本市	9,247人
		旧佐良浜小	2,463人		
		下地小	2,875人		
		旧伊良部小	2,359人	阿蘇市	1,326人
				大津町	1,033人
		旧来間小	127人	山鹿市	127人
多良間村	1,059人	ー	1,059人	八代市	1,059人
合計	12,792人				

1　事前の避難元自治体との調整

○考え方

○避難住民を円滑に受け入れるため、事前に、避難元自治体と連携の上、避難住民名簿やホテル等割り振り表を作成。
○生活、防災、保健・福祉関係情報を掲載したハンドブックの配付など、必要な情報を事前に避難元自治体に提供。

○避難住民名簿やホテル等割り振り表



※定期的に更新。また、実際に避難となった場合に最終調整。

○ハンドブック等

避難住民は避難先市町の情報がないことから、避難先で生活する上で必要となる情報をまとめたハンドブックを大津町で作成し、避難元自治体に提供。

（想定される情報）
・生活情報（スーパー、銀行・郵便局、医療機関、公共交通機関、コインランドリー等）
・交通機関情報（バス、電車、タクシー等）
・防災情報（防災情報メールの登録、ハザードマップ　等）
・保健・福祉関係情報（保育所、介護サービス事業所　等）

※避難元自治体への説明会の実施も検討。

【参考】ホテル等割り振り（案）

〇受入人数（1,033人）を超える、ホテル等の部屋（932部屋、1,350人分）を確保見込み。

（単位：人）

大津町	地区名	単身	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	世帯数	人口
	旧伊良部	765	134	0	0	0	0	0	0	0	0	899	1,033

	シングル	ツイン・ダブル	トリプル	計
7施設	５３９部屋（５３９人）	３６８部屋（７３６人）	２５部屋（７５人）	９３２部屋（１，３５０人）

※部屋割の一案

旧伊良部				
構成	世帯数	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾂｲﾝ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	ﾄﾘﾌﾟﾙ
単身	765	539	226	
2人	134		134	
合計	899	539	360	

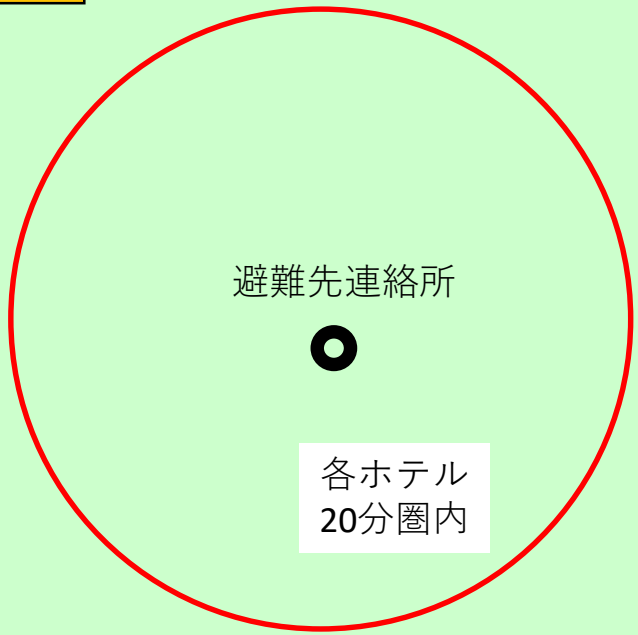
2　輸送（避難先連絡所→受入収容施設）

○考え方

○避難住民は、受付等のため、鹿児島空港から避難先連絡所に移動する。
○避難先連絡所から各ホテル等への輸送は、鹿児島空港からの輸送に使用したバスをそのまま活用。
○避難先連絡所からは職員が乗車し、避難住民の誘導案内を実施。
○バスは、全ての避難住民をホテル等に送り届けた後、避難先連絡所に戻り、職員を降車。

○輸送の流れ等

避難先連絡所とホテルの位置関係



【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）①～

＜1日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計4台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
173名	90分		30分	120分		60分	20分		約5時間30分
3-1（100名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:05		14:05	14:25	
			50名/台			＋待機30分	14:35	14:55	
3-2（73名）	10:15	11:45	40名/台	12:15	14:15		15:15	15:35	
			33名/台			＋待機30分	15:45	16:05	

＜2日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計4台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
172名	90分		30分	120分		60分	20分		約5時間30分
3-1（100名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:05		14:05	14:25	
			50名/台			＋待機30分	14:35	14:55	
3-2（72名）	10:15	11:45	40名/台	12:15	14:15		15:15	15:35	
			32名/台			＋待機30分	15:45	16:05	

＜3日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計4台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
172名	90分		30分	120分		60分	20分		約5時間30分
3-1（100名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:05		14:05	14:25	
			50名/台			＋待機30分	14:35	14:55	
3-2（72名）	10:15	11:45	40名/台	12:15	14:15		15:15	15:35	
			32名/台			＋待機30分	15:45	16:05	

【参考】輸送（避難先連絡所→受入収容施設）～タイムテーブル（一案）②～

＜4日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計4台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
172名	90分		30分	120分		60分	20分		約5時間30分
3-1（100名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:05		14:05	14:25	
			50名/台			＋待機30分	14:35	14:55	
3-2（72名）	10:15	11:45	40名/台	12:15	14:15		15:15	15:35	
			32名/台			＋待機30分	15:45	16:05	

＜5日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計4台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
172名	90分		30分	120分		60分	20分		約5時間30分
3-1（100名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:05		14:05	14:25	
			50名/台			＋待機30分	14:35	14:55	
3-2（72名）	10:15	11:45	40名/台	12:15	14:15		15:15	15:35	
			32名/台			＋待機30分	15:45	16:05	

＜6日目＞

航空機便	宮古空港発	鹿児島空港着	バス乗換（計4台）	鹿児島空港発	避難先連絡所着	受付等	避難先連絡所発	ホテル着	計
172名	90分		30分	120分		60分	20分		約5時間30分
3-1（100名）	9:05	10:35	50名/台	11:05	13:05		14:05	14:25	
			50名/台			＋待機30分	14:35	14:55	
3-2（72名）	10:15	11:45	40名/台	12:15	14:15		15:15	15:35	
			32名/台			＋待機30分	15:45	16:05	

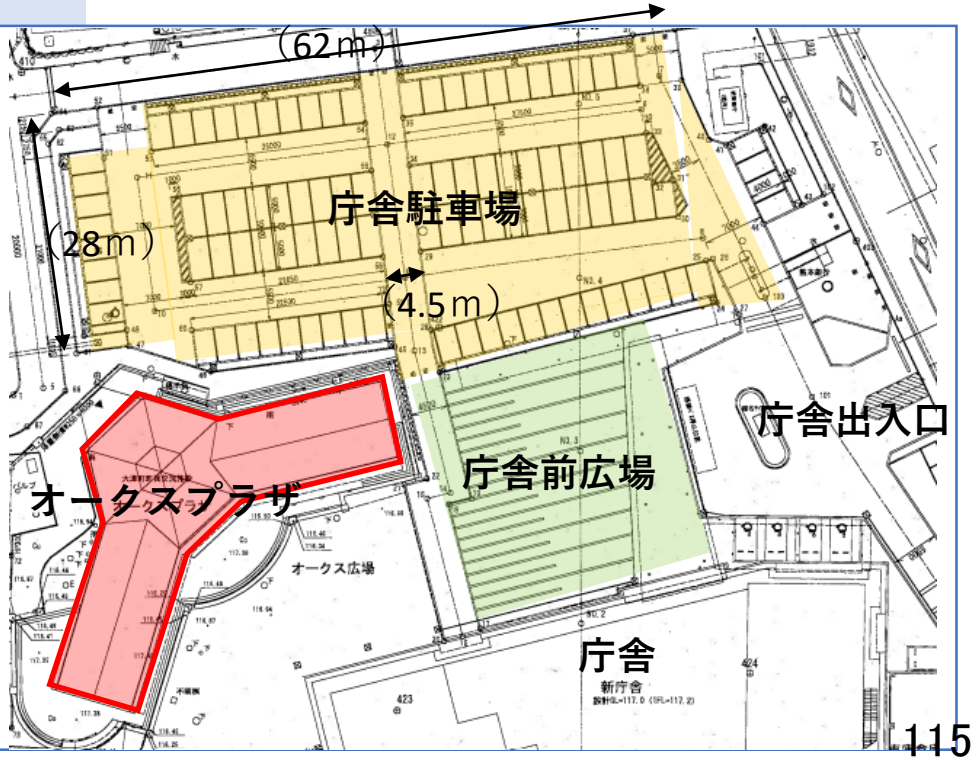
3　避難先連絡所

○考え方

○避難住民の円滑な受入・支援のため、以下の役割を担う避難先連絡所を開設。
　＜避難住民受入時＞本人確認等の受付、ホテル等の案内、留意事項等の説明　等
　＜避難住民受入後＞各種相談への対応、生活必需品の集積　等
○避難先連絡所は、以下の要件を満たす「大津町町民交流施設（オークスプラザ）」を選定。
　①十分な広さを有する。
　②冷暖房が完備されている。
　③避難住民の滞在先として想定するホテル等から近距離にあり、避難住民の生活支援等を行いやすい。
　④避難元自治体の役場機能の移転先として、一定のスペースや通信回線を含む機器の設置が可能である。
　　※熊本地震の際に、大津町役場の機能を移転した実績あり。

○「大津町町民交流施設（オークスプラザ）」の概要

名称　：　大津町町民交流施設（オークスプラザ）
所在地　：　菊池郡大津町大字大津1220-1
建築構造　：　鉄鋼鉄筋コンクリート造　地上2階
延床面積　：　1階　530㎡　2階　380㎡
駐車場　：　庁舎駐車場（乗用車92台）、オークスプラザ西（乗用車18台）



3　避難先連絡所～レイアウト及び動線①～

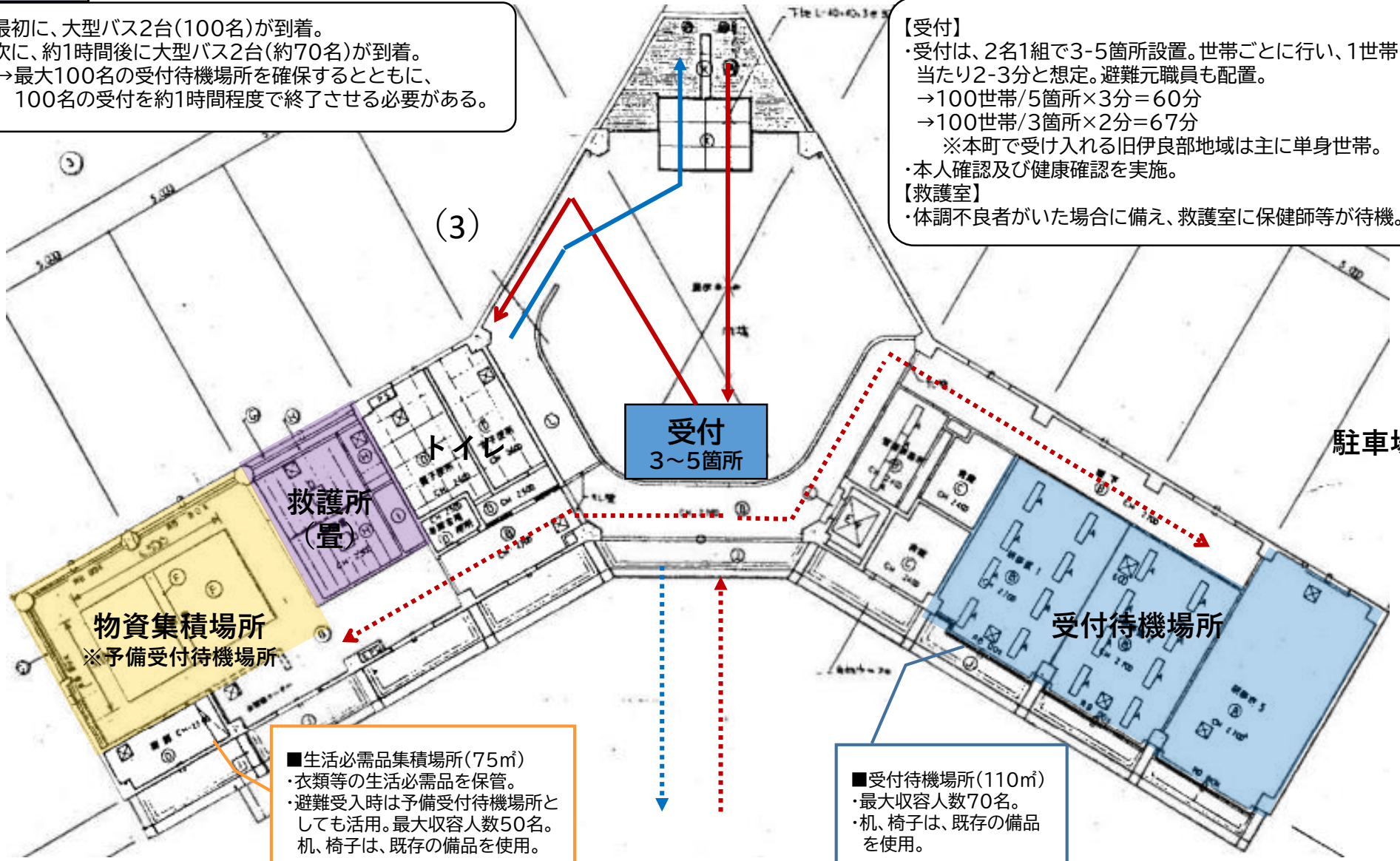
オークスプラザ（１階）

前提

・最初に、大型バス2台(100名)が到着。
・次に、約1時間後に大型バス2台(約70名)が到着。
　→最大100名の受付待機場所を確保するとともに、
　　100名の受付を約1時間程度で終了させる必要がある。

考え方

【受付】
・受付は、2名1組で3-5箇所設置。世帯ごとに行い、1世帯当たり2-3分と想定。避難元職員も配置。
　→100世帯/5箇所×3分＝60分
　→100世帯/3箇所×2分＝67分
　　※本町で受け入れる旧伊良部地域は主に単身世帯。
・本人確認及び健康確認を実施。
【救護室】
・体調不良者がいた場合に備え、救護室に保健師等が待機。

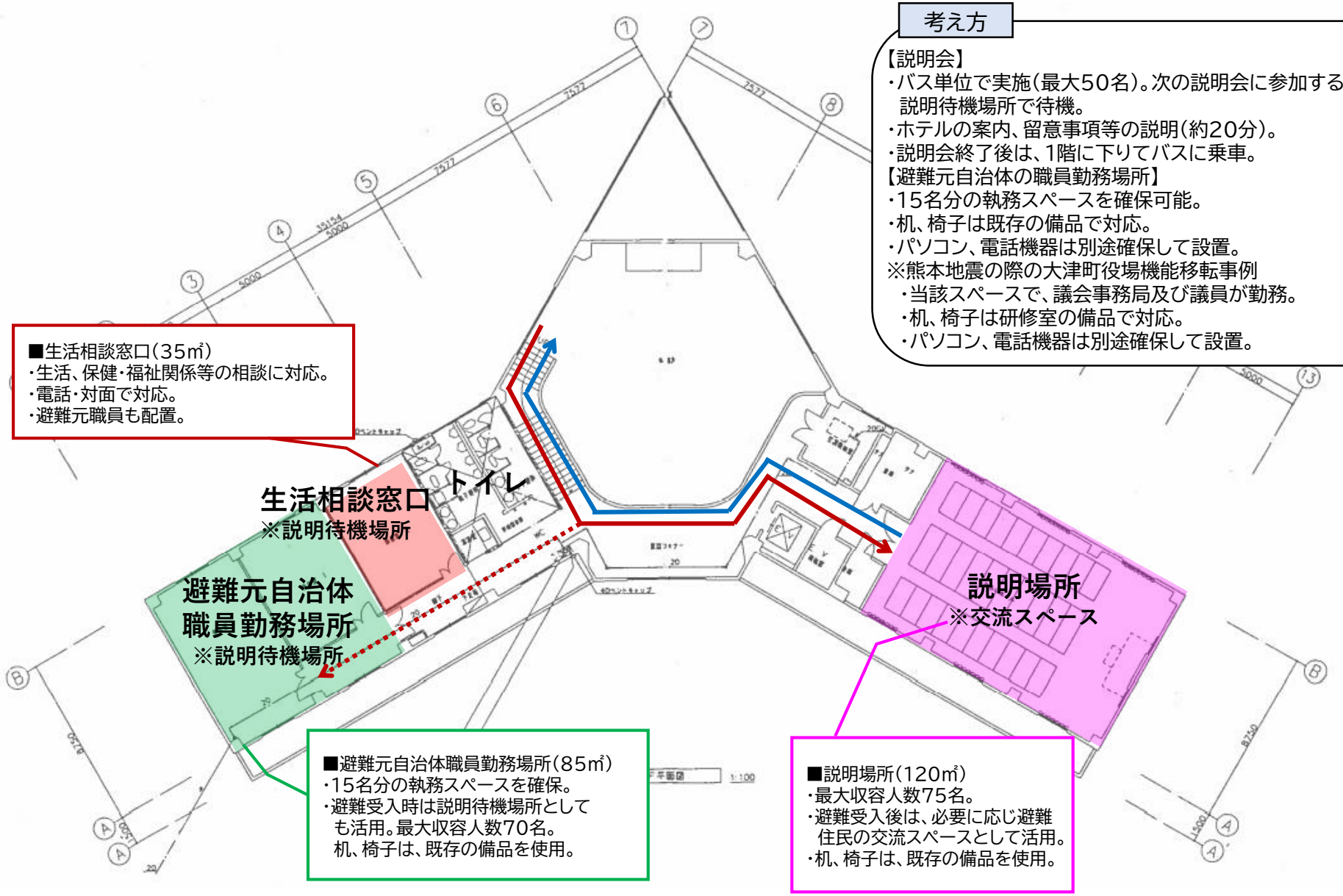


■生活必需品集積場所(75㎡)
・衣類等の生活必需品を保管。
・避難受入時は予備受付待機場所としても活用。最大収容人数50名。
　机、椅子は、既存の備品を使用。

■受付待機場所(110㎡)
・最大収容人数70名。
・机、椅子は、既存の備品を使用。

3　避難先連絡所～レイアウト及び動線②～

オークスプラザ（２階）



■生活相談窓口（35㎡）
・生活、保健・福祉関係等の相談に対応。
・電話・対面で対応。
・避難元職員も配置。

■避難元自治体職員勤務場所（85㎡）
・15名分の執務スペースを確保。
・避難受入時は説明待機場所としても活用。最大収容人数70名。
机、椅子は、既存の備品を使用。

■説明場所（120㎡）
・最大収容人数75名。
・避難受入後は、必要に応じ避難住民の交流スペースとして活用。
・机、椅子は、既存の備品を使用。

考え方

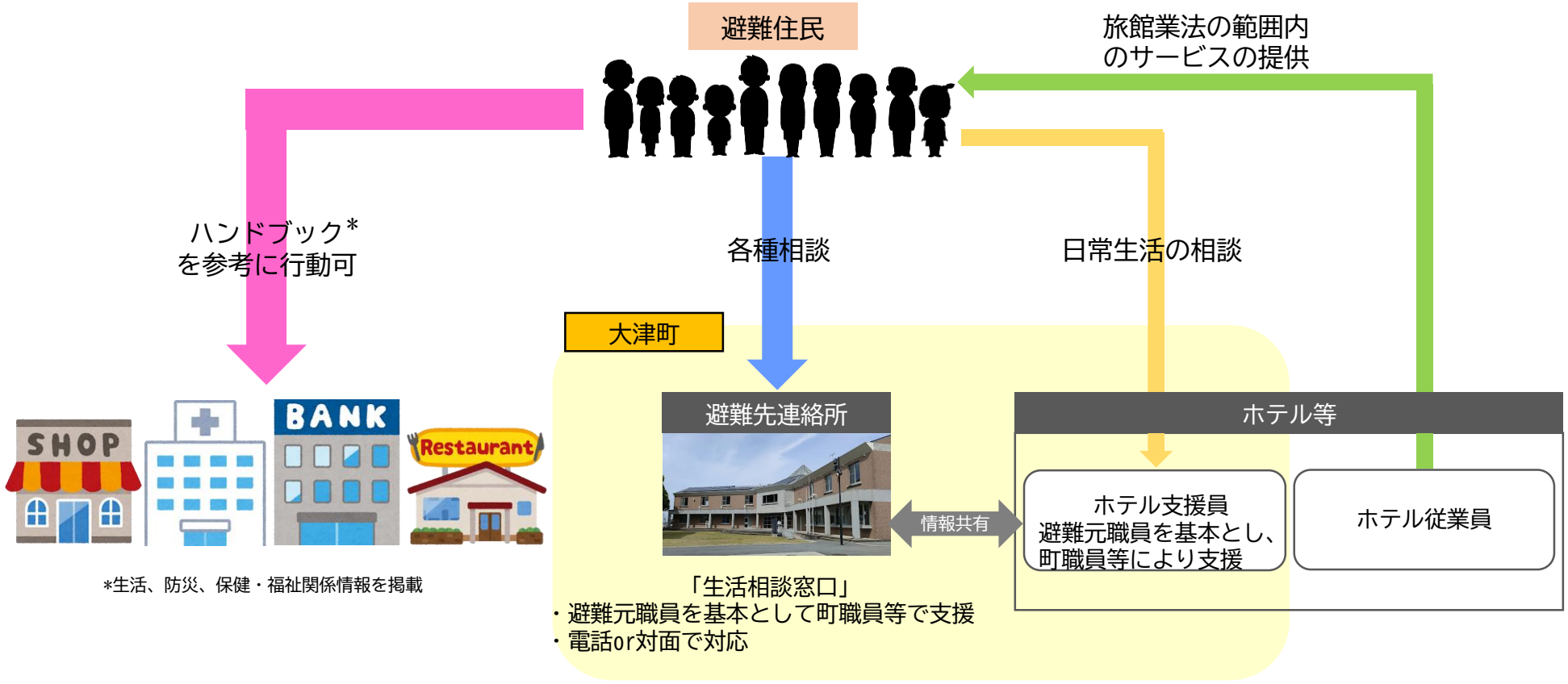
【説明会】
・バス単位で実施（最大50名）。次の説明会に参加する方は、説明待機場所で待機。
・ホテルの案内、留意事項等の説明（約20分）。
・説明会終了後は、1階に下りてバスに乗車。
【避難元自治体の職員勤務場所】
・15名分の執務スペースを確保可能。
・机、椅子は既存の備品で対応。
・パソコン、電話機器は別途確保して設置。
※熊本地震の際の大津町役場機能移転事例
・当該スペースで、議会事務局及び議員が勤務。
・机、椅子は研修室の備品で対応。
・パソコン、電話機器は別途確保して設置。

4　生活支援～各種相談等への対応～

○考え方

○各種相談に対応するため、避難先連絡所に「生活相談窓口」を設置。
○各ホテル等に、日常生活における支援窓口としてコンシェルジュ的な役割を担う支援員を配置。
○生活相談窓口やホテル支援員は、避難元職員を基本として町職員等により支援する。
（事前に、支援体制等について避難元自治体と協議・調整しておく必要がある。）

○各種相談等への対応体制



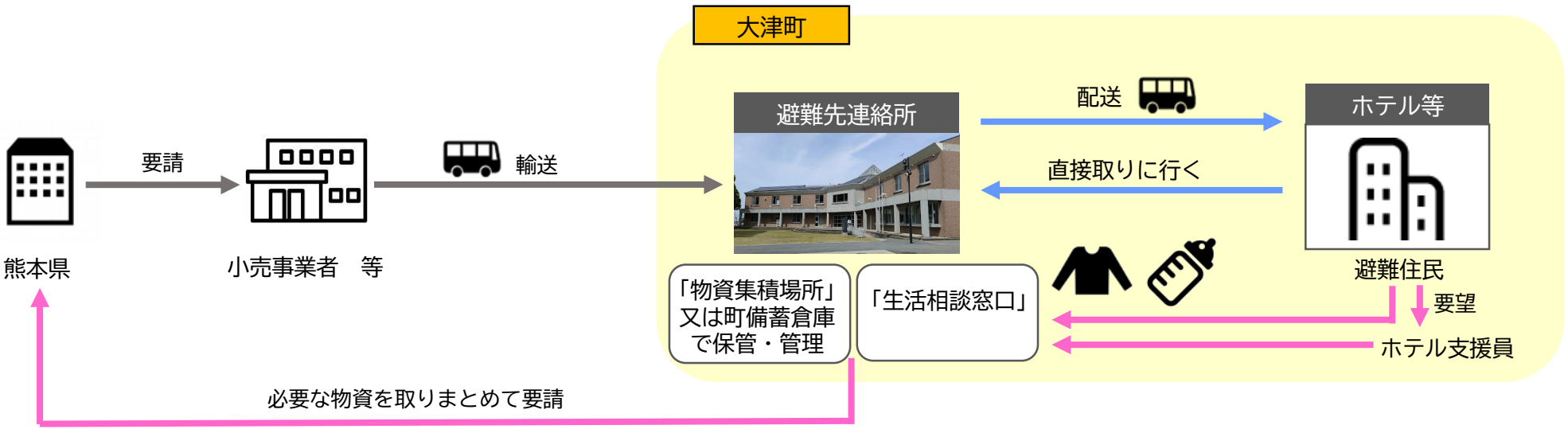
※詳細な相談等は、ホテル支援員ではなく、避難先連絡所内の専用相談窓口で対応。
※ホテル支援員については、ホテルを含め、民間事業者への業務委託も検討。

4　生活支援～生活必需品の配付～

○考え方

○避難先連絡所に輸送された生活必需品は、「物資集積場所」又は町備蓄倉庫で保管・管理。
○必要に応じて避難先連絡所から各ホテル等に配送。個別ニーズに応じた生活物資は、避難住民自ら避難先連絡所等に取りに行くことも可能。
○避難住民のニーズは生活相談窓口等で把握。生活必需品が不足する場合は、町で取りまとめの上、県に要請。

○各種相談等への対応体制



＜生活日需品(一案)＞

・衣類
・配慮を要する者の日常生活支援のための用品
　乳幼児：オムツ、粉ミルク、離乳食
　女性：生理用品
　高齢者：オムツ、パッド

など

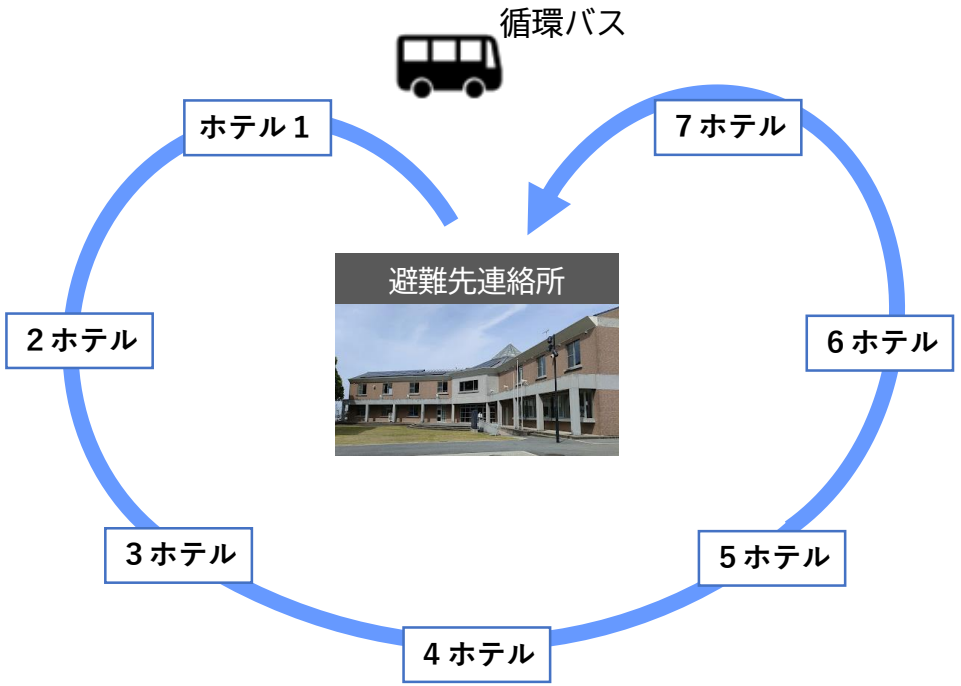
4　生活支援～循環バスの運行・健康管理等～

＜循環バスの運行＞

○考え方

○避難先連絡所を始点・終点として、各ホテル等を循環するバスの運行も検討。
○運行の必要性、便数や経由地は、避難元自治体と協議・調整。

○循環バス運行イメージ

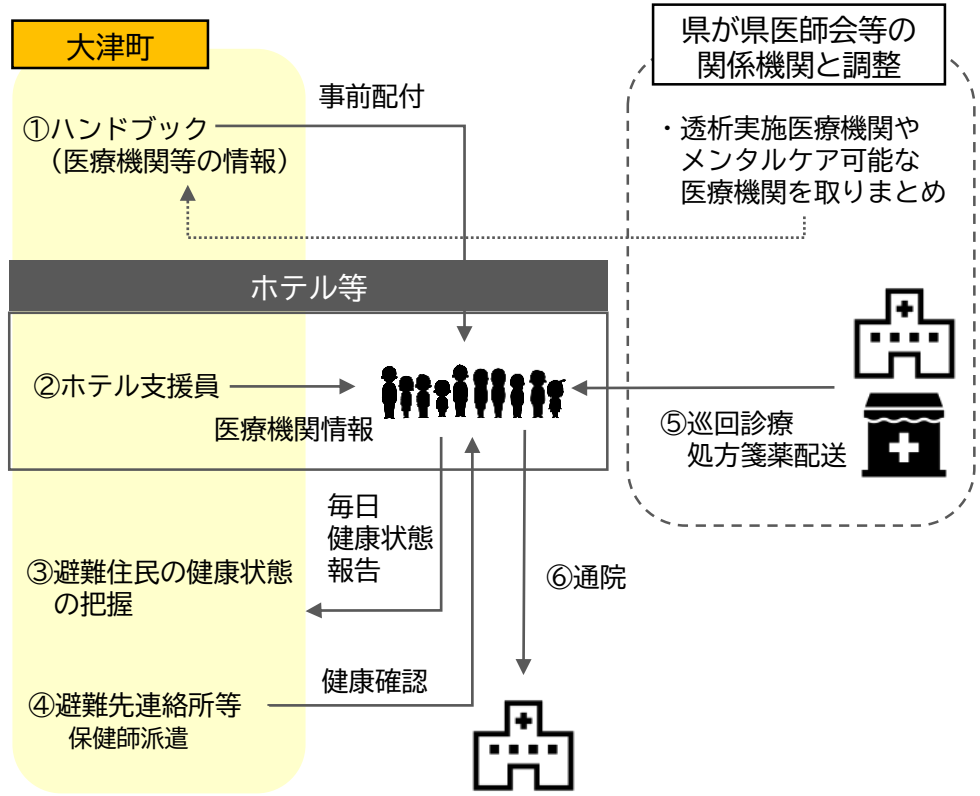


＜健康管理等＞

○考え方

○避難先連絡所等からホテル等に保健師を派遣し、避難住民の健康確認。
○ハンドブックやホテル支援員等により、医療機関情報を提供。

○健康管理イメージ



5　職員の確保・配置

○考え方

○避難先連絡所の運営等に必要な職員は、町役場全体で確保するほか、避難元職員も活用。
○それでも不足する場合は、県に応援職員の派遣を要請。必要に応じて民間事業者への業務委託も検討。

○1日当たりの必要な職員数（想定）

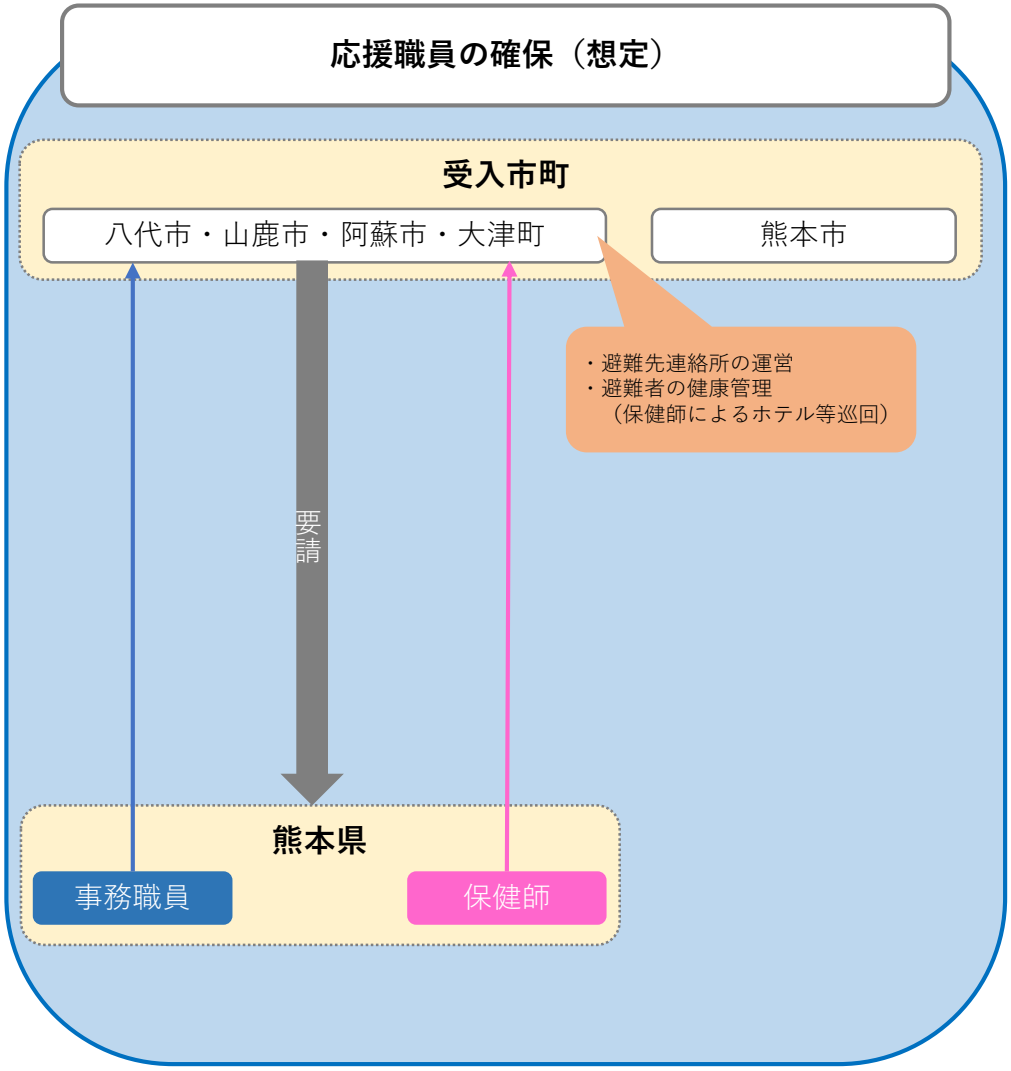
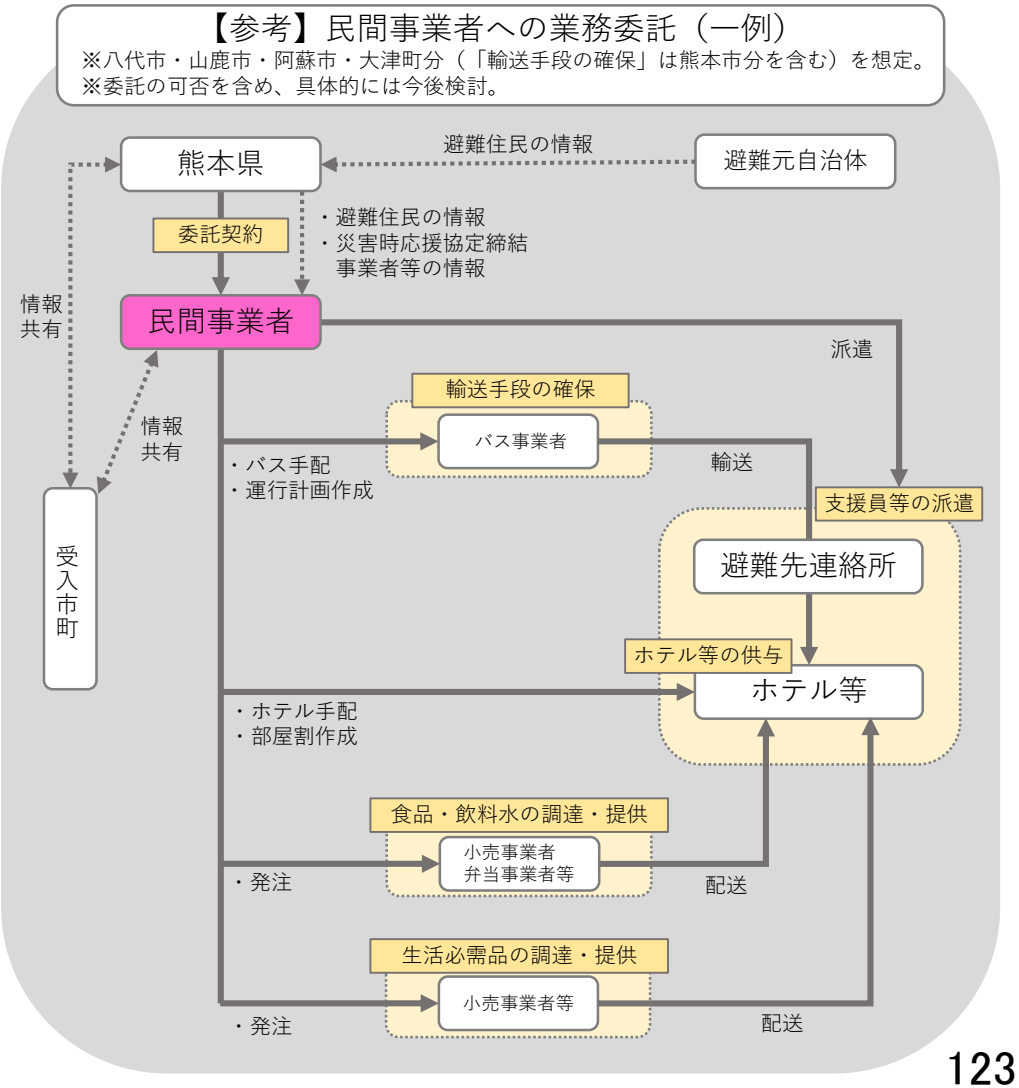
単位：人

区分		避難住民受入時										避難住民受入後（生活支援）								
		輸送*1	避難先連絡所								計	避難先連絡所						ホテル等		計
役割		添乗員*2	責任者	全体確認・支援	バス誘導	施設内誘導	受付	体調不良者対応	受付待機場所	説明	説明待機場所	責任者	全体確認・支援	物資集積場所	生活相談窓口	交流スペース	巡回健康確認	支援員（責任者）*3	支援員*4	
必要な最大職員数	事務職員	4	1	2	2	3	10		1	2	1	26	1	2	1	4	1		7	14	30
	保健師							2				2						2			2
計		4	24										11					21		

*1 避難先連絡所からホテル等までのバス輸送
*2 バス1台に1名乗　　*3 各ホテルに1名配置　　*4 各ホテルに2名配置

(3)　受入市町への応援体制の確保

受入市町への応援体制の確保に係る基本方針

本県の考え方

〇八代市・山鹿市・阿蘇市・大津町において、避難住民の受入れに係る各種生活支援をするに当たり当該市町の職員が不足する場合は、県職員の派遣等を行うことも想定。
〇また、必要に応じて、民間事業者への業務委託も検討。